

付属資料

付属資料目次

1 法的ニーズに関する意識調査

(1) インターネット調査

資料 1-1	単純集計表	1
資料 1-2	重み付けに関する説明	45
資料 1-3	質問画面	49
資料 1-4-1	仮想事例による質問(交通事故－遺言作成)	73
資料 1-4-2	仮想事例による質問(遺言作成－交通事故)	79
資料 1-4-3	仮想事例による質問(貸金請求－離婚)	85
資料 1-4-4	仮想事例による質問(離婚－貸金請求)	91
資料 1-4-5	仮想事例による質問(家賃不払・立退請求－残業代請求)	97
資料 1-4-6	仮想事例による質問(残業代請求－家賃不払・立退請求)	103

(2) 法律相談者調査

資料 2-1	単純集計表	109
資料 2-2	質問票	133
資料 2-3-1	仮想事例による質問(交通事故)	147
資料 2-3-2	仮想事例による質問(遺産分割)	149
資料 2-3-3	仮想事例による質問(遺言作成)	151
資料 2-3-4	仮想事例による質問(貸金請求)	153
資料 2-3-5	仮想事例による質問(離婚)	155
資料 2-3-6	仮想事例による質問(家賃不払・立退請求)	157
資料 2-3-7	仮想事例による質問(残業代請求)	159

(3) 大企業調査

資料 3-1	単純集計表	161
資料 3-2	質問票	181

(4) 中小企業調査

資料 4-1	単純集計表	203
資料 4-2	質問票	231
資料 4-3-1	仮想事例による質問(契約書作成－残業代請求)	251
資料 4-3-2	仮想事例による質問(残業代請求－契約書作成)	255

(5) 地方自治体調査

資料 5-1	単純集計表	259
資料 5-2	質問票	271

2 法曹有資格者の採用の現状に関する調査(国の行政機関等)

資料 6	単純集計表	291
------	-------	-----

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問1 年齢						
回答数	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
4023 (100%)	-	797 (19.8%)	799 (19.9%)	801 (19.9%)	812 (20.2%)	814 (20.2%)

問2 生年						
回答数	平成6年 (1994年)	平成5年 (1993年)	平成4年 (1992年)	平成3年 (1991年)	平成2年 (1990年)	平成元年 (1989年)
4023 (100%)	9 (0.2%)	34 (0.8%)	36 (0.9%)	52 (1.3%)	42 (1.0%)	72 (1.8%)
	昭和63年 (1988年)	昭和62年 (1987年)	昭和61年 (1986年)	昭和60年 (1985年)	昭和59年 (1984年)	昭和58年 (1983年)
	82 (2.0%)	123 (3.1%)	127 (3.2%)	133 (3.3%)	110 (2.7%)	58 (1.4%)
	昭和57年 (1982年)	昭和56年 (1981年)	昭和55年 (1980年)	昭和54年 (1979年)	昭和53年 (1978年)	昭和52年 (1977年)
	65 (1.6%)	82 (2.0%)	76 (1.9%)	71 (1.8%)	73 (1.8%)	101 (2.5%)
	昭和51年 (1976年)	昭和50年 (1975年)	昭和49年 (1974年)	昭和48年 (1973年)	昭和47年 (1972年)	昭和46年 (1971年)
	90 (2.2%)	104 (2.6%)	89 (2.2%)	76 (1.9%)	102 (2.5%)	102 (2.5%)
	昭和45年 (1970年)	昭和44年 (1969年)	昭和43年 (1968年)	昭和42年 (1967年)	昭和41年 (1966年)	昭和40年 (1965年)
	71 (1.8%)	64 (1.6%)	75 (1.9%)	93 (2.3%)	59 (1.5%)	83 (2.1%)
	昭和39年 (1964年)	昭和38年 (1963年)	昭和37年 (1962年)	昭和36年 (1961年)	昭和35年 (1960年)	昭和34年 (1959年)
	98 (2.4%)	118 (2.9%)	105 (2.6%)	96 (2.4%)	76 (1.9%)	88 (2.2%)
	昭和33年 (1958年)	昭和32年 (1957年)	昭和31年 (1956年)	昭和30年 (1955年)	昭和29年 (1954年)	昭和28年 (1953年)
	80 (2.0%)	63 (1.6%)	61 (1.5%)	46 (1.1%)	63 (1.6%)	93 (2.3%)
	昭和27年 (1952年)	昭和26年 (1951年)	昭和25年 (1950年)	昭和24年 (1949年)	昭和23年 (1948年)	昭和22年 (1947年)
	81 (2.0%)	69 (1.7%)	104 (2.6%)	76 (1.9%)	64 (1.6%)	61 (1.5%)
	昭和21年 (1946年)	昭和20年 (1945年)	昭和19年 (1944年)	昭和18年 (1943年)	昭和17年 (1942年)	昭和16年 (1941年)
	37 (0.9%)	21 (0.5%)	33 (0.8%)	34 (0.8%)	22 (0.5%)	14 (0.3%)
	昭和15年 (1940年)	昭和14年 (1939年)	昭和13年 (1938年)	昭和12年 (1937年)	昭和11年 (1936年)	昭和10年 (1935年)
	18 (0.4%)	12 (0.3%)	10 (0.2%)	2 (0.0%)	4 (0.1%)	5 (0.1%)
	昭和9年 (1934年)	昭和8年 (1933年)	昭和7年 (1932年)	昭和6年 (1931年)	昭和5年 (1930年)	昭和4年 (1929年)
	3 (0.1%)	2 (0.0%)	4 (0.1%)	2 (0.0%)	-	1 (0.0%)
	昭和3年 (1928年)	昭和2年 (1927年)	昭和元年 (1926年)以前			
	1 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)			

問3 性別		
回答数	男性	女性
4023 (100%)	2009 (49.9%)	2014 (50.1%)

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問4 最近5年間に経験したトラブルで弁護士への相談を考えたことがありますか		
回答数	考えたことがある	考えたことはない
4023 (100%)	830 (20.6%)	3193 (79.4%)

↓ ↓

問5へ 問7(1)へ

問5 トラブルを解決するために弁護士に依頼しようとしたか			
回答数	依頼しようと思 い、実際に依頼 した(ことがある)	依頼しようと思 ったが、結局依頼 しなかった	依頼しようと思 わなかった
830 (100%)	261 (31.4%)	461 (55.5%)	108 (13.0%)

↓ ↓

問7(1)へ 問6へ

問6 依頼しなかった理由 1. 弁護士では問題を解決してくれないと思ったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	27 (4.7%)	84 (14.8%)	148 (26.0%)	120 (21.1%)	190 (33.4%)

問6 依頼しなかった理由 2. 弁護士は頼りにならなそうだったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	22 (3.9%)	43 (7.6%)	163 (28.6%)	141 (24.8%)	200 (35.1%)

問6 依頼しなかった理由 3. 弁護士がよく話を聞いてくれなさそうだったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	27 (4.7%)	83 (14.6%)	156 (27.4%)	140 (24.6%)	163 (28.6%)

問6 依頼しなかった理由 4. 弁護士にかかる費用が払えなかったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	165 (29.0%)	198 (34.8%)	113 (19.9%)	41 (7.2%)	52 (9.1%)

問6 依頼しなかった理由 5. 弁護士に依頼するような問題ではないと思ったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	54 (9.5%)	129 (22.7%)	203 (35.7%)	93 (16.3%)	90 (15.8%)

問6 依頼しなかった理由 6. 自分で解決できると思ったから					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	55 (9.7%)	148 (26.0%)	179 (31.5%)	91 (16.0%)	96 (16.9%)

問5で「依頼しようと思ったが、結局依頼しなかった」または「依頼しようと思わなかった」と回答した人

問6 依頼しなかった理由 7. 弁護士の探し方が分からなかったから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
569 (100%)	79 (13.9%)	160 (28.1%)	135 (23.7%)	85 (14.9%)	110 (19.3%)

問7(1) 法律上の問題を抱えた場合、弁護士に相談すること
にためらいを感じると思いますか

回答数	ためらいを感じ と思う	どちらともいえない	ためらいを感じ と思わない
4023 (100%)	1135 (28.2%)	1401 (34.8%)	1487 (37.0%)

問7(2)へ

問8へ

問7(2) ためらいを感じると思う理由 1. 弁護士には近寄りやすいイメージがあるから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1135 (100%)	351 (30.9%)	530 (46.7%)	136 (12.0%)	74 (6.5%)	44 (3.9%)

問7(2) ためらいを感じると思う理由 2. 弁護士はお金がかかりそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1135 (100%)	893 (78.7%)	218 (19.2%)	13 (1.1%)	6 (0.5%)	5 (0.4%)

問7(2) ためらいを感じると思う理由 3. 弁護士に頼むと解決までに時間がかかりそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1135 (100%)	373 (32.9%)	376 (33.1%)	222 (19.6%)	118 (10.4%)	46 (4.1%)

問7(2) ためらいを感じると思う理由 4. 弁護士に頼んで裁判などになると、かえって問題がこじれそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1135 (100%)	305 (26.9%)	341 (30.0%)	278 (24.5%)	145 (12.8%)	66 (5.8%)

問8 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、あなたなら、どのような方法で弁護士を探すと思いますか

回答数	知り合い(家族、 親せき、友人を 含む。)に聞いて 探す	広告・雑誌等で 探す	弁護士会が提供 している情報をも とに探す	インターネットの 情報をもとに探 す	役所や警察など の公的な機関で 紹介を受けて探 す
4023 (100%)	1468 (36.5%)	46 (1.1%)	414 (10.3%)	993 (24.7%)	452 (11.2%)
	どうやって探した らいいのかわか らない	その他			
	553 (13.7%)	97 (2.4%)			

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問9 弁護士を選ぶ際に弁護士の性別はどの程度考慮しますか					
回答数	男性がいい	どちらかといえば男性がいい	どちらでもよい	どちらかといえば女性がいい	女性がいい
4023 (100%)	277 (6.9%)	641 (15.9%)	2781 (69.1%)	231 (5.7%)	93 (2.3%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 1. 弁護士への話しやすさ					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1922 (47.8%)	1777 (44.2%)	280 (7.0%)	30 (0.7%)	14 (0.3%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 2. 親身に対応してくれること					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	2633 (65.4%)	1149 (28.6%)	215 (5.3%)	14 (0.3%)	12 (0.3%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 3. 依頼内容に対してきちんと説明してくれること					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	2722 (67.7%)	1090 (27.1%)	190 (4.7%)	12 (0.3%)	9 (0.2%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 4. 希望通りの結果が得られそうと言ってくれること					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1259 (31.3%)	1442 (35.8%)	1136 (28.2%)	139 (3.5%)	47 (1.2%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 5. 弁護士の実務経験が長いこと					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	924 (23.0%)	1953 (48.5%)	965 (24.0%)	150 (3.7%)	31 (0.8%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 6. 弁護士の専門分野					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1523 (37.9%)	1950 (48.5%)	497 (12.4%)	39 (1.0%)	14 (0.3%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 7. 弁護士がそれまで取り扱った事件に関する実績と評価					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1194 (29.7%)	1964 (48.8%)	749 (18.6%)	98 (2.4%)	18 (0.4%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 8. 弁護士の事務所に行きやすいこと					
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1129 (28.1%)	1967 (48.9%)	765 (19.0%)	130 (3.2%)	32 (0.8%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 9. 法律知識に限られない幅広い知識をもっていること

回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1319 (32.8%)	1880 (46.7%)	713 (17.7%)	89 (2.2%)	22 (0.5%)

問9-1 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 10. 弁護士にかかる費用が安いこと

回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
4023 (100%)	1863 (46.3%)	1569 (39.0%)	538 (13.4%)	39 (1.0%)	14 (0.3%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 1. 弁護士の専門分野が簡単にわかること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1675 (41.6%)	1835 (45.6%)	453 (11.3%)	45 (1.1%)	15 (0.4%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 2. 弁護士がそれまでに取り扱った事件に関する実績と評価が簡単にわかること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1465 (36.4%)	1908 (47.4%)	557 (13.8%)	73 (1.8%)	20 (0.5%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 3. 弁護士の事務所に行きやすいこと

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1298 (32.3%)	1867 (46.4%)	714 (17.7%)	115 (2.9%)	29 (0.7%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 4. 弁護士にかかる費用の総額が安くなること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1918 (47.7%)	1570 (39.0%)	477 (11.9%)	40 (1.0%)	18 (0.4%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 5. 弁護士にかかる費用の基準が簡単に分かること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	2284 (56.8%)	1422 (35.3%)	276 (6.9%)	30 (0.7%)	11 (0.3%)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 6. 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が利用しやすくなること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1505 (37.4%)	1630 (40.5%)	779 (19.4%)	82 (2.0%)	27 (0.7%)

【資料1-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、弁護士に依頼しやすくするために必要なこと 7. 弁護士にかかる費用を立て替える等公的な支援制度が利用できること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1781 (44.3%)	1596 (39.7%)	544 (13.5%)	77 (1.9%)	25 (0.6%)

問11 将来以下の問題を抱えた場合に、弁護士にその問題の解決を依頼したいと思うもの(いくつでも)

回答数	自分や家族が高齢になり、財産を管理できなくなったとき	高齢になり、医療や介護などの点で、法的な問題を気軽に相談したいと思ったとき	子どもがいじめにあったとき	家族や恋人などに暴力をふるわれたとき	ストーカー被害にあったとき
4023 (100%)	1113 (27.7%)	1007 (25.0%)	414 (10.3%)	793 (19.7%)	905 (22.5%)
	職場でのセクハラ・パワハラを受けたとき	犯罪被害にあったとき	消費者被害にあったとき	インターネット上で被害にあったとき	その他
	958 (23.8%)	2890 (71.8%)	2300 (57.2%)	1545 (38.4%)	220 (5.5%)

問12 弁護士のイメージ 1. 個人の人権を守ってくれる人たちだと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	774 (19.2%)	1891 (47.0%)	1108 (27.5%)	169 (4.2%)	81 (2.0%)

問12 弁護士のイメージ 2. 世間の常識を知らない人たちだと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	171 (4.3%)	514 (12.8%)	1638 (40.7%)	1104 (27.4%)	596 (14.8%)

問12 弁護士のイメージ 3. 依頼者の味方をしてくれる人たちだと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	693 (17.2%)	1961 (48.7%)	1180 (29.3%)	128 (3.2%)	61 (1.5%)

問12 弁護士のイメージ 4. 一般人にとっては近寄りづらい人たちだと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	607 (15.1%)	1574 (39.1%)	1284 (31.9%)	380 (9.4%)	178 (4.4%)

問12 弁護士のイメージ 5. 法律問題を解決してくれる専門家だと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	1593 (39.6%)	1847 (45.9%)	496 (12.3%)	56 (1.4%)	31 (0.8%)

問12 弁護士のイメージ 6. 金儲けのことばかり考えている人たちだと思う

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	236 (5.9%)	712 (17.7%)	2038 (50.7%)	764 (19.0%)	273 (6.8%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問12 弁護士のイメージ 7. 社会的弱者や貧しい人たちのため法律問題を解決する人たちだと思う					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	296 (7.4%)	1084 (26.9%)	1905 (47.4%)	518 (12.9%)	220 (5.5%)

問12 弁護士のイメージ 8. 企業のビジネスを助ける人たちだと思う					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	440 (10.9%)	1567 (39.0%)	1777 (44.2%)	175 (4.3%)	64 (1.6%)

問13 若い弁護士のイメージ 1. 仕事を丁寧につけてくれそう					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	229 (5.7%)	1138 (28.3%)	2127 (52.9%)	410 (10.2%)	119 (3.0%)

問13 若い弁護士のイメージ 2. 社会経験や実務経験がないので頼りない					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	312 (7.8%)	1442 (35.8%)	1770 (44.0%)	415 (10.3%)	84 (2.1%)

問13 若い弁護士のイメージ 3. 新しい知識を積極的に取り入れてくれそう					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	344 (8.6%)	1770 (44.0%)	1644 (40.9%)	194 (4.8%)	71 (1.8%)

問13 若い弁護士のイメージ 4. 法律知識が足りない					
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
4023 (100%)	250 (6.2%)	1022 (25.4%)	2166 (53.8%)	458 (11.4%)	127 (3.2%)

問14 弁護士に期待する能力 1. 法律に関する専門的な知識					
回答数	期待する	どちらかといえば 期待する	どちらともいえない	どちらかといえば 期待しない	期待しない
4023 (100%)	2267 (56.4%)	1389 (34.5%)	337 (8.4%)	22 (0.5%)	8 (0.2%)

問14 弁護士に期待する能力 2. 法律知識に限られない幅広い知識					
回答数	期待する	どちらかといえば 期待する	どちらともいえない	どちらかといえば 期待しない	期待しない
4023 (100%)	1713 (42.6%)	1712 (42.6%)	522 (13.0%)	62 (1.5%)	14 (0.3%)

問14 弁護士に期待する能力 3. 最先端分野の知識					
回答数	期待する	どちらかといえば 期待する	どちらともいえない	どちらかといえば 期待しない	期待しない
4023 (100%)	1277 (31.7%)	1688 (42.0%)	940 (23.4%)	103 (2.6%)	15 (0.4%)

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問14 弁護士に期待する能力 4. ビジネスへの理解					
回答数	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
4023 (100%)	945 (23.5%)	1762 (43.8%)	1156 (28.7%)	133 (3.3%)	27 (0.7%)

問14 弁護士に期待する能力 5. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識					
回答数	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
4023 (100%)	834 (20.7%)	1448 (36.0%)	1420 (35.3%)	245 (6.1%)	76 (1.9%)

問14 弁護士に期待する能力 6. コミュニケーション能力					
回答数	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
4023 (100%)	2016 (50.1%)	1501 (37.3%)	454 (11.3%)	36 (0.9%)	16 (0.4%)

問14 弁護士に期待する能力 7. 交渉力					
回答数	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
4023 (100%)	2410 (59.9%)	1238 (30.8%)	342 (8.5%)	22 (0.5%)	11 (0.3%)

問14 弁護士に期待する能力 8. 外国語の能力					
回答数	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
4023 (100%)	454 (11.3%)	1108 (27.5%)	1907 (47.4%)	403 (10.0%)	151 (3.8%)

問15(1) <交通事故> この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ① 着手金15万円, 報酬金35万円					
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	11 (8.3%)	37 (27.8%)	46 (34.6%)	28 (21.1%)	11 (8.3%)



問15(1) <交通事故> この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ② 着手金20万円, 報酬金50万円					
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	8 (6.0%)	38 (28.4%)	56 (41.8%)	20 (14.9%)	12 (9.0%)



法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問15(1)＜交通事故＞この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ③着手金25万円、報酬金55万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	4 (3.0%)	40 (30.1%)	52 (39.1%)	22 (16.5%)	15 (11.3%)

問16へ

問15(2)③, (3)③へ

問15(1)＜交通事故＞この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ④着手金30万円、報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
135 (100%)	14 (10.4%)	25 (18.5%)	53 (39.3%)	27 (20.0%)	16 (11.9%)

問16へ

問15(2)④, (3)④へ

問15(1)＜交通事故＞この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ⑤着手金30万円、報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	8 (6.0%)	30 (22.6%)	55 (41.4%)	27 (20.3%)	13 (9.8%)

問16へ

問15(2)⑤, (3)⑤へ

問15(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問15(2)＜交通事故＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金15万円、報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
39 (100%)	12 (30.8%)	2 (5.1%)	16 (41.0%)	9 (23.1%)

問15(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問15(2)＜交通事故＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金20万円、報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
32 (100%)	14 (43.8%)	2 (6.3%)	8 (25.0%)	8 (25.0%)

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問15(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(2)＜交通事故＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着
手金25万円, 報酬金55万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
37 (100%)	22 (59.5%)	3 (8.1%)	4 (10.8%)	8 (21.6%)

問15(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(2)＜交通事故＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着
手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
43 (100%)	19 (44.2%)	2 (4.7%)	13 (30.2%)	9 (20.9%)

問15(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(2)＜交通事故＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着
手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
40 (100%)	17 (42.5%)	5 (12.5%)	9 (22.5%)	9 (22.5%)

問15(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞最初に支払う金額 ①着
手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
39	6.59	0.00	30.00

問15(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞最初に支払う金額 ②着
手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
32	6.75	0.00	20.00

問15(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞最初に支払う金額 ③着手金25万円, 報酬金55万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
37	8.89	0.00	25.00

問15(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞最初に支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
43	10.95	0.00	50.00

問15(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞最初に支払う金額 ⑤着手金30万円, 報酬金70万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
40	11.15	0.00	50.00

問15(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
39	25.13	0.00	100.00

問15(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
32	37.63	0.00	500.00

問15(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金25万円, 報酬金55万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
37	32.22	0.00	100.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問15(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
43	33.37	0.00	100.00

問15(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
40	48.15	1.00	500.00

問15(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞着手金+報酬金 ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
39	31.72	0.00	110.00

問15(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞着手金+報酬金 ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
32	44.38	3.00	510.00

問15(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞着手金+報酬金 ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
37	41.11	0.00	110.00

問15(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞着手金+報酬金 ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
43	44.33	0.00	110.00

問15(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問15(3)＜交通事故＞着手金+報酬金 ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
40	59.30	2.00	505.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
668	17.20	0.00	1000.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ①問15＜交通事故＞着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	13.76	0.00	100.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ②問15＜交通事故＞着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	29.57	0.00	1000.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ③問15＜交通事故＞着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	14.93	0.00	200.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ④問15＜交通事故＞着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	16.11	0.00	100.00

問16＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ⑤問15＜交通事故＞着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	11.53	0.00	50.00

問17(1)＜遺言書の作成＞この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ①弁護士に支払う金額5万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	14 (10.5%)	29 (21.8%)	66 (49.6%)	15 (11.3%)	9 (6.8%)

↓
問18へ

↓
問17(2)①, (3)①へ

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問17(1) <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ②弁護士に支払う金額10万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	8 (6.0%)	25 (18.7%)	67 (50.0%)	19 (14.2%)	15 (11.2%)



問17(1) <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	7 (5.3%)	20 (15.0%)	59 (44.4%)	23 (17.3%)	24 (18.0%)



問17(1) <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	4 (3.0%)	17 (12.8%)	70 (52.6%)	21 (15.8%)	21 (15.8%)



問17(1) <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	5 (3.8%)	23 (17.3%)	53 (39.8%)	29 (21.8%)	23 (17.3%)



問17(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(2) <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ① 弁護士に支払う金額5万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
24 (100%)	10 (41.7%)	10 (41.7%)	3 (12.5%)	1 (4.2%)

問17(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(2)＜遺言書の作成＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②
 弁護士に支払う金額10万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
34 (100%)	14 (41.2%)	13 (38.2%)	5 (14.7%)	2 (5.9%)

問17(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(2)＜遺言書の作成＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③
 弁護士に支払う金額15万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
47 (100%)	24 (51.1%)	9 (19.1%)	9 (19.1%)	5 (10.6%)

問17(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(2)＜遺言書の作成＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④
 弁護士に支払う金額20万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
42 (100%)	15 (35.7%)	17 (40.5%)	9 (21.4%)	1 (2.4%)

問17(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(2)＜遺言書の作成＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤
 弁護士に支払う金額30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
52 (100%)	25 (48.1%)	16 (30.8%)	8 (15.4%)	3 (5.8%)

問17(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問17(3)＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ①弁護士に支払う金額5万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
24	2.42	0.00	10.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問17(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問17(3)＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ②弁護士に支払う金額10万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
34	4.65	0.00	30.00

問17(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問17(3)＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
47	4.34	0.00	10.00

問17(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問17(3)＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
42	6.19	0.00	50.00

問17(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問17(3)＜遺言書の作成＞弁護士に支払う金額 ⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
52	103.33	0.00	5000.00

問18 <交通事故>最初に支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
666	18.77	0.00	500.00

問18 <交通事故>最初に支払う金額 ①問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額5万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	19.32	0.00	300.00

問18 <交通事故>最初に支払う金額 ②問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額10万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	17.35	0.00	100.00

問18 <交通事故>最初に支払う金額 ③問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額15万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	23.34	0.00	500.00

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問18 <交通事故>最初に支払う金額 ④問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	15.93	0.00	50.00

問18 <交通事故>最初に支払う金額 ⑤問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	17.91	0.00	100.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
666	54.52	0.00	2500.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	47.68	0.00	500.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額10万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	45.05	0.00	300.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額15万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	75.70	0.00	2500.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	61.38	0.00	2000.00

問18 <交通事故>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	42.86	1.00	100.00

問18 <交通事故>着手金+報酬金			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
666	73.29	0.00	2600.00

問18 <交通事故>着手金+報酬金 ①問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	66.99	4.00	600.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問18 <交通事故>着手金+報酬金 ②問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額10万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	62.40	0.00	400.00

問18 <交通事故>着手金+報酬金 ③問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額15万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	99.04	0.00	2600.00

問18 <交通事故>着手金+報酬金 ④問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額20万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	77.31	0.00	2020.00

問18 <交通事故>着手金+報酬金 ⑤問17<遺言書の作成>弁護士に支払う金額30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	60.77	2.00	200.00

問19(1) <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思います	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思います	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	4 (3.0%)	22 (16.5%)	59 (44.4%)	27 (20.3%)	21 (15.8%)



問19(1) <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思います	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思います	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	6 (4.5%)	22 (16.4%)	43 (32.1%)	36 (26.9%)	27 (20.1%)



問19(1) <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思います	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思います	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	6 (4.5%)	18 (13.4%)	37 (27.6%)	37 (27.6%)	36 (26.9%)



法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問19(1) <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したくないと思う	この弁護士に依頼したくない
134 (100%)	5 (3.7%)	17 (12.7%)	42 (31.3%)	39 (29.1%)	31 (23.1%)

問20へ

問19(2)④, (3)④へ

問19(1) <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したくないと思う	この弁護士に依頼したくない
133 (100%)	3 (2.3%)	17 (12.8%)	43 (32.3%)	43 (32.3%)	27 (20.3%)

問20へ

問19(2)⑤, (3)⑤へ

問19(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問19(2) <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ① 着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
48 (100%)	31 (64.6%)	3 (6.3%)	11 (22.9%)	3 (6.3%)

問19(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問19(2) <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ② 着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
63 (100%)	40 (63.5%)	9 (14.3%)	8 (12.7%)	6 (9.5%)

問19(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問19(2) <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③ 着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
73 (100%)	45 (61.6%)	9 (12.3%)	13 (17.8%)	6 (8.2%)

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問19(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(2) <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④
着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
70 (100%)	51 (72.9%)	6 (8.6%)	10 (14.3%)	3 (4.3%)

問19(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(2) <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤
着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
70 (100%)	50 (71.4%)	4 (5.7%)	11 (15.7%)	5 (7.1%)

問19(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>最初に支払う金額 ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
48	5.96	0.00	50.00

問19(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>最初に支払う金額 ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	4.75	0.00	20.00

問19(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>最初に支払う金額 ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	7.45	0.00	25.00

問19(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>最初に支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	7.84	0.00	20.00

問19(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>最初に支払う金額 ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	7.89	0.00	30.00

問19(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
48	13.65	0.00	100.00

問19(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	17.24	1.00	50.00

問19(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	23.64	1.00	100.00

問19(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	24.11	0.00	60.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問19(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着し金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	27.44	1.00	70.00

問19(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>着し金+報酬金 ①着し金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
48	19.60	0.00	150.00

問19(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>着し金+報酬金 ②着し金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	21.98	2.00	60.00

問19(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>着し金+報酬金 ③着し金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	31.10	2.00	103.00

問19(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>着し金+報酬金 ④着し金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	31.96	0.00	70.00

問19(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問19(3) <貸金の請求>着し金+報酬金 ⑤着し金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
70	35.33	2.00	70.00

問20 <離婚>最初に支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
668	13.69	0.00	1200.00

問20 <離婚>最初に支払う金額 ①問19<貸金の請求>着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	21.47	0.00	1200.00

問20 <離婚>最初に支払う金額 ②問19<貸金の請求>着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	11.69	0.00	200.00

問20 <離婚>最初に支払う金額 ③問19<貸金の請求>着手金25万円, 報酬金55万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	11.38	0.00	50.00

問20 <離婚>最初に支払う金額 ④問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金60万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	11.84	0.00	100.00

問20 <離婚>最初に支払う金額 ⑤問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金70万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	12.10	0.00	100.00

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
668	23.39	0.00	200.00

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問19<貸金の請求>着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	23.13	0.00	200.00

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問19<貸金の請求>着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	24.06	0.00	200.00

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問19<貸金の請求>着手金25万円, 報酬金55万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	22.99	1.00	50.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④
問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	22.48	0.00	100.00

問20 <離婚>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤
問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	24.29	0.00	200.00

問20 <離婚>着手金+報酬金

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
668	37.08	0.00	1300.00

問20 <離婚>着手金+報酬金 ①問19<貸金の請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	44.60	0.00	1300.00

問20 <離婚>着手金+報酬金 ②問19<貸金の請求>着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	35.75	0.00	400.00

問20 <離婚>着手金+報酬金 ③問19<貸金の請求>着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	34.37	2.00	70.00

問20 <離婚>着手金+報酬金 ④問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	34.32	0.00	200.00

問20 <離婚>着手金+報酬金 ⑤問19<貸金の請求>着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	36.39	0.00	220.00

問21(1)<離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金10万円, 報酬金20万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
135 (100%)	6 (4.4%)	29 (21.5%)	67 (49.6%)	25 (18.5%)	8 (5.9%)

↓
問22へ

↓
問21(2)①, (3)①へ

問21(1)＜離婚＞この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手数料15万円，報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
135 (100%)	8 (5.9%)	23 (17.0%)	46 (34.1%)	37 (27.4%)	21 (15.6%)

問22へ

問21(2)②，(3)②へ

問21(1)＜離婚＞この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手数料20万円，報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
136 (100%)	5 (3.7%)	25 (18.4%)	53 (39.0%)	28 (20.6%)	25 (18.4%)

問22へ

問21(2)③，(3)③へ

問21(1)＜離婚＞この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手数料30万円，報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
136 (100%)	3 (2.2%)	14 (10.3%)	46 (33.8%)	29 (21.3%)	44 (32.4%)

問22へ

問21(2)④，(3)④へ

問21(1)＜離婚＞この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手数料40万円，報酬金80万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
136 (100%)	4 (2.9%)	7 (5.1%)	38 (27.9%)	46 (33.8%)	41 (30.1%)

問22へ

問21(2)⑤，(3)⑤へ

問21(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問21(2)＜離婚＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手数料10万円，報酬金20万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士，税理士など)に相談しようと思うから	その他
33 (100%)	20 (60.6%)	6 (18.2%)	3 (9.1%)	4 (12.1%)

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問21(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(2)＜離婚＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
58 (100%)	40 (69.0%)	8 (13.8%)	5 (8.6%)	5 (8.6%)

問21(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(2)＜離婚＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
53 (100%)	41 (77.4%)	5 (9.4%)	3 (5.7%)	4 (7.5%)

問21(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(2)＜離婚＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
73 (100%)	62 (84.9%)	3 (4.1%)	3 (4.1%)	5 (6.8%)

問21(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(2)＜離婚＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金40万円, 報酬金80万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
87 (100%)	74 (85.1%)	5 (5.7%)	4 (4.6%)	4 (4.6%)

問21(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞最初に支払う金額 ①着手金10万円, 報酬金20万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
33	3.88	0.00	20.00

問21(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞最初に支払う金額 ②着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
58	23.40	0.00	1000.00

問21(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞最初に支払う金額 ③着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
53	5.68	0.00	20.00

問21(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞最初に支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	9.79	0.00	50.00

問21(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞最初に支払う金額 ⑤着手金40万円, 報酬金80万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
87	11.60	0.00	40.00

問21(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金10万円, 報酬金20万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
33	12.76	3.00	30.00

問21(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
58	14.34	0.00	50.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問21(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
53	21.89	5.00	100.00

問21(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金30万円, 報酬金60万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	24.73	0.00	60.00

問21(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着手金40万円, 報酬金80万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
87	30.67	0.00	100.00

問21(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞着手金+報酬金 ①着手金10万円, 報酬金20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
33	16.64	4.00	30.00

問21(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞着手金+報酬金 ②着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
58	37.74	0.00	1025.00

問21(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞着手金+報酬金 ③着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
53	27.57	8.00	110.00

問21(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞着手金＋報酬金 ④着手金30万円，報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
73	34.52	0.00	70.00

問21(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問21(3)＜離婚＞着手金＋報酬金 ⑤着手金40万円，報酬金80万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
87	42.26	6.00	120.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
678	17.42	0.00	500.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額 ①問21＜離婚＞着手金10万円，報酬金20万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	15.32	0.00	100.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額 ②問21＜離婚＞着手金15万円，報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	19.94	0.00	500.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額 ③問21＜離婚＞着手金20万円，報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	15.57	0.00	100.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額 ④問21＜離婚＞着手金30万円，報酬金60万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	16.93	0.00	53.00

問22 ＜貸金の請求＞最初に支払う金額 ⑤問21＜離婚＞着手金40万円，報酬金80万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	19.37	0.00	200.00

問22 ＜貸金の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
678	42.67	0.00	500.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問22 <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問21<離婚>着手金10万円, 報酬金20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	38.37	0.00	200.00

問22 <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問21<離婚>着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	39.72	0.00	500.00

問22 <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問21<離婚>着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	45.92	0.00	500.00

問22 <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④問21<離婚>着手金30万円, 報酬金60万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	40.96	0.00	150.00

問22 <貸金の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤問21<離婚>着手金40万円, 報酬金80万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	48.34	1.00	500.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
678	60.09	0.00	700.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金 ①問21<離婚>着手金10万円, 報酬金20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	53.69	0.00	300.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金 ②問21<離婚>着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
135	59.66	3.00	700.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金 ③問21<離婚>着手金20万円, 報酬金50万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	61.49	0.00	600.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金 ④問21<離婚>着手金30万円, 報酬金60万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	57.88	0.00	200.00

問22 <貸金の請求>着手金+報酬金 ⑤問21<離婚>着手金40万円, 報酬金80万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	67.71	2.00	700.00

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問23(1) <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	5 (3.8%)	19 (14.3%)	43 (32.3%)	36 (27.1%)	30 (22.6%)

問24へ

問23(2)①, (3)①へ

問23(1) <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	2 (1.5%)	18 (13.5%)	36 (27.1%)	43 (32.3%)	34 (25.6%)

問24へ

問23(2)②, (3)②へ

問23(1) <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	5 (3.7%)	10 (7.5%)	39 (29.1%)	46 (34.3%)	34 (25.4%)

問24へ

問23(2)③, (3)③へ

問23(1) <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
134 (100%)	4 (3.0%)	13 (9.7%)	41 (30.6%)	31 (23.1%)	45 (33.6%)

問24へ

問23(2)④, (3)④へ

問23(1) <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	2 (1.5%)	10 (7.5%)	36 (27.1%)	49 (36.8%)	36 (27.1%)

問24へ

問23(2)⑤, (3)⑤へ

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問23(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(2)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
66 (100%)	39 (59.1%)	10 (15.2%)	14 (21.2%)	3 (4.5%)

問23(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(2)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
77 (100%)	40 (51.9%)	7 (9.1%)	19 (24.7%)	11 (14.3%)

問23(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(2)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
80 (100%)	50 (62.5%)	5 (6.3%)	14 (17.5%)	11 (13.8%)

問23(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(2)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
76 (100%)	46 (60.5%)	4 (5.3%)	18 (23.7%)	8 (10.5%)

問23(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(2)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金50万円，報酬金100万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士，税理士など)に相談しようと思うから	その他
85 (100%)	61 (71.8%)	2 (2.4%)	14 (16.5%)	8 (9.4%)

問23(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞最初に支払う金額 ① 着手金15万円，報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
66	4.83	0.00	10.00

問23(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞最初に支払う金額 ② 着手金25万円，報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
77	6.61	0.00	20.00

問23(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞最初に支払う金額 ③ 着手金30万円，報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
80	8.49	0.00	30.00

問23(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞最初に支払う金額 ④ 着手金40万円，報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
76	9.45	0.00	40.00

問23(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞最初に支払う金額 ⑤ 着手金50万円，報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
85	15.60	0.00	300.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問23(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
66	12.61	0.00	50.00

問23(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
77	18.45	0.00	100.00

問23(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
80	26.54	1.00	90.00

問23(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
76	20.78	0.00	55.00

問23(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
85	32.58	0.00	300.00

問23(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金+報酬金 ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
66	17.44	0.00	50.00

問23(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金＋報酬金 ②着手金25万円，報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
77	25.06	0.00	110.00

問23(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金＋報酬金 ③着手金30万円，報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
80	35.03	2.00	100.00

問23(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金＋報酬金 ④着手金40万円，報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
76	30.22	0.00	70.00

問23(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問23(3)＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金＋報酬金 ⑤着手金50万円，報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
85	48.18	0.00	600.00

問24 ＜残業代の請求＞最初に支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
667	9.76	0.00	500.00

問24 ＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ①問23＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金15万円，報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	9.38	0.00	200.00

問24 ＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ②問23＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金25万円，報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	7.70	0.00	25.00

問24 ＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ③問23＜家賃の不払い・立ち退き請求＞着手金30万円，報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	12.21	0.00	500.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問24 <残業代の請求>最初に支払う金額 ④問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	9.22	0.00	100.00

問24 <残業代の請求>最初に支払う金額 ⑤問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	10.29	0.00	200.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
667	23.88	0.00	200.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	23.44	0.00	200.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	22.95	0.00	100.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	26.27	2.00	100.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	22.88	0.00	80.00

問24 <残業代の請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	23.83	0.00	90.00

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
667	33.64	0.00	600.00

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金 ①問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	32.82	0.00	400.00

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金 ②問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	30.65	0.00	120.00

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金 ③問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	38.48	4.00	600.00

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金 ④問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
134	32.10	0.00	150.00

問24 <残業代の請求>着手金+報酬金 ⑤問23<家賃の不払い・立ち退き請求>着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	34.12	0.00	200.00

問25(1)<残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
138 (100%)	5 (3.6%)	56 (40.6%)	58 (42.0%)	13 (9.4%)	6 (4.3%)



問25(1)<残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
136 (100%)	16 (11.8%)	43 (31.6%)	53 (39.0%)	13 (9.6%)	11 (8.1%)



問25(1)<残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	11 (8.3%)	39 (29.3%)	49 (36.8%)	18 (13.5%)	16 (12.0%)



【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問25(1) <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
133 (100%)	11 (8.3%)	33 (24.8%)	53 (39.8%)	21 (15.8%)	15 (11.3%)

問26へ

問25(2)④, (3)④へ

問25(1) <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
136 (100%)	10 (7.4%)	39 (28.7%)	52 (38.2%)	23 (16.9%)	12 (8.8%)

問26へ

問25(2)⑤, (3)⑤へ

問25(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(2) <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
19 (100%)	7 (36.8%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	7 (36.8%)

問25(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(2) <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
24 (100%)	13 (54.2%)	3 (12.5%)	2 (8.3%)	6 (25.0%)

問25(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(2) <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
34 (100%)	20 (58.8%)	1 (2.9%)	5 (14.7%)	8 (23.5%)

問25(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(2)＜残業代の請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
36 (100%)	23 (63.9%)	1 (2.8%)	7 (19.4%)	5 (13.9%)

問25(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(2)＜残業代の請求＞この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
35 (100%)	22 (62.9%)	3 (8.6%)	6 (17.1%)	4 (11.4%)

問25(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
19	3.11	0.00	10.00

問25(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
24	2.25	0.00	10.00

問25(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
34	6.18	0.00	100.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問25(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
36	5.03	0.00	15.00

問25(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞最初に支払う金額 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
35	10.11	0.00	100.00

問25(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
19	17.11	0.00	50.00

問25(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
24	17.50	0.00	50.00

問25(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
34	47.38	1.00	1000.00

問25(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問25(3)＜残業代の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
36	17.31	0.00	100.00

問25(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
35	40.97	0.00	500.00

問25(1)①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞着手金+報酬金 ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
19	20.21	0.00	60.00

問25(1)②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞着手金+報酬金 ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
24	19.75	0.00	60.00

問25(1)③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞着手金+報酬金 ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
34	53.56	1.00	1100.00

問25(1)④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞着手金+報酬金 ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
36	22.33	0.00	101.00

問25(1)⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問25(3)＜残業代の請求＞着手金+報酬金 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
35	51.09	0.00	600.00

【資料1-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
676	12.87	0.00	300.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額 ①問25<残業代の請求>着手金5万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
138	11.17	0.00	40.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額 ②問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	11.69	0.00	30.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額 ③問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	11.59	0.00	39.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額 ④問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	14.06	0.00	200.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>最初に支払う金額 ⑤問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	15.88	0.00	300.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
676	31.54	0.00	1000.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問25<残業代の請求>着手金5万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
138	27.59	0.00	90.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	29.17	0.00	100.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	30.29	0.00	200.00

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

【資料1-1】

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	31.32	0.00	150.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	39.35	0.00	1000.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
676	44.41	0.00	1300.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金 ①問25<残業代の請求>着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
138	38.76	0.00	120.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金 ②問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	40.86	0.00	110.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金 ③問25<残業代の請求>着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	41.89	0.00	220.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金 ④問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
133	45.38	0.00	350.00

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>着手金+報酬金 ⑤問25<残業代の請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
136	55.23	0.00	1300.00

問27 あなたの知り合いに弁護士はいますか

回答数	いる	いない
4023 (100%)	756 (18.8%)	3267 (81.2%)

【資料1-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(インターネット)

問28 現在または過去に、法律に関する勉強をされた経験がありますか					
回答数	大学の法学部系の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある	大学の法学部系以外の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある	大学以外で法律を勉強したことがある(独学を含む。)	法律を勉強したことはない	わからない
4023 (100%)	195 (4.8%)	261 (6.5%)	383 (9.5%)	2992 (74.4%)	192 (4.8%)

問29 これまでに、法律に関わる仕事をした経験がありますか					
回答数	組織の中で法律に関する事務に直接関係する部門で仕事をした経験がある	営業・販売・製造など、通常の仕事を行うなかで、法律に関する仕事をした経験がある	1, 2以外で法律に関する仕事をした経験がある(具体的に:	仕事上で法律に関わった経験はない	わからない
4023 (100%)	196 (4.9%)	342 (8.5%)	68 (1.7%)	3235 (80.4%)	182 (4.5%)

問30 居住地(都道府県)						
回答数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県
4023 (100%)	178 (4.4%)	30 (0.7%)	31 (0.8%)	80 (2.0%)	32 (0.8%)	19 (0.5%)
	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
	31 (0.8%)	76 (1.9%)	54 (1.3%)	46 (1.1%)	222 (5.5%)	215 (5.3%)
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
	599 (14.9%)	361 (9.0%)	62 (1.5%)	38 (0.9%)	40 (1.0%)	22 (0.5%)
	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
	14 (0.3%)	55 (1.4%)	54 (1.3%)	123 (3.1%)	236 (5.9%)	51 (1.3%)
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	46 (1.1%)	104 (2.6%)	338 (8.4%)	206 (5.1%)	49 (1.2%)	30 (0.7%)
	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	8 (0.2%)	12 (0.3%)	55 (1.4%)	97 (2.4%)	28 (0.7%)	11 (0.3%)
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
	37 (0.9%)	35 (0.9%)	14 (0.3%)	150 (3.7%)	13 (0.3%)	25 (0.6%)
	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
	22 (0.5%)	22 (0.5%)	11 (0.3%)	26 (0.6%)	15 (0.4%)	

問31 世帯年収(税引前)					
回答数	なし	100万円未満	100万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満
4023 (100%)	180 (4.5%)	222 (5.5%)	728 (18.1%)	1072 (26.6%)	1251 (31.1%)
	1,000万円以上 1,500万円未満	1,500万円以上	不明		
	314 (7.8%)	116 (2.9%)	140 (3.5%)		

インターネット調査 重み付けに関する説明

1 重み付け前の標本と母集団との比較

重み付け前の標本と総務省統計局の「人口推計」（平成25年10月1日現在）とを比較すると、男女の割合はほぼ差がないが（【表1】）、年代において60代以上が母集団に比べて少ないことが分かる（【表2】）。また、地域で比較すると、東京都の割合が母集団に比べて多いことが分かる（【表3】）。

そこで、我が国全体の法的ニーズを検討するため、年代と地域とで標本の重み付けを行い、母集団をより正確に反映したものに調整することとした。

もっとも、都道府県ごとに重み付けをするには、各都道府県からの標本数が必ずしも十分な数ではないため、地域ごとに重み付けをすることとした。地域のカテゴリについては、法的ニーズと人口が大きく関連することが考えられるため、【表4】のとおり都道府県を人口で4カテゴリに区分した上で、重み付けを行うこととした。

なお、実際の総回答数は4,031であったが、記入が不真面目なもの（例えば記入欄に「ABC」と書き込むなど）が8つあったため、総回答数から8を除外した。

【表1】

性別	ネット調査		総務省統計局	
	標本数	割合	人口 (千人)	割合
男性	2,009	49.9%	61,909	48.6%
女性	2,014	50.1%	65,388	51.4%
合計	4,023	100.0%	127,298	100.0%

【表2】

年代	ネット調査		総務省統計局	
	標本数	割合	人口 (千人)	割合
20代	797	19.8%	13,075	12.5%
30代	799	19.9%	16,684	15.9%
40代	801	19.9%	18,076	17.2%
50代	812	20.2%	15,468	14.8%
60代以上	814	20.2%	41,564	39.6%
合計	4,023	100.0%	104,867	100.0%

【表3】

都道府県	ネット調査		総務省統計局	
	標本数	割合	人口 (千人)	割合
北海道	178	4.4%	5,431	4.3%
青森県	30	0.7%	1,335	1.0%
岩手県	31	0.8%	1,295	1.0%
宮城県	80	2.0%	2,328	1.8%
秋田県	32	0.8%	1,050	0.8%
山形県	19	0.5%	1,141	0.9%
福島県	31	0.8%	1,946	1.5%
茨城県	76	1.9%	2,931	2.3%
栃木県	54	1.3%	1,986	1.6%
群馬県	46	1.1%	1,984	1.6%
埼玉県	222	5.5%	7,222	5.7%
千葉県	215	5.3%	6,192	4.9%
東京都	599	14.9%	13,300	10.4%
神奈川県	361	9.0%	9,079	7.1%
新潟県	62	1.5%	2,330	1.8%

都道府県	ネット調査		総務省統計局	
	標本数	割合	人口 (千人)	割合
滋賀県	46	1.1%	1,416	1.1%
京都府	104	2.6%	2,617	2.1%
大阪府	338	8.4%	8,849	7.0%
兵庫県	206	5.1%	5,558	4.4%
奈良県	49	1.2%	1,383	1.1%
和歌山県	30	0.7%	979	0.8%
鳥取県	8	0.2%	578	0.5%
島根県	12	0.3%	702	0.6%
岡山県	55	1.4%	1,930	1.5%
広島県	97	2.4%	2,840	2.2%
山口県	28	0.7%	1,420	1.1%
徳島県	11	0.3%	770	0.6%
香川県	37	0.9%	985	0.8%
愛媛県	35	0.9%	1,405	1.1%
高知県	14	0.3%	745	0.6%

【資料1-2】

富山県	38	0.9%	1,076	0.8%
石川県	40	1.0%	1,159	0.9%
福井県	22	0.5%	795	0.6%
山梨県	14	0.3%	847	0.7%
長野県	55	1.4%	2,122	1.7%
岐阜県	54	1.3%	2,051	1.6%
静岡県	123	3.1%	3,723	2.9%
愛知県	236	5.9%	7,443	5.8%
三重県	51	1.3%	1,833	1.4%

福岡県	150	3.7%	5,090	4.0%
佐賀県	13	0.3%	840	0.7%
長崎県	25	0.6%	1,397	1.1%
熊本県	22	0.5%	1,801	1.4%
大分県	22	0.5%	1,178	0.9%
宮崎県	11	0.3%	1,120	0.9%
鹿児島県	26	0.6%	1,680	1.3%
沖縄県	15	0.4%	1,415	1.1%
合計	4,023	100.0%	127,298	100.0%

【表4】

地域	都道府県	人口 (千人)
第Ⅰ地域	東京都	13,300
	神奈川県	9,079
第Ⅱ地域	大阪府	8,849
	愛知県	7,443
第Ⅲ地域	埼玉県	7,222
	千葉県	6,192
	兵庫県	5,558
	北海道	5,431
第Ⅳ地域	福岡県	5,090
	静岡県	3,723
	茨城県	2,931
	広島県	2,840
	京都府	2,617
	新潟県	2,330
	宮城県	2,328
	長野県	2,122
	岐阜県	2,051

地域	都道府県	人口 (千人)
第Ⅳ地域	岐阜県	2,051
	栃木県	1,986
	群馬県	1,984
	福島県	1,946
	岡山県	1,930
	三重県	1,833
	熊本県	1,801
	鹿児島県	1,680
	山口県	1,420
	滋賀県	1,416
	沖縄県	1,415
	愛媛県	1,405
	長崎県	1,397
	奈良県	1,383
	青森県	1,335
	岩手県	1,295

地域	都道府県	人口 (千人)
第Ⅳ地域	大分県	1,178
	石川県	1,159
	山形県	1,141
	宮崎県	1,120
	富山県	1,076
	秋田県	1,050
	香川県	985
	和歌山県	979
	山梨県	847
	佐賀県	840
	福井県	795
	徳島県	770
	高知県	745
	島根県	702
鳥取県	578	
合計		127,298

2 重み付け値

標本を4地域と5年代の20グループに分けた上で【表5】のとおり⑥ウェイト値を算出した。⑥ウェイト値については、少数点3以下を四捨五入して少数点2以下までをSPSSに入力した。重み付け後の標本総数は4,024となった。

【表5】

地域	年代	①母集団数 (千人)	②母集団割合	③4,023 (回収 標本総 数)を ②で 按分した 数字	④回収 標本数	⑤回収 標本 割合	⑥ウェイト値(② /⑤) (小数点 3以下四 捨五入)	⑦規制 標本数 (④* ⑥)	⑧規制 標本割 合
第Ⅰ地域	20歳代	1,690	1.6%	65	87	2.2%	0.75	65	1.6%
	30歳代	2,103	2.0%	81	131	3.3%	0.62	81	2.0%
	40歳代	2,174	2.1%	83	126	3.1%	0.66	83	2.1%
	50歳代	1,539	1.5%	59	138	3.4%	0.43	59	1.5%
	60歳以上	3,753	3.6%	144	117	2.9%	1.23	144	3.6%
第Ⅱ地域	20歳代	2,819	2.7%	108	191	4.7%	0.57	109	2.7%
	30歳代	3,512	3.3%	135	201	5.0%	0.67	135	3.3%
	40歳代	3,929	3.7%	151	173	4.3%	0.87	151	3.7%
	50歳代	2,891	2.8%	111	190	4.7%	0.58	110	2.7%
	60歳以上	7,649	7.3%	293	180	4.5%	1.63	293	7.3%
第Ⅲ地域	20歳代	3,062	2.9%	117	186	4.6%	0.63	117	2.9%
	30歳代	3,864	3.7%	148	187	4.6%	0.79	148	3.7%
	40歳代	4,248	4.1%	163	217	5.4%	0.75	163	4.0%
	50歳代	3,576	3.4%	137	179	4.4%	0.77	138	3.4%
	60歳以上	9,574	9.1%	367	202	5.0%	1.82	368	9.1%
第Ⅳ地域	20歳代	5,504	5.2%	211	333	8.3%	0.63	210	5.2%
	30歳代	7,205	6.9%	276	280	7.0%	0.99	277	6.9%
	40歳代	7,725	7.4%	296	285	7.1%	1.04	296	7.4%
	50歳代	7,462	7.1%	286	305	7.6%	0.94	287	7.1%
	60歳以上	20,588	19.6%	790	315	7.8%	2.51	791	19.6%
総計		104,867	100.0%	4,023	4,023	100.0%	18.87	4,024	100.0%

【資料1-2】

3 重み付け後の標本

重み付け後の標本における性別の分布と人口推計（総務省統計局）における性別の分布を比較したところ、【表6】のとおりであった。また、重み付け後の標本における世帯年収の分布と平成25年市民生活基礎調査（厚生労働省）の所得階級別の世帯数の分布を比較したところ、【表7】のとおりであった。

平成25年市民生活基礎調査における調査事項は各世帯の年収ではなく所得であるため、正確に比較することはできないが、性別及び年収のいずれにおいても標本と母集団とでそれほど大きな差は見られないことが確認された。

【表6】

		度数	パーセント	有効 パーセント	重み付け前	人口推計 (総務省統計局)
性別	男性	2,038	50.6%	50.6%	49.9%	48.6%
	女性	1,987	49.4%	49.4%	50.1%	51.4%
合計		4,024	100.0%	100.0%		

【表7】

		度数	パーセント	有効 パーセント	重み付け前	世帯所得 (平成25年市民生活 基礎調査(厚労省))
年収	300万円未満	1,226	30.5%	31.6%	29.1%	32.7%
	300-500万円未満	1,119	27.8%	28.8%	27.6%	24.2%
	500-1,000万円未満	1,154	28.7%	29.7%	32.2%	31.8%
	1,000万円以上	386	9.6%	9.9%	11.1%	11.3%
	合計	3,885	96.5%	100.0%		
欠損値		140	3.5%			
合計		4,024	100.0%			

法的ニーズに関する意識調査

調査にご協力いただける皆様へ

法的ニーズに関する意識調査へのご協力をお願い

内閣官房法曹養成制度改革推進室

このたびは、法的ニーズに関する意識調査にご協力いただき、まことにありがとうございます。
裁判官、検察官、弁護士（これらの3つの法律専門家をまとめて「法曹」といいます。）は、これまで主に裁判制度を支える役割を担ってききましたが、今後は、国民の皆様の様々な法的ニーズに、より一層こたえていくことが期待されています。
そこで、国民の皆様の今後の法的ニーズにはどのようなものがあるのかをおうかがいするため、法的ニーズに関する意識調査を行うことといたしました。

調査にご協力いただける皆様におかれましては、お忙しいことと存じますが、お時間をいただき、画面の指示に従って各質問にご回答くださいますよう、お願いいたします。

いただいた貴重なご回答は、今後、政府が法曹人口のあり方を考えるにあたって利用させていただきます。

【ご回答にあたって】

- * アンケートは、無記名式となっています。
- * 集計にあたり、回答した個人が特定されることはありません。

次へ

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 8
Microsoft Internet Explorer 9
Microsoft Internet Explorer 10
Firefox 14.0以降
Google Chrome 21.0以降

推奨OS

Windows Vista
Windows 7
Windows 8

【資料1-3】

これから、あなたのことについてお聞きします。

問1 あなたの年齢を教えてください。

[必須]

-
- 10代
 - 20代
 - 30代
 - 40代
 - 50代
 - 60代以上

次へ

問2 あなたの生まれた年を教えてください。

[必須]

選択して下さい

次へ

【資料1-3】

問3 あなたの性別を教えてください。

[必須]

- 1. 男性
- 2. 女性

次へ

問4 あなたは最近5年間に経験したトラブルで弁護士への相談を考えたことがありますか。

(例: 事故, 遺産相続, 高齢者の財産管理, 離婚, DV, ストーカー, 金銭の貸し借りなどに関して)

【必須】

-
- 1. 考えたことがある
 - 2. 考えたことはない

次へ

【資料1-3】

問5 あなたはトラブルを解決するために弁護士に依頼しようとしたか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

【必須】

-
- 1. 依頼しようと思い、実際に依頼したことがある
 - 2. 依頼しようと思ったが、結局依頼しなかった
 - 3. 依頼しようと思わなかった

次へ

問6 あなたが弁護士に依頼しなかった理由は何ですか。

1～7の理由について、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

【必須】

		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
1. 弁護士では問題を解決してくれないと思ったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 弁護士は頼りにならなそうだったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 弁護士がよく話を聞いてくれなさそうだったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 弁護士にかかる費用が払えなかったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 弁護士に依頼するような問題ではないと思ったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 自分で解決できると思ったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 弁護士の探し方が分からなかったから	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

【資料1-3】

ここからは、あなたが弁護士に法律問題の解決を依頼する際の理由や、依頼することにためらいを感じるかどうかをお聞きます。

問7(1) あなたが、例えば誰かから金銭の支払いを請求されたり、裁判で訴えられるなど法律上の問題を抱えた場合、弁護士に相談することにためらいを感じると思いますか。 [必須]
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

- 1. ためらいを感じると思う
- 2. どちらともいえない
- 3. ためらいを感じると思わない

次へ

問7(2) あなたがためらいを感じると思う理由は何ですか。

【必須】

1～4の理由について、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1. 弁護士には近寄りやすいイメージがあるから	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 弁護士はお金がかかりそうだから	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 弁護士に頼むと解決までに時間がかかりそうだから	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 弁護士に頼んで裁判などになると、かえって問題がこじれそうだから	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

【資料1-3】

問8 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、あなたなら、どのような方法で弁護士を探すと思いますか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

【必須】

-
- 1. 知り合い(家族、親せき、友人を含む。)に聞いて探す
 - 2. 広告・雑誌等で探す
 - 3. 弁護士会が提供している情報をもとに探す
 - 4. インターネットの情報をもとに探す
 - 5. 役所や警察などの公的な機関で紹介を受けて探す
 - 6. どうやって探したらいいのかわからない
 - 7. その他(具体的に:)

次へ

問9 仮に、あなたが弁護士に依頼することが必要な問題に巻き込まれ、その問題の解決を弁護士に依頼することになったとします。その弁護士を選ぶ際に以下の事項についてどの程度考慮しますか。 [必須]
 もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

		男性が いい	どちらか といえば 男性が いい	どちら でも よい	どちらか といえば 女性が いい	女性が いい
1. 弁護士の性別	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

引き続き、1～10の事項について、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。 [必須]

		考慮 する	ある 程度 考慮 する	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 考 慮 し な い	考 慮 し な い
1. 弁護士への話しやすさ	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 親身に対応してくれること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 依頼内容に対してきちんと説明してくれること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 希望通りの結果が得られそうと言えること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 弁護士の実務経験が長いこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 弁護士の専門分野	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 弁護士がそれまで取り扱った事件に関する実績と評価	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 弁護士の事務所に行きやすいこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 法律知識に限られない幅広い知識をもっていること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 弁護士にかかる費用が安いこと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

【資料1-3】

ここからは、今後弁護士に解決を依頼する場面についてお聞きします。

問10 弁護士を必要とするような問題を抱えたとき、あなたが弁護士に依頼しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。 [必須]
1～7のことについて、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
1. 弁護士の専門分野が簡単にわかること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 弁護士がそれまでに取り扱った事件に関する実績と評価が簡単にわかること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 弁護士の事務所に行きやすいこと	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 弁護士にかかる費用の総額が安くなること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 弁護士にかかる費用の基準が簡単に分かること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が利用しやすくなること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 弁護士にかかる費用を立て替えたり免除したりする公的な支援制度が利用できること	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の他に、あなたが弁護士に依頼しやすくなるために必要だと思うことがあれば、自由にご記入ください。

次へ

問11 あなた,または,あなたの家族が将来以下の問題を抱えた場合に,弁護士にその問題の解決を依頼したいと思うものが以下の中にあるらば,あてはまるものを全て選んでください。(複数回答可) 【必須】

- 1. 自分や家族が高齢になり,財産を管理できなくなったとき
- 2. 高齢になり,医療や介護などの点で,法的な問題を気軽に相談したいと思ったとき
- 3. 子どもがいじめにあったとき
- 4. 家族や恋人などに暴力をふるわれたとき
- 5. ストーカー被害にあったとき
- 6. 職場でのセクハラ・パワハラを受けたとき
- 7. 犯罪被害にあったとき
- 8. 消費者被害にあったとき
- 9. インターネット上で被害にあったとき
- 10. その他(具体的に:)

次へ

【資料1-3】

ここからは、弁護士のイメージについてお聞きします。

問12 あなたは弁護士についてどのようなイメージを持っていますか。

1～8のことについて、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

[必須]

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
1. 個人の人権を守ってくれる人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 世間の常識を知らない人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 依頼者の味方をしてくれる人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 一般人にとっては近寄りたくない人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 法律問題を解決してくれる専門家だと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 金儲けのことばかり考えている人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 社会的弱者や貧しい人たちのため法律問題を解決する人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 企業のビジネスを助ける人たちだと思う	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

問13 最近, 20代や30代の若い弁護士が増えています, あなたは若い弁護士についてどのようなイメージを抱きますか。
1~4のことについて, もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

【必須】

- | | | そう思う | どちらかといえばそう思う | どちらともいえない | どちらかといえばそう思わない | そうは思わない |
|------------------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 仕事を丁寧にやってくれそう | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2. 社会経験や実務経験がないので頼りない | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3. 新しい知識を積極的に取り入れてくれそう | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 4. 法律知識が足りない | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

以上の他に, あなたが若い弁護士について抱くイメージがあれば, 自由にご記入ください。

次へ

【資料1-3】

問14 あなたは、これからの弁護士にどのような能力等を期待しますか。
1～8のことについて、もっともあてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。

【必須】

	期待する	どちらかといえば期待する	どちらともいえない	どちらかといえば期待しない	期待しない
1. 法律に関する専門的な知識	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 法律知識に限られない幅広い知識	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 最先端分野の知識	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. ビジネスへの理解	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. コミュニケーション能力	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 交渉力	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 外国語の能力	→ <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

以上の他に、あなたがこれからの弁護士に期待する能力等があれば、自由にご記入ください。

次へ

最後に、あなたご自身について教えてください。

問27 あなたの知り合いに弁護士はいますか。

【必須】

-
- 1. いる
 - 2. いない

次へ

【資料1-3】

問28 あなたは、現在または過去に、法律に関する勉強をされた経験がありますか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 大学の法学部系の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある
 - 2. 大学の法学部系以外の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある
 - 3. 大学以外で法律を勉強したことがある(独学を含む。)
 - 4. 法律を勉強したことはない
 - 5. わからない

次へ

問29 あなたは、これまでに、法律に関わる仕事をした経験がありますか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

【必須】

-
- 1. 組織の中で法律に関する事務に直接関係する部門で仕事をした経験がある
 - 2. 営業・販売・製造など、通常の仕事をしながら、法律に関する仕事をした経験がある
 - 3. 1, 2以外で法律に関する仕事をした経験がある(具体的に:)
 - 4. 仕事上で法律に関わった経験はない
 - 5. わからない

次へ

【資料1-3】

問30 あなたがお住まいの都道府県を教えてください。

[必須]

選択して下さい

あなたがお住まいの市区町村および郵便番号をご記入ください。

[任意]

※郵便番号はハイフン(-)なしで、半角数字7桁をお願いします。

市区町村

郵便番号

次へ

問31 あなたの収入(世帯の場合は生計を共にされているご家族の収入を含む。)は全部でどのくらいになりますか。
昨年1年間の金額(納税額を差し引く前の収入金額)でお答えください。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[任意]

-
- なし
 - 100万円未満
 - 100万円以上300万円未満
 - 300万円以上500万円未満
 - 500万円以上1,000万円未満
 - 1,000万円以上1,500万円未満
 - 1,500万円以上

次へ

【資料1-3】

問32 このアンケートについて、他にご意見、コメント等ございましたら、自由にご記入ください。

次へ

ご協力ありがとうございました。
これでアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

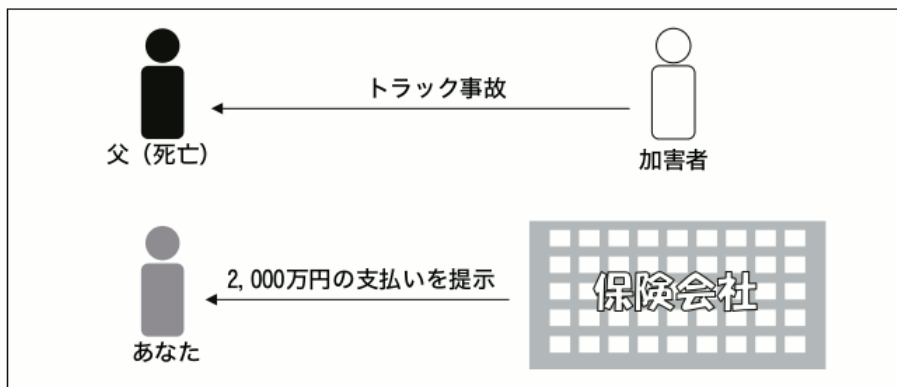
問15 <交通事故>

あなた(35才)は、3か月ほど前にお父さん(62才)を交通事故で亡くしました。事故は、横断歩道を歩行中に、左折してきたトラックがはねたものでした。

加害者が加入していた保険会社からは、損害賠償として2,000万円を支払うとの申し出がありました。

あなたが弁護士に相談に行ったところ、「その事案で2,000万円は低すぎるのではないか。弁護士に依頼すれば、一般的には、2,500万円程度になると思う。」と言われました。

ただし、この弁護士に依頼するためには、最初に__万円を支払う必要があります。また、希望どおり500万円の増額が得られたときには、さらに__万円を支払う必要があります。増額された金額が500万円より低いときは追加の支払金額は減額されます。まったく増額が得られなかった場合でも最初に支払った__万円は戻ってきません。



問15(1) あなたは、この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか。
あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んでください。

【必須】

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

【資料1-4-1】

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

問15(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

【資料1-4-1】

問15(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、最初に支払う金額、希望通りの結果が得られたときに支払う金額、それぞれ、いくらまでであれば依頼しますか。 [必須]

最初に支払う金額

 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

 万円

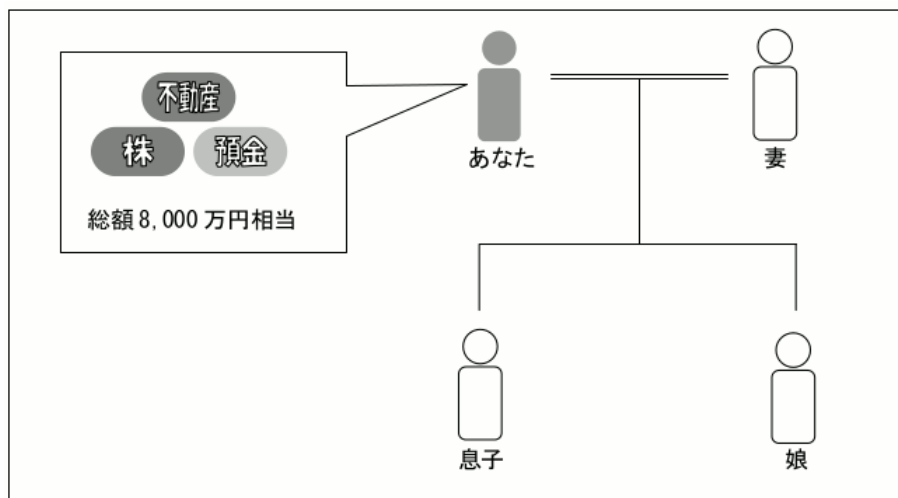
※半角数字で記入してください。

次へ

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問16 <遺言書の作成>

あなた(65才)は、長年勤めた会社を定年退職し、年金で生活をしています。あなたには、妻(60才)と息子(35才)と娘(33才)がいます。あなたには、現在、自宅不動産と預金、株券の資産があり、総額8,000万円くらいの価値になります。[必須]
 家族の仲は良いのですが、あなたは、自分が死んだ後に遺産をめぐってトラブルが起きないか心配になりました。
 弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、遺言書の作成を、弁護士に依頼しようと思いますか。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考
 弁護士に支払う金額：16万円

弁護士に支払う金額 万円

※半角数字で記入してください。

次へ

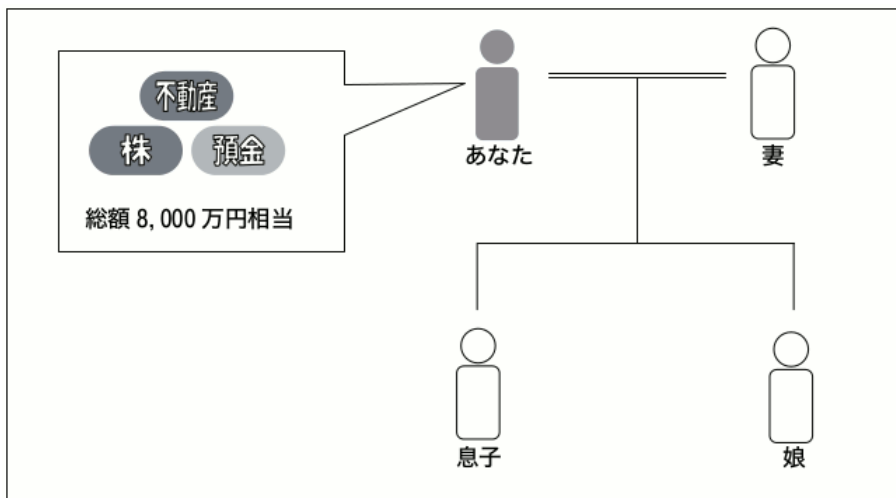
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問17 <遺言書の作成>

あなた(65才)は、長年勤めた会社を定年退職し、年金で生活をしています。あなたには、妻(60才)と息子(35才)と娘(33才)がいます。あなたには、現在、自宅不動産と預金、株券の資産があり、総額8,000万円くらいの価値になります。

家族の仲は良いのですが、あなたは、自分が死んだ後に遺産をめぐってトラブルが起きないか心配になりました。

そこで、ちゃんとした遺言書を残しておこうと考え、弁護士に相談したところ、8,000万円の資産を妻と子ども2人に分ける遺言書の作成を依頼するためには、__万円を弁護士に支払う必要があるということです。



問17(1) あなたは、この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか。
あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んで下さい。

[必須]

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

【資料1-4-2】

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

問17(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

【資料1-4-2】

問17(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、弁護士に支払う金額が、いくらまでであれば依頼しますか。

[必須]

弁護士に支払う金額 万円

※半角数字で記入してください。

次へ

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問18 <交通事故>

あなた(35才)は、3か月ほど前にお父さん(62才)を交通事故で亡くしました。事故は、横断歩道を歩行中に、左折してきたトラックがはねたものでした。

加害者が加入していた保険会社からは、損害賠償として2,000万円を支払うとの申し出がありました。

あなたが弁護士に相談に行ったところ、「その事案で2,000万円は低すぎるのではないか。弁護士に依頼すれば、一般的には、**[必須]** 2,500万円程度になると思う。」と言われました。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、保険会社との交渉を、この弁護士に依頼しようと思いますか。最初に支払う金額(増額が得られなかったときにも戻ってきません。)、希望どおりに500万円の増額が得られたときに支払う金額、それぞれについて教えてください。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：30万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：50万円

最初に支払う金額

万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

万円

※半角数字で記入してください。

次へ

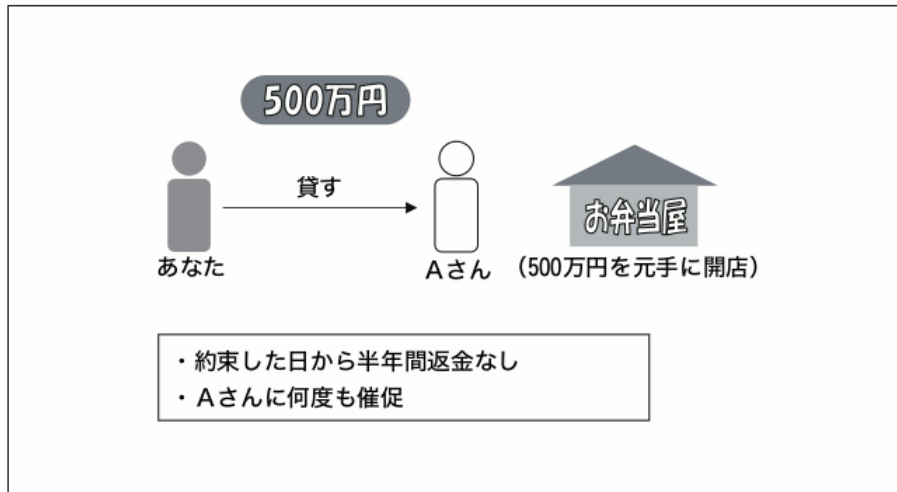
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問19 <貸金の請求>

あなた(40才)は、2年前に友人のAさん(40才)から、事業を始めるのでお金を貸してくれと頼まれ、500万円を貸しました。Aさんはそれを元手にお弁当屋を開いており、現在も営業を続けています。

しかし、その500万円をAさんが返すと約束した日から、もう半年経過しています。あなたは、くりかえしAさんに返済を求めています。Aさんはお金を返しません。

そこで弁護士に相談したところ、Aさんからの取り返しをこの弁護士に依頼するのであれば、最初に__万円を支払う必要があるということです。また、希望どおり500万円を取り返せたときには、さらに__万円を支払う必要があります。取り返せた金額が500万円より低いときは追加で支払う金額は減額されます。なお、まったく取り返せなかった場合でも最初に支払った__万円は戻ってきません。



問19(1) あなたは、この弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。
あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んで下さい。

[必須]

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

【資料1-4-3】

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

問19(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

【資料1-4-3】

問19(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、最初に支払う金額、希望通りの結果が得られたときに支払う金額、それぞれ、いくらまでであれば依頼しますか。 [必須]

最初に支払う金額

万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

万円

※半角数字で記入してください。

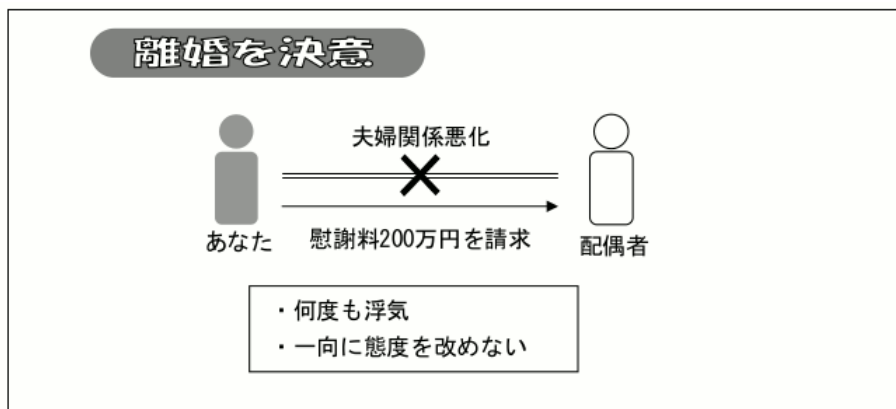
次へ

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問20 <離婚> (男性も女性もお答えください。)

あなた(38才)は結婚して10年、子どもはいません。夫婦共働きでやってきましたが、最近すれ違いが多く、夫婦仲はあまりよくありません。ある日、あなたは相手の携帯電話を見て何度も浮気していることを知り、問いましたが、一向に態度を改めないで、離婚を決意しました。離婚にあたっては、相手に慰謝料200万円を支払ってもらいたいと考えています。しかし、相手は離婚にはまったく【必須】応じないうえ、逆にあなたの態度を非難するばかりです。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、離婚の案件を、この弁護士に依頼しようと思えますか。最初に支払う金額(離婚できなかったときにも戻ってきません。)、希望どおり離婚し、慰謝料200万円を得られたときに支払う金額、それぞれについて教えてください。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：20万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：30万円

最初に支払う金額

万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

万円

※半角数字で記入してください。

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

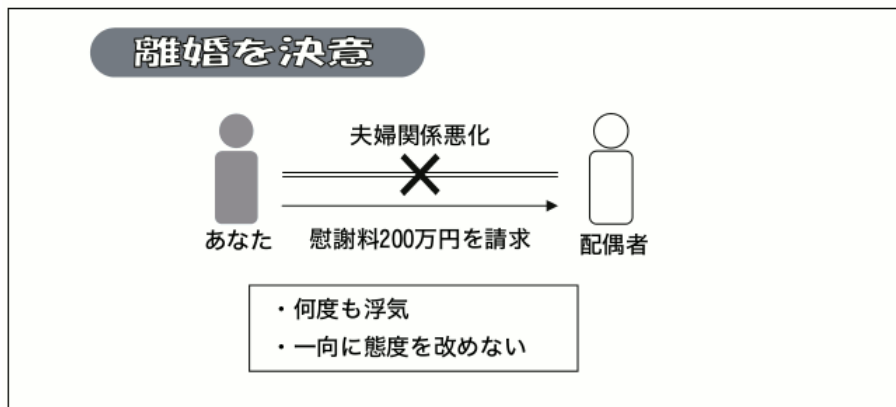
次へ

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問21 <離婚> (男性も女性もお答えください。)

あなた(38才)は結婚して10年、子どもはいません。夫婦共働きでやってきましたが、最近すれ違いが多く、夫婦仲はあまりよくありません。ある日、あなたは相手の携帯電話を見て何度も浮気していることを知り、問いましたが、一向に態度を改めないで、離婚を決意しました。離婚にあたっては、相手に慰謝料200万円を支払ってもらいたいと考えています。しかし、相手は離婚にはまったく応じないうえ、逆にあなたの態度を非難するばかりです。

そこで弁護士に相談したところ、離婚の案件をこの弁護士に依頼するのであれば、まず__万円を支払う必要があるということです。また、希望どおり離婚し、慰謝料200万円を得られた場合には、さらに__万円を支払う必要があります。慰謝料の金額が200万円より低いときは、追加の支払い金額は減額されます。なお、離婚ができなかった場合でも最初に支払った__万円は戻ってきません。



問21(1) あなたは、この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか。
あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んで下さい。

[必須]

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

次へ

【資料1-4-4】

問21(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

問21(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、最初に支払う金額、希望通りの結果が得られたときに支払う金額、それぞれ、いくらまでであれば依頼しますか。 [必須]

最初に支払う金額

 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

 万円

※半角数字で記入してください。

次へ

【資料1-4-4】

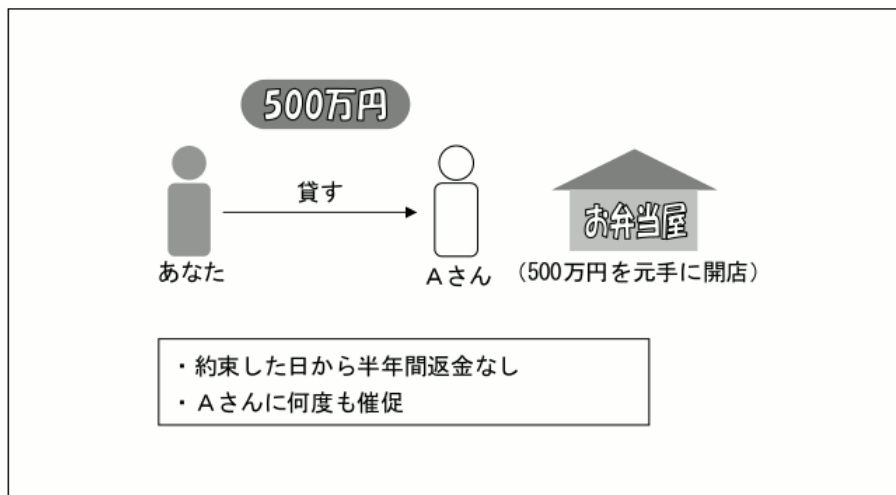
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問22 <貸金の請求>

あなた(40才)は、2年前に友人のAさん(40才)から、事業を始めるのでお金を貸してくれと頼まれ、500万円を貸しました。Aさんはそれを元手にお弁当屋を開いており、現在も営業を続けています。

しかし、その500万円をAさんが返すと約束した日から、もう半年経過しています。あなたは、くりかえしAさんに返済を求めています [必須] が、Aさんはお金を返しません。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、Aさんからお金の取り返しを、この弁護士に依頼しようと思いますか。最初に支払う金額(希望どおりの500万円が取り返せなかったときにも戻ってきません。)、希望どおりに500万円を取り返せたときに支払う金額、それぞれについて答えてください。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：33万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：50万円

最初に支払う金額 万円
希望通りの結果が得られたときに支払う金額 万円

※半角数字で記入してください。

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問23 <家賃の不払い・立ち退き請求>

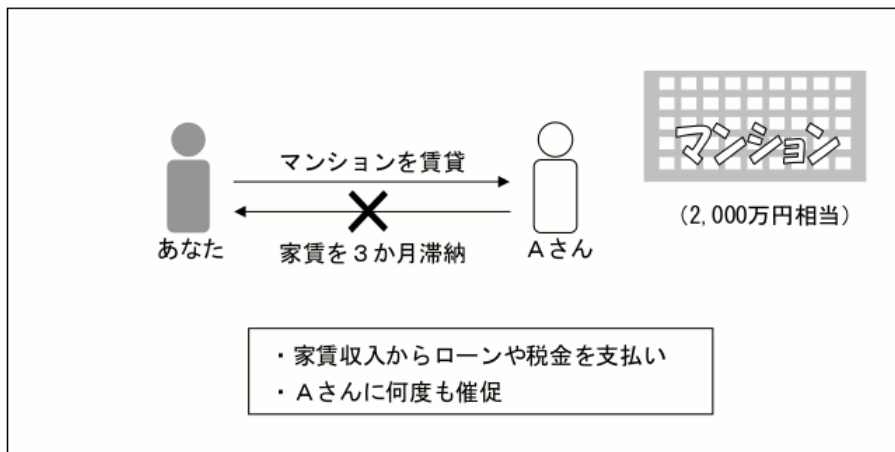
あなた(42才)は5年前にマンションを購入して家族で住んでいましたが、昨年、転勤することになり、家族で引っ越しました。マンション(現在の価値2000万円相当)は月額13万円でAさん(45才)に貸すことにし、この家賃収入13万円の中から住宅ローンや税金などを毎月10万円支払っていました。

ところが、最近、Aさんが家賃を払わなくなり、現在までで3か月分(合計39万円)の家賃を払っていません。

あなたはAさんに何度も催促していますが、Aさんは「もうすぐ払う。」と言うだけで、払ってくれません。そのため、あなたは住宅ローンや税金を支払い続けるのが苦しくなってきました。

そこで、弁護士に相談したところ、賃料の回収は難しいので、早く裁判を起こしてAさんをマンションから出て行かせ、次の借り手を探した方がよい、と言われました。

Aさんに対する裁判を、この弁護士に依頼するのであれば、まず__万円を支払う必要があります。またAさんを希望どおり出て行かせることができたときには、さらに__万円を支払う必要があります。なお、希望どおり出て行かせることができなかった場合でも、最初に支払った__万円は戻ってきません。



問23(1) あなたは、この弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。
あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んで下さい。

【必須】

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

【資料1-4-5】

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

問23(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

【資料1-4-5】

問23(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、最初に支払う金額、希望通りの結果が得られたときに支払う金額、それぞれ、いくらまでであれば依頼しますか。 [必須]

最初に支払う金額

 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

 万円

※半角数字で記入してください。

次へ

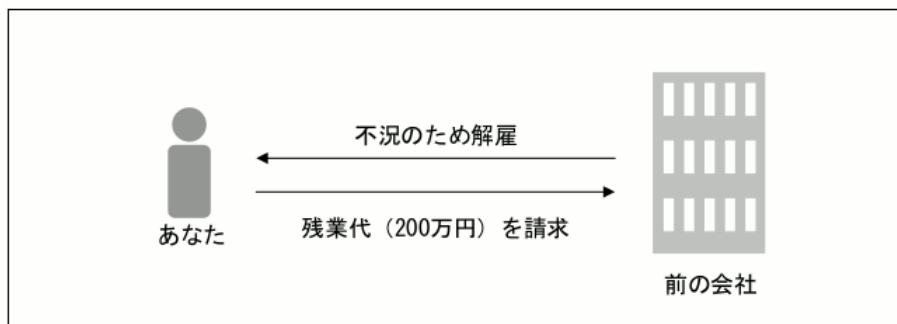
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問24 <残業代の請求>

あなた(39才)は、不況のため、長年働いていた会社から解雇されました。何とか他の働き口を見つけることができましたが、新しい職場の同僚から、「前の会社でもらっていない残業代があるならば、今からでももらえるかもしれない。」というアドバイスを受けた。あなたは、支払ってもらっていない残業代に心当たりがあったので、前の会社に連絡を試みましたが、支払いを拒否されました。

納得がいかないので弁護士に相談にいくと、夜中まで働いた分や休日に働いた分を合わせると、200万円程度は取れるのではない **【必須】**かと言われました。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、交渉や裁判を、この弁護士に依頼しようと思えますか。最初に支払う金額(希望どおり200万円が取れなかったときにも戻ってきません。)、希望どおりに200万円が取れたときに支払う金額、それぞれについて教えてください。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：10万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：25万円

最初に支払う金額

 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

 万円

※半角数字で記入してください。

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

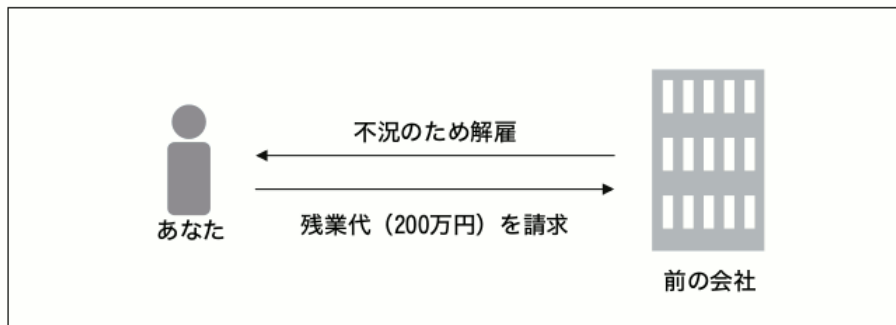
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問25 <残業代の請求>

あなた(39才)は、不況のため、長年働いていた会社から解雇されました。何とか他の働き口を見つけることができましたが、新しい職場の同僚から、「前の会社でもらっていない残業代があるならば、今からでももらえるかもしれない。」というアドバイスを受けました。あなたは、支払ってもらっていない残業代に心当たりがあったので、前の会社に連絡をしましたが、支払いを拒否されました。

納得がいかないので弁護士に相談にいくと、夜中まで働いた分や休日に働いた分を合わせると、200万円程度は取れるのではないかと言われました。

この弁護士に依頼して交渉や裁判をしてもらうためには、最初に__万円を支払う必要があります。また、希望どおり200万円が取れたら、さらに__万円を支払う必要があります。得られた金額が200万円より低いときは追加で支払う金額は減額されます。なお、まったく取れなかった場合でも、最初に支払った__万円は戻ってきません。



問25(1) あなたは、この弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。

あなたの意見にもっとも近いものを1つ選んで下さい。

[必須]

- 1. この弁護士に依頼したいと思う
- 2. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない
- 5. この弁護士に依頼したいとは思わない

次へ

【資料1-4-6】

問25(2) この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。
もっともあてはまるものを1つ選んでください。

[必須]

-
- 1. 弁護士に支払う金額が高いから
 - 2. 自分でやれると思うから
 - 3. 他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから
 - 4. その他(具体的に:)

次へ

問25(3) 仮に、弁護士に依頼するとすれば、最初に支払う金額、希望通りの結果が得られたときに支払う金額、それぞれ、いくらまでであれば依頼しますか。 [必須]

最初に支払う金額

 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額

 万円

※半角数字で記入してください。

次へ

【資料1-4-6】

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問26 <家賃の不払い・立ち退き請求>

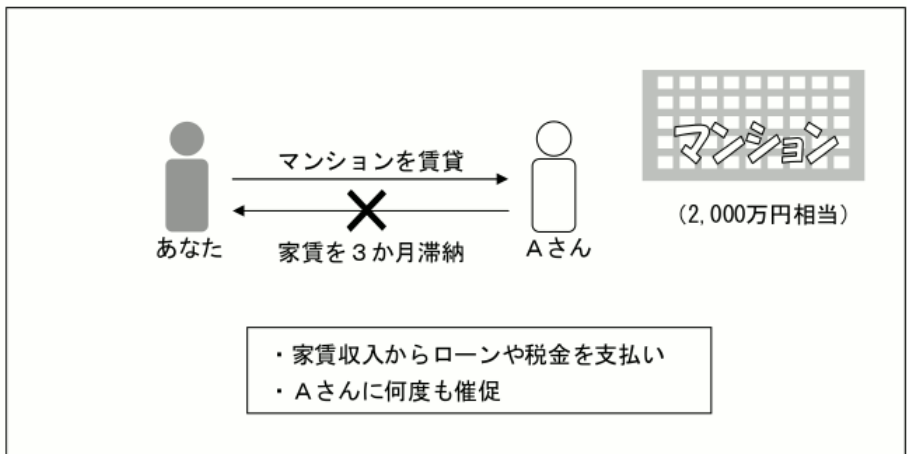
あなた(42才)は5年前にマンションを購入して家族で住んでいましたが、昨年、転勤することになり、家族で引っ越しました。マンション(現在の価値2000万円相当)は月額13万円でAさん(45才)に貸すこととし、この家賃収入13万円の中から住宅ローンや税金などを毎月10万円支払っていました。

ところが、最近、Aさんが家賃を払わなくなり、現在までで3か月分(合計39万円)の家賃を払って来ていません。

あなたはAさんに何度も催促していますが、Aさんは「もうすぐ払う。」と言うだけで、払ってくれません。そのため、あなたは住宅ローンや税金を支払い続けるのが苦しくなってきました。 [必須]

そこで、弁護士に相談したところ、賃料の回収は難しいので、早く裁判を起こしてAさんをマンションから出て行かせ、次の借り手を探した方がよい、と言われました。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、裁判を起こすのを、この弁護士に依頼しようと思いますか。最初に支払う金額(Aさんを希望どおり出て行かせることができなかつたときにも戻ってきません。)、希望どおりにAさんを出て行かせることができたときに支払う金額、それぞれについて教えてください。



なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：30万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：60万円

最初に支払う金額 万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額 万円

※半角数字で記入してください。

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

次へ

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

【資料2-1】

問1 生年						
回答数	平成10年 (1992年)	平成9年 (1993年)	平成8年 (1994年)	平成7年 (1995年)	平成6年 (1994年)	平成5年 (1993年)
9888 (100%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	7 (0.1%)	13 (0.1%)	15 (0.2%)	29 (0.3%)
	平成4年 (1992年)	平成3年 (1991年)	平成2年 (1990年)	平成元年 (1989年)	昭和63年 (1988年)	昭和62年 (1987年)
	68 (0.7%)	43 (0.4%)	78 (0.8%)	72 (0.7%)	102 (1.0%)	96 (1.0%)
	昭和61年 (1986年)	昭和60年 (1985年)	昭和59年 (1984年)	昭和58年 (1983年)	昭和57年 (1982年)	昭和56年 (1981年)
	124 (1.3%)	124 (1.3%)	166 (1.7%)	160 (1.6%)	157 (1.6%)	162 (1.6%)
	昭和55年 (1980年)	昭和54年 (1979年)	昭和53年 (1978年)	昭和52年 (1977年)	昭和51年 (1976年)	昭和50年 (1975年)
	157 (1.6%)	178 (1.8%)	184 (1.9%)	204 (2.1%)	192 (1.9%)	200 (2.0%)
	昭和49年 (1974年)	昭和48年 (1973年)	昭和47年 (1972年)	昭和46年 (1971年)	昭和45年 (1970年)	昭和44年 (1969年)
	250 (2.5%)	259 (2.6%)	234 (2.4%)	254 (2.6%)	257 (2.6%)	289 (2.9%)
	昭和43年 (1968年)	昭和42年 (1967年)	昭和41年 (1966年)	昭和40年 (1965年)	昭和39年 (1964年)	昭和38年 (1963年)
	251 (2.5%)	276 (2.8%)	198 (2.0%)	250 (2.5%)	245 (2.5%)	236 (2.4%)
	昭和37年 (1962年)	昭和36年 (1961年)	昭和35年 (1960年)	昭和34年 (1959年)	昭和33年 (1958年)	昭和32年 (1957年)
	214 (2.2%)	194 (2.0%)	189 (1.9%)	222 (2.2%)	178 (1.8%)	173 (1.7%)
	昭和31年 (1956年)	昭和30年 (1955年)	昭和29年 (1954年)	昭和28年 (1953年)	昭和27年 (1952年)	昭和26年 (1951年)
	133 (1.3%)	176 (1.8%)	181 (1.8%)	166 (1.7%)	163 (1.6%)	158 (1.6%)
	昭和25年 (1950年)	昭和24年 (1949年)	昭和23年 (1948年)	昭和22年 (1947年)	昭和21年 (1946年)	昭和20年 (1945年)
	165 (1.7%)	200 (2.0%)	169 (1.7%)	169 (1.7%)	119 (1.2%)	114 (1.2%)
	昭和19年 (1944年)	昭和18年 (1943年)	昭和17年 (1942年)	昭和16年 (1941年)	昭和15年 (1940年)	昭和14年 (1939年)
	124 (1.3%)	115 (1.2%)	104 (1.1%)	100 (1.0%)	76 (0.8%)	75 (0.8%)
	昭和13年 (1938年)	昭和12年 (1937年)	昭和11年 (1936年)	昭和10年 (1935年)	昭和9年 (1934年)	昭和8年 (1933年)
	49 (0.5%)	64 (0.6%)	39 (0.4%)	34 (0.3%)	40 (0.4%)	37 (0.4%)
	昭和7年 (1932年)	昭和6年 (1931年)	昭和5年 (1930年)	昭和4年 (1929年)	昭和3年 (1928年)	昭和2年 (1927年)
	25 (0.3%)	13 (0.1%)	12 (0.1%)	12 (0.1%)	10 (0.1%)	2 (0.0%)
	昭和元年 (1926年)	大正14年 (1925年)	大正13年 (1924年)	無回答		
	2 (0.0%)	4 (0.0%)	3 (0.0%)	333 (3.4%)		

問2 性別			
回答数	男性	女性	無回答
9888 (100%)	4937 (49.9%)	4653 (47.1%)	298 (3.0%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問3 法律相談内容					
回答数	遺言作成	遺産分割	成年後見	離婚・子どもに関すること	DV問題
9888 (100%)	38 (0.4%)	554 (5.6%)	61 (0.6%)	1803 (18.2%)	61 (0.6%)
	スーカー問題	クレジット・借金	貸金, 債権回収	消費者問題	交通事故
	46 (0.5%)	1463 (14.8%)	587 (5.9%)	252 (2.5%)	1364 (13.8%)
	不動産売買	不動産賃貸借	会社経営に関すること	労働問題	刑事事件
	181 (1.8%)	390 (3.9%)	95 (1.0%)	579 (5.9%)	249 (2.5%)
	その他	無回答			
	1328 (13.4%)	837 (8.5%)			

問4 金銭や財産が問題となっていますか			
回答数	問題となっている	問題となっていない	無回答
9888 (100%)	6265 (63.4%)	2638 (26.7%)	985 (10.0%)

問4_1へ

問5へ

問4_1 問題となっている金銭や財産の金額					
回答数	50万円未満	50万円以上 100万円未満	100万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満
6265 (100%)	1102 (17.6%)	666 (10.6%)	1302 (20.8%)	537 (8.6%)	533 (8.5%)
	1,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上	わからない	無回答	
	570 (9.1%)	323 (5.2%)	1104 (17.6%)	128 (2.0%)	

問5(1) 今回の問題を弁護士に相談することにためらいを感じたことがあるか				
回答数	ためらいを感じたことがある	どちらともいえない	ためらいを感じたことはない	無回答
9888 (100%)	3937 (39.8%)	2328 (23.5%)	3009 (30.4%)	614 (6.2%)

問5(2)へ

問6へ

問5(2) ためらいを感じた理由 1. 弁護士には近寄りやすいイメージがあるから						
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
3937 (100%)	785 (19.9%)	1208 (30.7%)	603 (15.3%)	290 (7.4%)	664 (16.9%)	387 (9.8%)

問5(1)で「ためらいを感じたことがある」と回答した人



問5(2) ためらいを感じた理由 2. 弁護士はお金がかかりそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
3937 (100%)	2775 (70.5%)	761 (19.3%)	129 (3.3%)	24 (0.6%)	56 (1.4%)	192 (4.9%)

問5(2) ためらいを感じた理由 3. 弁護士に頼むと解決までに時間がかかりそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
3937 (100%)	749 (19.0%)	728 (18.5%)	990 (25.1%)	365 (9.3%)	675 (17.1%)	430 (10.9%)

問5(2) ためらいを感じた理由 4. 自分の抱えている問題は、弁護士に頼めば解決するというものではないと思ったから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
3937 (100%)	375 (9.5%)	477 (12.1%)	971 (24.7%)	466 (11.8%)	1234 (31.3%)	414 (10.5%)

問5(2) ためらいを感じた理由 5. 弁護士に頼んで裁判などになると、かえって問題がこじれそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
3937 (100%)	536 (13.6%)	633 (16.1%)	932 (23.7%)	388 (9.9%)	1051 (26.7%)	397 (10.1%)

問6 今回の法律相談をして、今後弁護士に問題の解決を依頼しようと思いますか

回答数	依頼しようと思う	どちらかといえば 依頼しようと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 依頼しようと思わ ない	依頼しようと思わ ない	無回答
9888 (100%)	3382 (34.2%)	2324 (23.5%)	2452 (24.8%)	226 (2.3%)	311 (3.1%)	1193 (12.1%)

問7へ

問9へ

問8へ

問7 依頼をしようと思う理由 1. 弁護士なら問題を解決してくれると思うから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
5706 (100%)	3282 (57.5%)	1562 (27.4%)	264 (4.6%)	17 (0.3%)	17 (0.3%)	564 (9.9%)

問7 依頼をしようと思う理由 2. 弁護士が頼りになりそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
5706 (100%)	2906 (50.9%)	1471 (25.8%)	321 (5.6%)	32 (0.6%)	98 (1.7%)	878 (15.4%)

問7 依頼をしようと思う理由 3. 弁護士がよく話を聞いてくれそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
5706 (100%)	2603 (45.6%)	1486 (26.0%)	562 (9.8%)	43 (0.8%)	30 (0.5%)	982 (17.2%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問6で「依頼しようと思う」または「どちらかといえば依頼しようと思う」と回答した人



問7 依頼しようと思う理由 4. 相談の際に示された弁護士にかかる費用に納得できるから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
5706 (100%)	906 (15.9%)	802 (14.1%)	2280 (40.0%)	191 (3.3%)	171 (3.0%)	1356 (23.8%)

問7 依頼しようと思う理由 5. 裁判をするつもりだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
5706 (100%)	666 (11.7%)	497 (8.7%)	1615 (28.3%)	344 (6.0%)	1288 (22.6%)	1296 (22.7%)

問7 依頼しようと思う理由 6. 法律相談で弁護士に依頼した方がよいと勧められたから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない
5706 (100%)	1518 (26.6%)	927 (16.2%)	1252 (21.9%)	96 (1.7%)
	そうは思わない	弁護士への依頼を 勧められなかった	無回答	
	239 (4.2%)	345 (6.0%)	1329 (23.3%)	

問6で「どちらかといえば依頼しようと思わない」または「依頼しようと思わない」と回答した人



問8 依頼しようと思わない理由 1. 弁護士では問題を解決してくれないと思うから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	60 (11.2%)	25 (4.7%)	53 (9.9%)	26 (4.8%)	219 (40.8%)	154 (28.7%)

問8 依頼しようと思わない理由 2. 弁護士は頼りにならなそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	34 (6.3%)	23 (4.3%)	52 (9.7%)	34 (6.3%)	242 (45.1%)	152 (28.3%)

問8 依頼しようと思わない理由 3. 弁護士はよく話を聞いてくれなさそうだから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	33 (6.1%)	25 (4.7%)	49 (9.1%)	38 (7.1%)	236 (43.9%)	156 (29.1%)

問8 依頼しようと思わない理由 4. 相談の際に示された弁護士にかかる費用に納得できないから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない
537 (100%)	34 (6.3%)	44 (8.2%)	81 (15.1%)	13 (2.4%)
	そうは思わない	弁護士にかかる 費用は示されて いない	無回答	
	87 (16.2%)	113 (21.0%)	165 (30.7%)	

問6で「どちらかといえば依頼しようと思わない」または「依頼しようと思わない」と回答した人

問8 依頼をしようと思わない理由 5. 法律相談で解決したと思うから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	135 (25.1%)	64 (11.9%)	81 (15.1%)	15 (2.8%)	100 (18.6%)	142 (26.4%)

問8 依頼をしようと思わない理由 6. 法律相談で弁護士に依頼するような問題ではないと言われたから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない
537 (100%)	58 (10.8%)	41 (7.6%)	69 (12.8%)	15 (2.8%)
	そうは思わない	そうは言われな かった	無回答	
	100 (18.6%)	91 (16.9%)	163 (30.4%)	

問8 依頼をしようと思わない理由 7. 法律相談の弁護士の印象が悪いから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	30 (5.6%)	19 (3.5%)	52 (9.7%)	23 (4.3%)	246 (45.8%)	167 (31.1%)

問8 依頼をしようと思わない理由 8. 法律相談で勝てそうにないと言われたから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない
537 (100%)	43 (8.0%)	29 (5.4%)	59 (11.0%)	3 (0.6%)
	そうは思わない	そうは言われな かった	無回答	
	128 (23.8%)	103 (19.2%)	172 (32.0%)	

問8 依頼をしようと思わない理由 9. 自分で解決できると思ったから

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
537 (100%)	78 (14.5%)	71 (13.2%)	97 (18.1%)	15 (2.8%)	116 (21.6%)	160 (29.8%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 1. 弁護士の性別

回答数	男性がいい	どちらかといえば 男性がいい	どちらでもよい	どちらかといえば 女性がいい	女性がいい	無回答
9888 (100%)	1191 (12.0%)	779 (7.9%)	5530 (55.9%)	607 (6.1%)	426 (4.3%)	1355 (13.7%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 2. 弁護士への話しやすさ

回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	5395 (54.6%)	2530 (25.6%)	487 (4.9%)	116 (1.2%)	65 (0.7%)	1295 (13.1%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 3. 親身に対応してくれること						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	6721 (68.0%)	1508 (15.3%)	332 (3.4%)	41 (0.4%)	33 (0.3%)	1253 (12.7%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 4. 依頼内容に対してきちんと説明してくれること						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	7157 (72.4%)	1104 (11.2%)	248 (2.5%)	23 (0.2%)	23 (0.2%)	1333 (13.5%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 5. 希望通りの結果が得られそうと言ってくれること						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	3370 (34.1%)	2443 (24.7%)	2073 (21.0%)	272 (2.8%)	188 (1.9%)	1542 (15.6%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 6. 弁護士の実務経験が長いこと						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	2337 (23.6%)	3076 (31.1%)	2300 (23.3%)	441 (4.5%)	158 (1.6%)	1576 (15.9%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 7. 弁護士の専門分野						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	4191 (42.4%)	2833 (28.7%)	1101 (11.1%)	125 (1.3%)	77 (0.8%)	1561 (15.8%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 8. 弁護士がそれまで取り扱った事件に関する実績と評価						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	2524 (25.5%)	3010 (30.4%)	2169 (21.9%)	385 (3.9%)	165 (1.7%)	1635 (16.5%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 9. 弁護士の事務所に行きやすいこと						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	2915 (29.5%)	3006 (30.4%)	1749 (17.7%)	434 (4.4%)	210 (2.1%)	1574 (15.9%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 10. 法律知識に限られない幅広い知識をもっていること						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	3981 (40.3%)	2895 (29.3%)	1221 (12.3%)	169 (1.7%)	62 (0.6%)	1560 (15.8%)

問9 弁護士を選ぶ際の考慮の度合 11. 弁護士にかかる費用が安いこと						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
9888 (100%)	4377 (44.3%)	2331 (23.6%)	1445 (14.6%)	113 (1.1%)	64 (0.6%)	1558 (15.8%)

問10 解決を弁護士に依頼しようと思う費用の総額				
回答数	5万円まで	10万円まで	50万円まで	100万円まで
9888 (100%)	2243 (22.7%)	3132 (31.7%)	2046 (20.7%)	460 (4.7%)
	300万円まで	300万円より高くてもよい	いくらであっても依頼しようと思わない	無回答
	100 (1.0%)	43 (0.4%)	384 (3.9%)	1480 (15.0%)

問11 良い弁護士を見つけるのは簡単だと思いますか						
回答数	簡単だと思う	どちらかといえば簡単だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば大変だと思う	大変だと思う	無回答
9888 (100%)	118 (1.2%)	197 (2.0%)	2167 (21.9%)	3369 (34.1%)	3188 (32.2%)	849 (8.6%)

問12 将来問題を抱えた場合に、弁護士にその問題の解決を依頼したいと思うもの(いくつでも)						
回答数	自分や家族が高齢になり、財産を管理できなくなったとき	高齢になり、医療や介護などの点で、法的な問題を気軽に相談したいと思ったとき	子どもがいじめにあったとき	家族や恋人などに暴力をふるわれたとき	ストーカー被害にあったとき	職場でセクハラ・パワハラを受けたとき
9888 (100%)	2476 (25.0%)	3178 (32.1%)	1168 (11.8%)	1992 (20.1%)	1899 (19.2%)	1902 (19.2%)
	犯罪被害にあったとき	消費者被害にあったとき	インターネット上で被害にあったとき	その他	無回答	
	5277 (53.4%)	3883 (39.3%)	2498 (25.3%)	388 (3.9%)	1597 (16.2%)	

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 1. 弁護士の専門分野が簡単にわかること						
回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	4989 (50.5%)	2424 (24.5%)	767 (7.8%)	79 (0.8%)	101 (1.0%)	1528 (15.5%)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 2. 弁護士がそれまでに取り扱った事件に関する実績と評価が簡単にわかること						
回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	3353 (33.9%)	2868 (29.0%)	1682 (17.0%)	152 (1.5%)	164 (1.7%)	1669 (16.9%)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 3. 弁護士の事務所に行きやすいこと						
回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	3854 (39.0%)	2683 (27.1%)	1339 (13.5%)	159 (1.6%)	169 (1.7%)	1684 (17.0%)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 4. 弁護士にかかる費用の総額が安くなること						
回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	5064 (51.2%)	2122 (21.5%)	935 (9.5%)	65 (0.7%)	53 (0.5%)	1649 (16.7%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 5. 弁護士にかかる費用の基準が簡単に分かること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	5912 (59.8%)	1815 (18.4%)	455 (4.6%)	30 (0.3%)	44 (0.4%)	1632 (16.5%)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 6. 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が利用しやすくなること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	4766 (48.2%)	2046 (20.7%)	1128 (11.4%)	75 (0.8%)	83 (0.8%)	1790 (18.1%)

問13 弁護士に依頼しやすくするために必要だと思うこと 7. 弁護士にかかる費用を立て替えたり免除したりする公的な支援制度が利用できること

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
9888 (100%)	5684 (57.5%)	1714 (17.3%)	728 (7.4%)	56 (0.6%)	76 (0.8%)	1630 (16.5%)

問14(1) A <交通事故>この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
213 (100%)	26 (12.2%)	45 (21.1%)	69 (32.4%)	16 (7.5%)	12 (5.6%)	45 (21.1%)

属性問1へ

問14(2)A①へ

問14(1) A <交通事故>この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
228 (100%)	25 (11.0%)	43 (18.9%)	78 (34.2%)	18 (7.9%)	18 (7.9%)	46 (20.2%)

属性問1へ

問14(2)A②へ

問14(1) A <交通事故>この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
215 (100%)	28 (13.0%)	39 (18.1%)	71 (33.0%)	18 (8.4%)	15 (7.0%)	44 (20.5%)

属性問1へ

問14(2)A③へ

問14(1) A <交通事故>この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
221 (100%)	31 (14.0%)	32 (14.5%)	67 (30.3%)	24 (10.9%)	12 (5.4%)	55 (24.9%)

属性問1へ

問14(2)A④へ

問14(1) A <交通事故>この弁護士に保険会社との交渉を依頼したいと思いますか ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
224 (100%)	25 (11.2%)	41 (18.3%)	69 (30.8%)	19 (8.5%)	12 (5.4%)	58 (25.9%)

属性問1へ

問14(2)A⑤へ

問14(1)A①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) A <交通事故>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
28 (100%)	10 (35.7%)	-	7 (25.0%)	10 (35.7%)	1 (3.6%)

問14(1)A②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) A <交通事故>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
36 (100%)	17 (47.2%)	-	5 (13.9%)	13 (36.1%)	1 (2.8%)

問14(1)A③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) A <交通事故>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
33 (100%)	23 (69.7%)	-	5 (15.2%)	5 (15.2%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)A④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) A <交通事故>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
36 (100%)	23 (63.9%)	-	7 (19.4%)	5 (13.9%)	1 (2.8%)

問14(1)A⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) A <交通事故>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
31 (100%)	19 (61.3%)	-	3 (9.7%)	8 (25.8%)	1 (3.2%)

問14(1) B <遺産の分割>この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか ①着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
246 (100%)	46 (18.7%)	40 (16.3%)	72 (29.3%)	20 (8.1%)	5 (2.0%)	63 (25.6%)

属性問1へ

問14(2)B①へ

問14(1) B <遺産の分割>この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか ②着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
239 (100%)	26 (10.9%)	29 (12.1%)	86 (36.0%)	27 (11.3%)	9 (3.8%)	62 (25.9%)

属性問1へ

問14(2)B②へ

問14(1) B <遺産の分割>この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか ③着手金60万円, 報酬金140万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
239 (100%)	38 (15.9%)	36 (15.1%)	71 (29.7%)	27 (11.3%)	15 (6.3%)	52 (21.8%)

属性問1へ

問14(2)B③へ

問14(1) B <遺産の分割>この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか ④着手金80万円, 報酬金170万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
245 (100%)	25 (10.2%)	23 (9.4%)	79 (32.2%)	34 (13.9%)	18 (7.3%)	66 (26.9%)

属性問1へ

問14(2)B④へ

問14(1) B <遺産の分割>この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか ⑤着手金100万円, 報酬金200万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
235 (100%)	28 (11.9%)	30 (12.8%)	76 (32.3%)	27 (11.5%)	15 (6.4%)	59 (25.1%)

属性問1へ

問14(2)B⑤へ

問14(1)B①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) B <遺産の分割>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
25 (100%)	14 (56.0%)	2 (8.0%)	7 (28.0%)	2 (8.0%)

問14(1)B②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) B <遺産の分割>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
36 (100%)	26 (72.2%)	5 (13.9%)	4 (11.1%)	1 (2.8%)

問14(1)B③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) B <遺産の分割>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金60万円, 報酬金140万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
42 (100%)	19 (45.2%)	4 (9.5%)	11 (26.2%)	7 (16.7%)	1 (2.4%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)B④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) B <遺産の分割>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金80万円, 報酬金170万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
52 (100%)	28 (53.8%)	5 (9.6%)	10 (19.2%)	7 (13.5%)	2 (3.8%)

問14(1)B⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) B <遺産の分割>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金100万円, 報酬金200万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
42 (100%)	29 (69.0%)	2 (4.8%)	6 (14.3%)	3 (7.1%)	2 (4.8%)

問14(1) C <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ①弁護士に支払う金額5万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
261 (100%)	80 (30.7%)	56 (21.5%)	53 (20.3%)	14 (5.4%)	6 (2.3%)	52 (19.9%)

属性問1へ

問14(2)C①へ

問14(1) C <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ②弁護士に支払う金額10万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
264 (100%)	53 (20.1%)	44 (16.7%)	90 (34.1%)	14 (5.3%)	10 (3.8%)	53 (20.1%)

属性問1へ

問14(2)C②へ

問14(1) C <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
264 (100%)	55 (20.8%)	40 (15.2%)	67 (25.4%)	15 (5.7%)	18 (6.8%)	69 (26.1%)

属性問1へ

問14(2)C③へ

問14(1) C <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
273 (100%)	34 (12.5%)	63 (23.1%)	88 (32.2%)	20 (7.3%)	11 (4.0%)	57 (20.9%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)C④へ

問14(1) C <遺言書の作成>この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いますか ⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
265 (100%)	43 (16.2%)	43 (16.2%)	72 (27.2%)	25 (9.4%)	15 (5.7%)	67 (25.3%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)C⑤へ

問14(1)C①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) C <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①弁護士に支払う金額5万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
20 (100%)	2 (10.0%)	4 (20.0%)	8 (40.0%)	5 (25.0%)	1 (5.0%)

問14(1)C②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) C <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②弁護士に支払う金額10万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
24 (100%)	7 (29.2%)	6 (25.0%)	6 (25.0%)	1 (4.2%)	4 (16.7%)

問14(1)C③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) C <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
33 (100%)	9 (27.3%)	4 (12.1%)	13 (39.4%)	2 (6.1%)	5 (15.2%)

【資料2-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)C④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) C <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他
31 (100%)	9 (29.0%)	10 (32.3%)	12 (38.7%)	-

問14(1)C⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) C <遺言書の作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
40 (100%)	19 (47.5%)	11 (27.5%)	7 (17.5%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)

問14(1) D <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
286 (100%)	33 (11.5%)	52 (18.2%)	89 (31.1%)	31 (10.8%)	18 (6.3%)	63 (22.0%)

属性問1へ

問14(2)D①へ

問14(1) D <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
284 (100%)	29 (10.2%)	51 (18.0%)	85 (29.9%)	34 (12.0%)	22 (7.7%)	63 (22.2%)

属性問1へ

問14(2)D②へ

問14(1) D <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
285 (100%)	26 (9.1%)	31 (10.9%)	83 (29.1%)	55 (19.3%)	27 (9.5%)	63 (22.1%)

属性問1へ

問14(2)D③へ

問14(1) D <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
278 (100%)	29 (10.4%)	37 (13.3%)	96 (34.5%)	41 (14.7%)	25 (9.0%)	50 (18.0%)

属性問1へ

問14(2)D④へ

問14(1) D <貸金の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
290 (100%)	22 (7.6%)	34 (11.7%)	92 (31.7%)	46 (15.9%)	37 (12.8%)	59 (20.3%)

属性問1へ

問14(2)D⑤へ

問14(1)D①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) D <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
49 (100%)	28 (57.1%)	3 (6.1%)	8 (16.3%)	9 (18.4%)	1 (2.0%)

問14(1)D②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) D <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
56 (100%)	33 (58.9%)	2 (3.6%)	11 (19.6%)	6 (10.7%)	4 (7.1%)

問14(1)D③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) D <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金25万円, 報酬金55万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
82 (100%)	56 (68.3%)	2 (2.4%)	12 (14.6%)	8 (9.8%)	4 (4.9%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)D④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問14(2) D <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
66 (100%)	41 (62.1%)	7 (10.6%)	11 (16.7%)	6 (9.1%)	1 (1.5%)

問14(1)D⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問14(2) D <貸金の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
83 (100%)	55 (66.3%)	5 (6.0%)	9 (10.8%)	10 (12.0%)	4 (4.8%)

問14(1) E <離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金10万円, 報酬金20万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
485 (100%)	83 (17.1%)	91 (18.8%)	150 (30.9%)	30 (6.2%)	24 (4.9%)	107 (22.1%)

属性問1へ

問14(2)E①へ

問14(1) E <離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
475 (100%)	60 (12.6%)	68 (14.3%)	150 (31.6%)	50 (10.5%)	34 (7.2%)	113 (23.8%)

属性問1へ

問14(2)E②へ

問14(1) E <離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
485 (100%)	45 (9.3%)	61 (12.6%)	162 (33.4%)	77 (15.9%)	41 (8.5%)	99 (20.4%)

属性問1へ

問14(2)E③へ

問14(1) E <離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
486 (100%)	44 (9.1%)	47 (9.7%)	148 (30.5%)	80 (16.5%)	57 (11.7%)	110 (22.6%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)E④へ

問14(1) E <離婚>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金40万円, 報酬金80万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
480 (100%)	43 (9.0%)	40 (8.3%)	134 (27.9%)	101 (21.0%)	73 (15.2%)	89 (18.5%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)E⑤へ

問14(1)E①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問14(2) E <離婚>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金10万円, 報酬金20万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
54 (100%)	25 (46.3%)	4 (7.4%)	11 (20.4%)	13 (24.1%)	1 (1.9%)

問14(1)E②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問14(2) E <離婚>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
84 (100%)	63 (75.0%)	8 (9.5%)	3 (3.6%)	7 (8.3%)	3 (3.6%)

問14(1)E③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人



問14(2) E <離婚>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金20万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
118 (100%)	87 (73.7%)	10 (8.5%)	13 (11.0%)	6 (5.1%)	2 (1.7%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)E④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) E <離婚>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金30万円, 報酬金60万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
137 (100%)	107 (78.1%)	7 (5.1%)	11 (8.0%)	6 (4.4%)	6 (4.4%)

問14(1)E⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) E <離婚>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金40万円, 報酬金80万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
174 (100%)	140 (80.5%)	9 (5.2%)	11 (6.3%)	11 (6.3%)	3 (1.7%)

問14(1) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したくない	この弁護士に依頼したくない	無回答
259 (100%)	25 (9.7%)	32 (12.4%)	68 (26.3%)	35 (13.5%)	35 (13.5%)	64 (24.7%)

属性問1へ

問14(2)F①へ

問14(1) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したくない	この弁護士に依頼したくない	無回答
255 (100%)	19 (7.5%)	33 (12.9%)	68 (26.7%)	47 (18.4%)	31 (12.2%)	57 (22.4%)

属性問1へ

問14(2)F②へ

問14(1) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したくない	この弁護士に依頼したくない	無回答
271 (100%)	18 (6.6%)	29 (10.7%)	83 (30.6%)	53 (19.6%)	27 (10.0%)	61 (22.5%)

属性問1へ

問14(2)F③へ

問14(1) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
264 (100%)	21 (8.0%)	21 (8.0%)	61 (23.1%)	66 (25.0%)	42 (15.9%)	53 (20.1%)

属性問1へ

問14(2)F④へ

問14(1) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
263 (100%)	25 (9.5%)	26 (9.9%)	64 (24.3%)	47 (17.9%)	44 (16.7%)	57 (21.7%)

属性問1へ

問14(2)F⑤へ

問14(1)F①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
70 (100%)	34 (48.6%)	5 (7.1%)	18 (25.7%)	10 (14.3%)	3 (4.3%)

問14(1)F②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手金25万円, 報酬金50万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
78 (100%)	45 (57.7%)	3 (3.8%)	19 (24.4%)	9 (11.5%)	2 (2.6%)

問14(1)F③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着手金30万円, 報酬金70万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
80 (100%)	51 (63.8%)	4 (5.0%)	15 (18.8%)	9 (11.3%)	1 (1.3%)

【資料2-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)F④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
④着手金40万円, 報酬金85万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
108 (100%)	72 (66.7%)	4 (3.7%)	20 (18.5%)	6 (5.6%)	6 (5.6%)

問14(1)F⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) F <家賃の不払い・立ち退き請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
⑤着手金50万円, 報酬金100万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
91 (100%)	61 (67.0%)	1 (1.1%)	14 (15.4%)	12 (13.2%)	3 (3.3%)

問14(1) G <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
223 (100%)	42 (18.8%)	60 (26.9%)	52 (23.3%)	8 (3.6%)	10 (4.5%)	51 (22.9%)

属性問1へ

問14(2)G①へ

問14(1) G <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
232 (100%)	41 (17.7%)	47 (20.3%)	67 (28.9%)	12 (5.2%)	8 (3.4%)	57 (24.6%)

属性問1へ

問14(2)G②へ

問14(1) G <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
213 (100%)	38 (17.8%)	49 (23.0%)	68 (31.9%)	13 (6.1%)	10 (4.7%)	35 (16.4%)

属性問1へ

問14(2)G③へ

問14(1) G <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ④着し金15万円, 報酬金30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
222 (100%)	36 (16.2%)	41 (18.5%)	69 (31.1%)	12 (5.4%)	15 (6.8%)	49 (22.1%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)G④へ

問14(1) G <残業代の請求>この弁護士にこの案件を依頼したいと思いますか ⑤着し金15万円, 報酬金35万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
219 (100%)	37 (16.9%)	36 (16.4%)	60 (27.4%)	14 (6.4%)	15 (6.8%)	57 (26.0%)

↓
属性問1へ

↓
問14(2)G⑤へ

問14(1)G①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) G <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着し金5万円, 報酬金25万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
18 (100%)	9 (50.0%)	1 (5.6%)	6 (33.3%)	2 (11.1%)

問14(1)G②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) G <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着し金10万円, 報酬金25万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
20 (100%)	10 (50.0%)	2 (10.0%)	5 (25.0%)	3 (15.0%)

問14(1)G③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) G <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③着し金10万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
23 (100%)	8 (34.8%)	1 (4.3%)	8 (34.8%)	2 (8.7%)	4 (17.4%)

【資料2-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

問14(1)G④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) G <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
27 (100%)	17 (63.0%)	-	3 (11.1%)	6 (22.2%)	1 (3.7%)

問14(1)G⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した人

問14(2) G <残業代の請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自分でやれると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士など)に相談しようと思うから	その他
29 (100%)	18 (62.1%)	1 (3.4%)	6 (20.7%)	4 (13.8%)

属性問1 あなたの知り合いに弁護士はいますか

回答数	いる	いない	無回答
9888 (100%)	1456 (14.7%)	7168 (72.5%)	1264 (12.8%)

属性問2 過去に弁護士に相談したり, 問題の処理を依頼したことはあるか

回答数	ある	ない	無回答
9888 (100%)	3143 (31.8%)	5489 (55.5%)	1256 (12.7%)

属性問3 現在または過去に, 法律に関する勉強をされた経験がありますか

回答数	大学の法学部系の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある	大学の法学部系以外の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある	大学以外で法律を勉強したことがある(独学を含む)	法律を勉強したことはない	わからない	無回答
9888 (100%)	298 (3.0%)	279 (2.8%)	826 (8.4%)	6367 (64.4%)	698 (7.1%)	1420 (14.4%)

属性問4 現在または過去に, 法律に関する勉強をされた経験がありますか

回答数	組織の中で法律に関する事務に直接関係する部門で仕事をした経験がある	営業・販売・製造など, 通常の仕事を行うなかで, 法律に関する仕事をした経験がある	1, 2以外で法律に関する仕事をした経験がある	仕事上で法律に関わった経験はない	わからない	無回答
9888 (100%)	314 (3.2%)	730 (7.4%)	215 (2.2%)	6267 (63.4%)	758 (7.7%)	1604 (16.2%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(法律相談者)

【資料2-1】

属性問5 居住地						
回答数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県
9888 (100%)	110 (1.1%)	- -	- -	138 (1.4%)	144 (1.5%)	- -
	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
	- -	56 (0.6%)	94 (1.0%)	3 (0.0%)	411 (4.2%)	613 (6.2%)
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
	1651 (16.7%)	1009 (10.2%)	2 (0.0%)	113 (1.1%)	1 (0.0%)	- -
	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
	113 (1.1%)	1 (0.0%)	- -	7 (0.1%)	3 (0.0%)	4 (0.0%)
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
	365 (3.7%)	440 (4.4%)	6 (0.1%)	10 (0.1%)	267 (2.7%)	916 (9.3%)
	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県
	507 (5.1%)	12 (0.1%)	1 (0.0%)	53 (0.5%)	4 (0.0%)	170 (1.7%)
	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	53 (0.5%)	4 (0.0%)	170 (1.7%)	253 (2.6%)	3 (0.0%)	- -
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
	96 (1.0%)	1 (0.0%)	47 (0.5%)	608 (6.1%)	94 (1.0%)	2 (0.0%)
	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
	3 (0.0%)	1 (0.0%)	- -	1 (0.0%)	- -	1669 (16.9%)

属性問6 世帯年収(税引前)					
回答数	なし	100万円未満	100万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満
9888 (100%)	812 (8.2%)	869 (8.8%)	2632 (26.6%)	1707 (17.3%)	1414 (14.3%)
	1,000万円以上 1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない	無回答	
	250 (2.5%)	77 (0.8%)	326 (3.3%)	1801 (18.2%)	

【資料2-1】

法律相談を利用された皆様へ

法的ニーズに関する意識調査 アンケートご協力をお願い

平成 26 年 5 月 26 日

内閣官房法曹養成制度改革推進室

このたびは、法的ニーズに関する意識調査にご協力いただき、ありがとうございます。

裁判官、検察官、弁護士（これらの3つの法律専門家をまとめて「法曹」といいます。）は、これまで主に裁判制度を支える役割を担ってきましたが、今後は、国民の皆様の様々な法的ニーズに、より一層こたえていくことが期待されています。

そこで、国民の皆様の今後の法的ニーズにはどのようなものがあるのかをうかがいたく、法的ニーズに関する意識調査を行うことといたしました。

法律相談利用者の皆様におかれましては、お忙しいことと存じますが、10分程度お時間をいただき、ぜひとも、この調査にご協力いただきますようお願いいたします。

本日いただきます貴重なご意見は、今後、政府が法曹人口のあり方を考える上で役立たせていただきます。

なお、この調査は政府が実施するものであり、本日の法律相談とは無関係です。この調査での回答内容を、本日相談を担当した弁護士が確認することはありません。

【ご記入にあたって】

- * アンケートは、無記名式となっています。
- * できるだけこの場でご記入いただき、受付の担当者にお渡してください。
- * 受付の担当者が内容を確認することはありません。
- * アンケートの集計は、内閣官房より委託を受けている公益社団法人商事法律研究会が行います。なお、本アンケートに関するご質問等は、上記商事法律研究会宛てにご連絡ください（TEL：03-5614-5633）。
- * 集計にあたり、回答した個人が特定されることはありません。

【資料2-2】

これから、あなたのことについてお聞きします。

問1 あなたの生まれた年を教えてください。

1	<small>しょうわ</small> 昭和	<input type="text"/>	年	2	<small>へいせい</small> 平成	<input type="text"/>	年
---	---------------------------	----------------------	---	---	---------------------------	----------------------	---

問2 あなたの性別を教えてください。

1	男性	2	女性
---	----	---	----

第1 今回の相談について

ここからは今回あなたが相談された内容に関連してお聞きします。

問3 あなたは今回どのような問題について法律相談に来られたのですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1	<small>ゆいごんさくせい</small> 遺言作成	9	<small>しょうひしゃもんだい</small> 消費者問題
2	<small>いざんぶんかつ</small> 遺産分割	10	<small>こうつうじこ</small> 交通事故
3	<small>せいねんこうけん</small> 成年後見	11	<small>ふどうさんばいばい</small> 不動産売買
4	<small>りこん</small> 離婚・子どもに関する事	12	<small>ふどうさんちんたいしゃく</small> 不動産賃貸借
5	DV問題	13	<small>かいしゃけいえい</small> 会社経営に関する事
6	ストーカー問題	14	<small>ろうどうもんだい</small> 労働問題
7	<small>しゃっきん</small> クレジット・借金	15	<small>けいじじけん</small> 刑事事件
8	<small>かしきん さいけんかいしゅう</small> 貸金、債権回収	その他()	

問4 今回相談に来られた問題で金銭^{きんせん}や財産^{ざいさん}が問題となりましたか。問題となっている場合にはその金額^{きんがく}はいくらですか。以下のうちあてはまるものの番号を選んでください。
【一つだけ○】

1	問題となっていない
2	問題となっている ----- 金額^{きんがく}をお答えください。

2を選んだ方は下記のA～Hのあてはまるものを一つ選んでください。

A	50万円未満
B	50万円以上100万円未満
C	100万円以上300万円未満
D	300万円以上500万円未満
E	500万円以上1,000万円未満
F	1,000万円以上3,000万円未満
G	3,000万円以上
H	わからない

第2 弁護士に依頼^{いらい}などをする際の理由やためらいについて

ここからはあなたが弁護士に法律問題の解決を依頼^{かいかつ}する際の理由や、依頼^{いらい}すること^{いらい}にためらいを感じたかどうかをお聞きします。

問5 弁護士に依頼^{いらい}などをする際のためらいの有無についてお聞きします。

(1) あなたは、今回の問題を弁護士に相談することにためらいを感じたことがありますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	ためらいを感じたことはない -----	→ 4ページ 問6へお進みください。 -----
2	どちらともいえない -----	→ 4ページ 問5 (2)へお進みください。 -----
3	ためらいを感じたことがある -----	→ 4ページ 問5 (2)へお進みください。 -----

【資料2-2】

(2) (上記(1)で「3 ためらいを感じたことがある」の答えをした人にお聞きします。)

あなたがためらいを感じた理由は何ですか。1から5の理由について、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：

1 弁護士には <small>ちかよ</small> 近寄りやすいイメージがあるから	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
--	---	---	------------------------------------	---	---

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
1 弁護士には <small>ちかよ</small> 近寄りやすいイメージがあるから	A	B	C	D	E
2 弁護士はお金がかかりそうだから	A	B	C	D	E
3 弁護士に頼むと解決 <small>かいけつ</small> までに時間がかかりそうだから	A	B	C	D	E
4 自分の抱えている問題は、弁護士に頼めば解決 <small>かいけつ</small> するということではないと思ったから	A	B	C	D	E
5 弁護士に頼んで裁判 <small>さいばん</small> などになると、かえって問題がこじれそうだから	A	B	C	D	E

問6 あなたは今回の法律相談をして、今後弁護士に問題の解決かいけつを依頼いらいしようと思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 依頼 <small>いらい</small> しようと思う	→	5ページ問7へお進みください。	→
2 どちらかといえば依頼 <small>いらい</small> しようと思う	→		→
3 どちらともいえない	→	7ページ問9へお進みください。	→
4 どちらかといえば依頼 <small>いらい</small> しようと思わない	→		→
5 依頼 <small>いらい</small> しようと思わない	→	6ページ問8へお進みください。	→

問7 (上の問6で「1 依頼しようと思う」, 「2 どちらかといえば依頼しようと思う」の答えをした人にお聞きします。)

あなたが弁護士に依頼しようと思う理由は何ですか。1～6の理由について、もっともあてはまるものをA～E (F)の中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

2 弁護士が頼りになりそうだから	A	B	C	<input checked="" type="radio"/> D	E
------------------	---	---	---	------------------------------------	---

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	弁護士への依頼を 勧められなかった
1 弁護士なら問題を解決してくれると思うから	A	B	C	D	E	
2 弁護士が頼りになりそうだから	A	B	C	D	E	
3 弁護士がよく話を聞いてくれそうだから	A	B	C	D	E	
4 相談の際に示された弁護士にかかる費用に納得できるから	A	B	C	D	E	
5 裁判をするつもりだから	A	B	C	D	E	
6 法律相談で弁護士に依頼した方がよ いと勧められたから	A	B	C	D	E	F
その他 ()						

→ 7ページ問9へお進みください。 →

【資料2-2】

問8 (問6で「4 どちらかといえば依頼しようと思わない」, 「5 依頼しようと思わない」の答えをした人にお聞きします。)

あなたが弁護士に依頼しようと思わない理由は何ですか。1から9の理由について、もっともあてはまるものをA～E (F)の中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

5 法律相談で解決したと思うから	A	<input checked="" type="radio"/> B	C	D	E
------------------	---	------------------------------------	---	---	---

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	弁護士にかかる費用 は示されていない	た そうは言われなかつ
1 弁護士では問題を解決してくれないと思うから	A	B	C	D	E		
2 弁護士は頼りにならなそうだから	A	B	C	D	E		
3 弁護士はよく話を聞いてくれなさそうだから	A	B	C	D	E		
4 相談の際に示された弁護士にかかる費用に納得できないから	A	B	C	D	E	F	
5 法律相談で解決したと思うから	A	B	C	D	E		
6 法律相談で弁護士に依頼するような問題ではないと言われたから	A	B	C	D	E		F
7 法律相談の弁護士の印象が悪いから	A	B	C	D	E		
8 法律相談で勝てそうにないと言われたから	A	B	C	D	E		F
9 自分で解決できると思ったから	A	B	C	D	E		
その他 〔 〕							

問9 ^{ぜんいん} (全員にお聞きします。)

あなたが今回法律相談に来た相談内容について、弁護士に問題の解決を依頼することになったと想定してください。弁護士を選ぶ際に以下の事項についてどの程度考慮しますか。1から11のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

1 弁護士の性別【一つだけ○】	
A 男性がいい	B どちらかといえば男性がいい
C どちらでもよい	D どちらかといえば女性がいい
E 女性がいい	

以下の記入の例：

2 弁護士への話しやすさ	(A)	B	C	D	E
--------------	-----	---	---	---	---

	考慮する こうりよ	ある程度考慮する ていどこうりよ	どちらともいえない	あまり考慮しない こうりよ	考慮しない こうりよ
2 弁護士への話しやすさ	A	B	C	D	E
3 ^{しんみ} 親身に対応してくれること	A	B	C	D	E
4 ^{いらいないう} 依頼内容に対してきちんと説明してくれること	A	B	C	D	E
5 ^{きぼうどお} 希望通りの結果が得られそうと言ってくれること	A	B	C	D	E
6 ^{じつむけいけん} 弁護士の実務経験が長いこと	A	B	C	D	E
7 ^{せんもんぶんや} 弁護士の専門分野	A	B	C	D	E
8 弁護士がそれまで取り扱った事件に関する実績と評価	A	B	C	D	E
9 ^{じむしょ} 弁護士の事務所に行きやすいこと	A	B	C	D	E
10 ^{ほうりつちしき} 法律知識に限られない幅広い知識をもっていること	A	B	C	D	E
11 ^{ひよう} 弁護士にかかる費用が安いこと	A	B	C	D	E

【資料2-2】

問10 (全員にお聞きします。)

あなたは、今回法律相談に来た問題について、弁護士にかかる費用の総額がいくら以下におさまるのであれば、その解決を弁護士に依頼しようと思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 5万円まで
- 2 10万円まで
- 3 50万円まで
- 4 100万円まで
- 5 300万円まで
- 6 300万円より高くてもよい
- 7 いくらであっても依頼しようと思わない

理由をお書きください

第3 弁護士のイメージについて

ここからは弁護士のイメージについてお聞きします。

問11 あなたは良い弁護士を見つけるのは簡単だと思いますか、それとも大変だと思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 簡単だと思う
- 2 どちらかといえば簡単だと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば大変だと思う
- 5 大変だと思う

第4 今後の弁護士を活用について

ここからは今後弁護士に解決を依頼する場面についてお聞きします。

問12 (全員にお聞きします。)

あなた、または、あなたの家族が将来以下の問題を抱えた場合に、弁護士にその問題の解決を依頼したいと思うものが以下の中にあれば、あてはまるものの番号をすべて選んでください。【複数回答可】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 自分や家族が高齢になり、財産を管理できなくなったとき
 - 2 高齢になり、医療や介護などの点で、法的な問題を気軽に相談したいと思
ったとき
 - 3 子どもがいじめにあったとき
 - 4 家族や恋人などに暴力をふるわれたとき
 - 5 ストーカー被害にあったとき
 - 6 職場でセクハラ・パワハラを受けたとき
 - 7 犯罪被害にあったとき
 - 8 消費者被害にあったとき
 - 9 インターネット上で被害にあったとき
- その他

[]

【資料2-2】

問13 (全員にお聞きします。)

市民が法律問題を弁護士に依頼しやすくなるためにはどのようなことが必要だとあなたは思いますか。1から7のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 弁護士の専門分野が簡単にわかること	A	B	C	D	<input checked="" type="radio"/> E
---------------------	---	---	---	---	------------------------------------

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえ ば そうは思わない	そうは思わない
1 弁護士の専門分野が簡単にわかること	A	B	C	D	E
2 弁護士がそれまでに取り扱った事件に関する実績と評価が簡単にわかること	A	B	C	D	E
3 弁護士の事務所に行きやすいこと	A	B	C	D	E
4 弁護士にかかる費用の総額が安くなること	A	B	C	D	E
5 弁護士にかかる費用の基準が簡単に分かること	A	B	C	D	E
6 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が利用しやすくなること	A	B	C	D	E
7 弁護士にかかる費用を立て替えたり免除したりする公的な支援制度が利用できること	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

仮想事例による質問
(11～12ページ)

【資料2-2】

最後に、あなたご自身について教えてください。お差し支えない範囲で回答してください。(全員にお聞きします。)

問1 あなたの知り合いに弁護士はいますか。【一つだけ○】

- 1 いる 2 いない

問2 あなたは、今回相談された問題以外で、過去に弁護士に相談したり、問題の処理を依頼したりしたことはありますか。【一つだけ○】

- 1 ある 2 ない

問3 あなたは、現在または過去に、法律に関する勉強をされた経験がありますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 大学の法学部系の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある
2 大学の法学部系以外の学部あるいは大学院で法律を勉強したことがある
3 大学以外で法律を勉強したことがある (独学を含む)
4 法律を勉強したことはない
5 わからない

問4 あなたは、これまでに、法律に関わる仕事をした経験がありますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 組織の中で法律に関する事務に直接関係する部門で仕事をした経験がある
2 営業・販売・製造など、通常の仕事を行うなかで、法律に関する仕事をした経験がある
3 1, 2以外で法律に関する仕事をした経験がある
 [具体的にお書きください]
4 仕事上で法律に関わった経験はない
5 わからない

問5 あなたのお住まいを都道府県，市区町村までお教えてください。

とどうふけん 都道府県	
し く ちょうそん 市区町村	

問6 あなたの収入（世帯の場合は生計を共にされているご家族の収入を含む。）は全部でどのくらいになりますか。昨年1年間の金額（納税額を差し引く前の収入金額）でお答えください。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

<p>1 なし</p> <p>2 100万円未満</p> <p>3 100万円以上300万円未満</p> <p>4 300万円以上500万円未満</p> <p>5 500万円以上1,000万円未満</p> <p>6 1,000万円以上1,500万円未満</p> <p>7 1,500万円以上</p> <p>8 答えたくない</p>

※ このアンケートについて、他にご意見，コメント等がございましたら，下の枠内にご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第5 仮想事例による質問

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

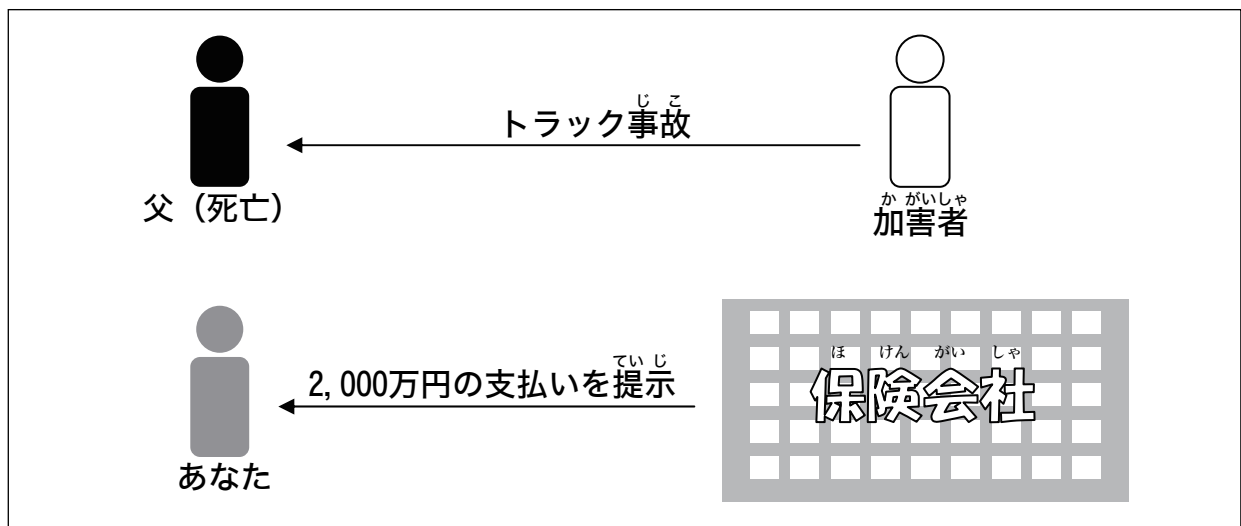
問14 <交通事故>

あなた(35才)は、3か月ほど前にお父さん(62才)を交通事故で亡くしました。事故は、横断歩道を歩行中に、左折してきたトラックがはねたものでした。

加害者が加入していた保険会社からは、損害賠償として2,000万円を支払うとの申し出がありました。

あなたが弁護士に相談に行ったところ、「その事案で2,000万円は低すぎるのではないか。弁護士に依頼すれば、一般的には、2,500万円程度になると思う。」と言われました。

ただし、この弁護士に依頼するためには、最初に_____万円を支払う必要があります。また、希望どおり500万円の増額が得られたときには、さらに_____万円を支払う必要があります。増額された金額が500万円より低いときは追加の支払金額は減額されます。まったく増額が得られなかった場合でも最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-1】

(1) あなたは、この弁護士に^{ほけんがいしゃ}保険会社との交渉を^{こうしょう}依頼したいと思いませんか。あなたの意見^{いけん}にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に ^{いらい} 依頼したいと思う	13ページへ お進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に ^{いらい} 依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)へお進み ください。
4	どちらかといえば、この弁護士に ^{いらい} 依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に ^{いらい} 依頼したいとは思わない	

(2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に^{いらい}依頼したいとは思わない」, 「5 この弁護士に^{いらい}依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に^{いらい}依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う ^{きんがく} 金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の ^{せんもんか} 専門家(^{しほうしょし} 司法書士, ^{ぜいりし} 税理士など)に相談しようと思うから
4	その他
()	

この^{かそうじれい}仮想事例に記載されている^{きさい}弁護士に対する^{いらいりょう}依頼料は、^{じけん}事件を^{いらい}弁護士に依頼するかどうかを^{こうりよ}考慮する^{ようそ}要素として^{せってい}仮に設定した^{きんがく}金額であり、^{きそく}何らかの^{きじゆん}規則や基準に基づいて^{せってい}設定したものではありません。^{じっさい}実際の^{いらいりょう}依頼料は、^{じあん}個々の^{いらいしや}事案の内容に応じて^{いらいしや}依頼者と^{いらいしや}弁護士との間の話し合いによって決められます。

第5 仮想事例による質問

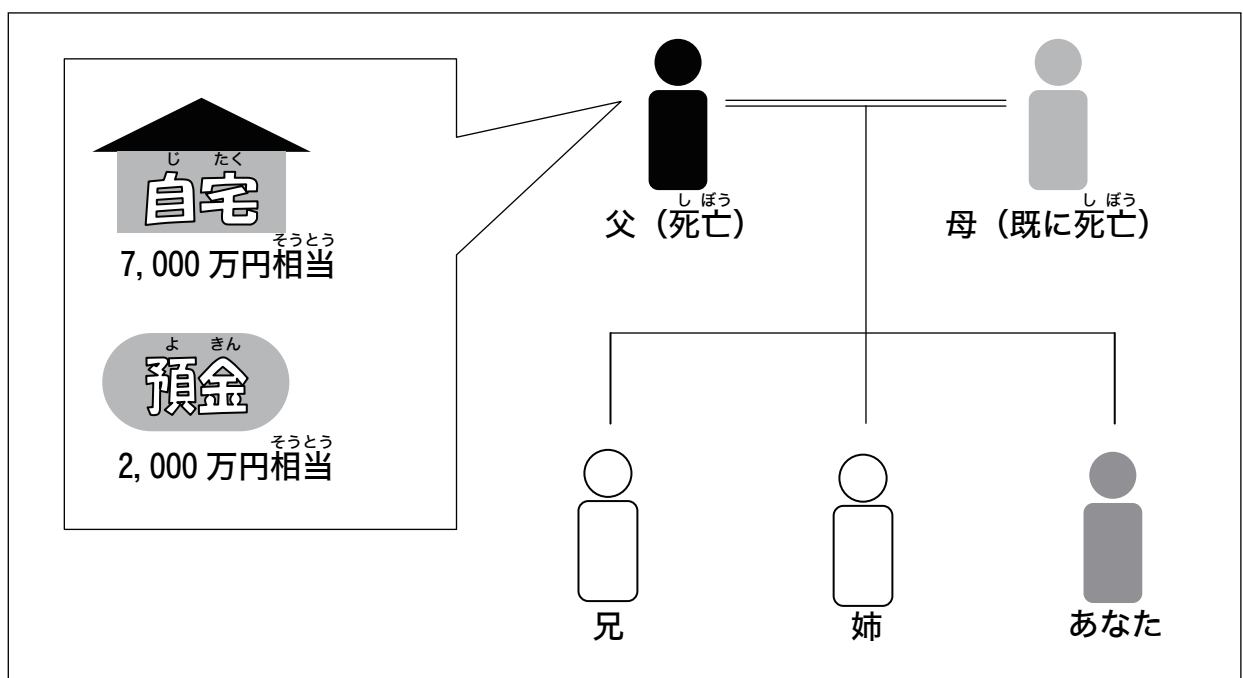
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <遺産の分割>

最近、あなた（42才）のお父さん（78才）が病気で亡くなりました。お母さんはすでに他界しており、相続人は、あなたとお兄さん（48才）とお姉さん（45才）の3人です。お父さんは、自宅（7,000万円相当）と預金2,000万円を遺産として残していましたので、遺産の総額は9,000万円です。

兄弟3人で遺産の分け方を話し合いましたが、お兄さんもお姉さんも自宅が欲しいと言って互いに譲りません。これに対し、あなたは現金が欲しいので、自宅を売却してすべて現金にして3人で分ければ良いと提案しましたが、お兄さんとお姉さんは、あなたの提案に賛成してくれません。

そこで、弁護士に相談したところ、家庭裁判所で遺産を分ける手続きを行うよう勧められました。手続きをこの弁護士に依頼した場合、最初に_____万円を支払う必要があります。また、希望どおり3,000万円の現金を得られた場合には、さらに_____万円を支払う必要があります。得られた現金が3,000万円より低いときは追加で支払う金額は減額されます。なお、遺産の分け方を決められなかった場合でも、最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-2】

(1) あなたは、この弁護士に家庭裁判所での手続きを依頼したいと思いますか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	13ページへお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

(2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家(司法書士、税理士など)に相談しようと思うから
4	その他
[]	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

第5 仮想事例による質問

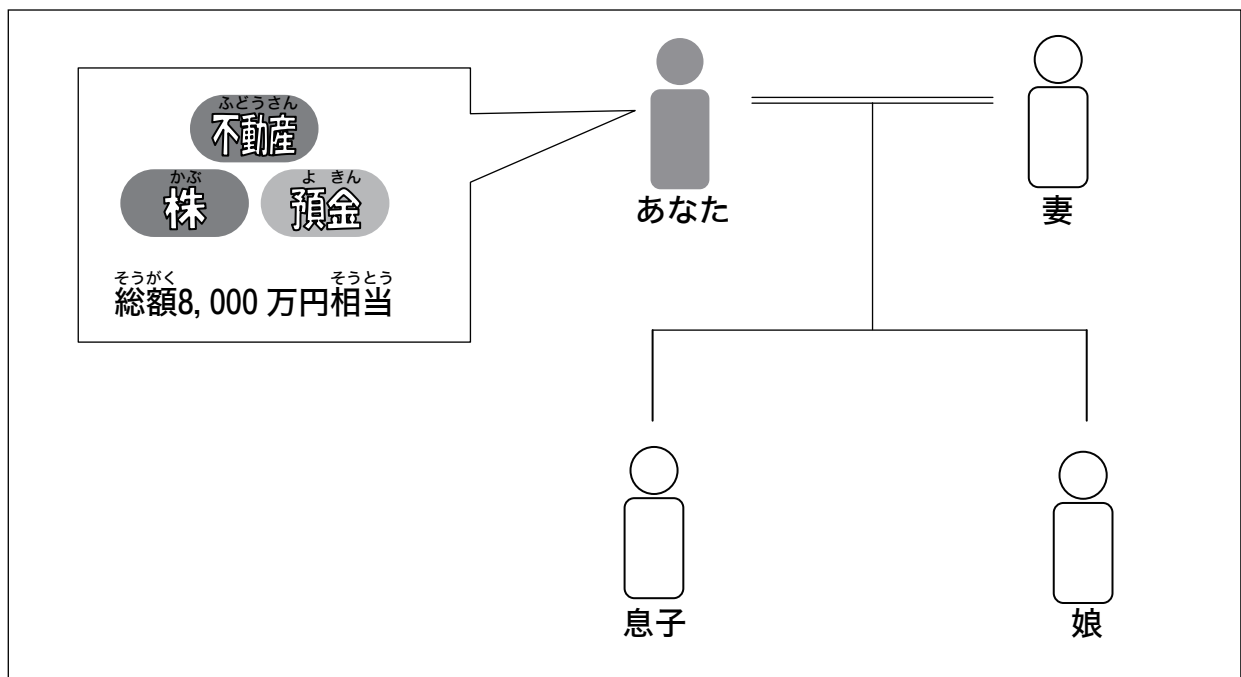
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <遺言書の作成>

あなた（65才）は、長年勤めた会社を定年退職し、年金で生活をしています。あなたには、妻（60才）と息子（35才）と娘（33才）がいます。あなたには、現在、自宅不動産と預金、株券の資産があり、総額8,000万円くらいの価値になります。

家族の仲は良いのですが、あなたは、自分が死んだ後に遺産をめぐってトラブルが起きないか心配になりました。

そこで、ちゃんとした遺言書を残しておこうと考え、弁護士に相談したところ、8,000万円の資産を妻と子ども2人に分ける遺言書の作成を依頼するためには、_____万円を弁護士に支払う必要があるということです。



【資料2-3-3】

- (1) あなたは、この弁護士に遺言書作りを依頼したいと思いませんか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	13ページへ お進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)へお進み ください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

- (2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家（司法書士、税理士など）に相談しようと思うから
4	その他
[]	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

第5 仮想事例による質問

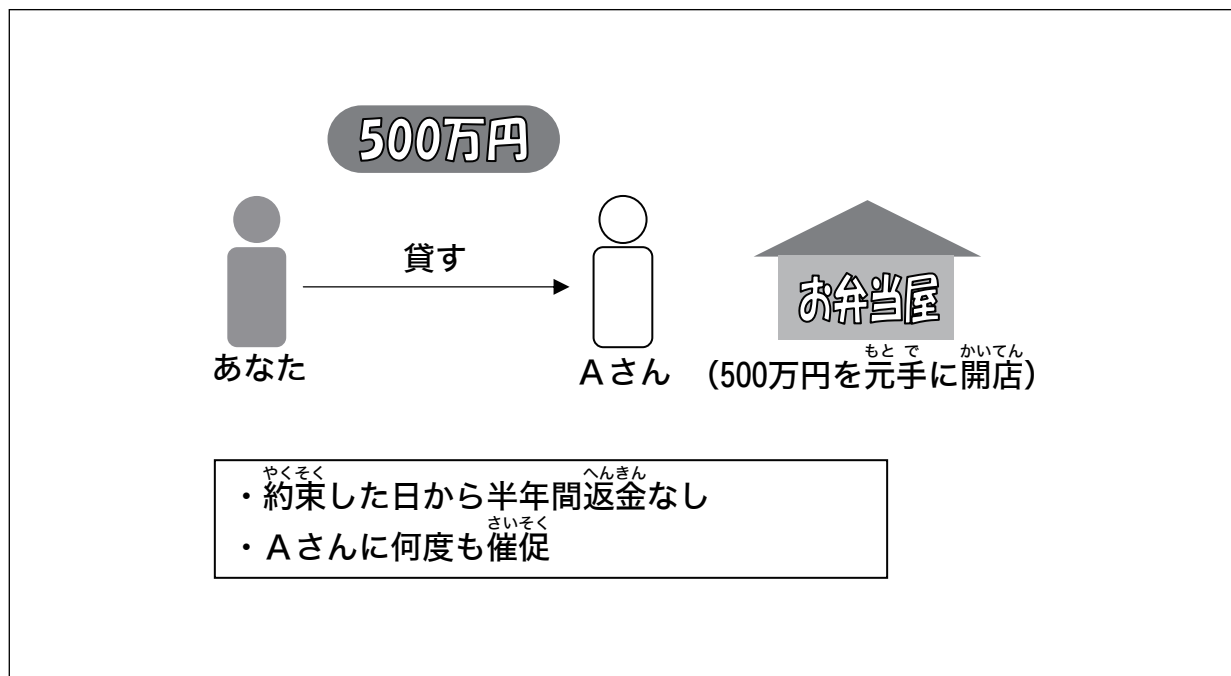
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <貸金の請求>

あなた（40才）は、2年前に友人のAさん（40才）から、事業を始めるのでお金を貸してくれと頼まれ、500万円を貸しました。Aさんはそれを元手にお弁当屋を開いており、現在も営業を続けています。

しかし、その500万円をAさんが返すと約束した日から、もう半年経過しています。あなたは、くりかえしAさんに返済を求めています。Aさんはお金を返しません。

そこで弁護士に相談したところ、Aさんからの取り返しをこの弁護士に依頼するのであれば、最初に_____万円を支払う必要があるということです。また、希望どおり500万円を取り返せたときには、さらに_____万円を支払う必要があります。取り返せた金額が500万円より低いときは追加で支払う金額は減額されます。なお、まったく取り返せなかった場合でも最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-4】

- (1) あなたは、この弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	13ページへ お進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)へお進み ください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

- (2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家（司法書士、税理士など）に相談しようと思うから
4	その他
[]	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

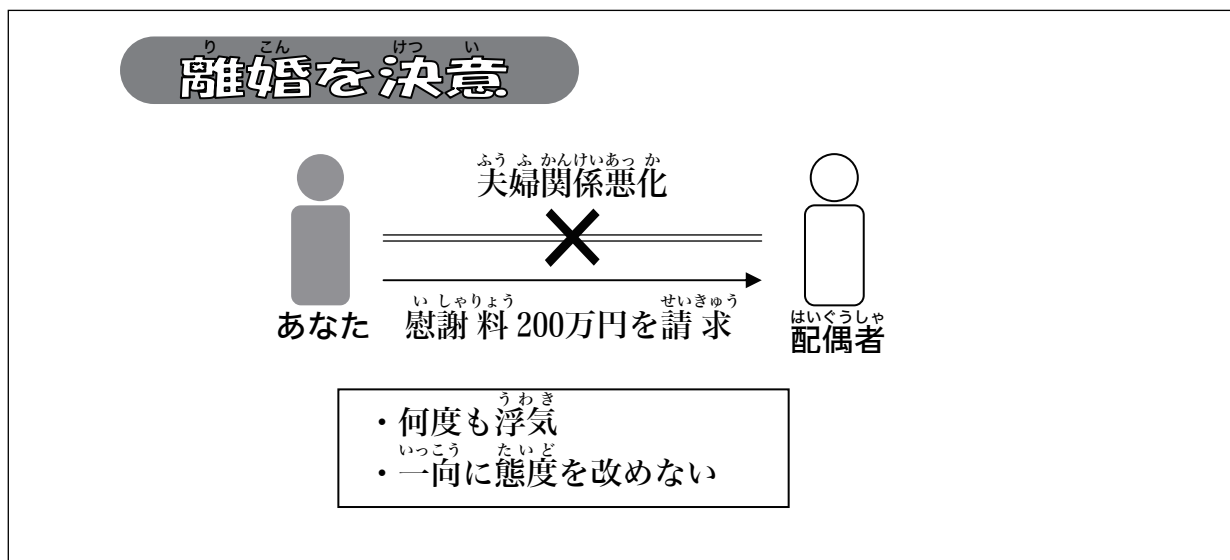
第5 仮想事例による質問

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <離婚> (男性も女性もお答えください。)

あなた(38才)は結婚して10年、子どもはいません。夫婦共働きでやってきましたが、最近すれ違いが多く、夫婦仲はあまりよくありません。ある日、あなたは相手の携帯電話を見て何度も浮気していることを知り、問いたしましたが、一向に態度を改めないで、離婚を決意しました。離婚にあたっては、相手に慰謝料200万円を支払ってもらいたいと考えています。しかし、相手は離婚にはまったく応じないうえ、逆にあなたの態度を非難するばかりです。

そこで弁護士に相談したところ、離婚の案件をこの弁護士に依頼するのであれば、まず_____万円を支払う必要があるということです。また、希望どおり離婚し、慰謝料200万円を得られた場合には、さらに_____万円を支払う必要があります。慰謝料の金額が200万円より低いときは、追加の支払い金額は減額されます。なお、離婚ができなかった場合でも最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-5】

- (1) あなたはこの弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	→ 13ページへお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	→ (2)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

- (2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家（司法書士、税理士など）に相談しようと思うから
4	その他
[]	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

第5 仮想事例による質問

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <家賃の不払い・立ち退き請求>

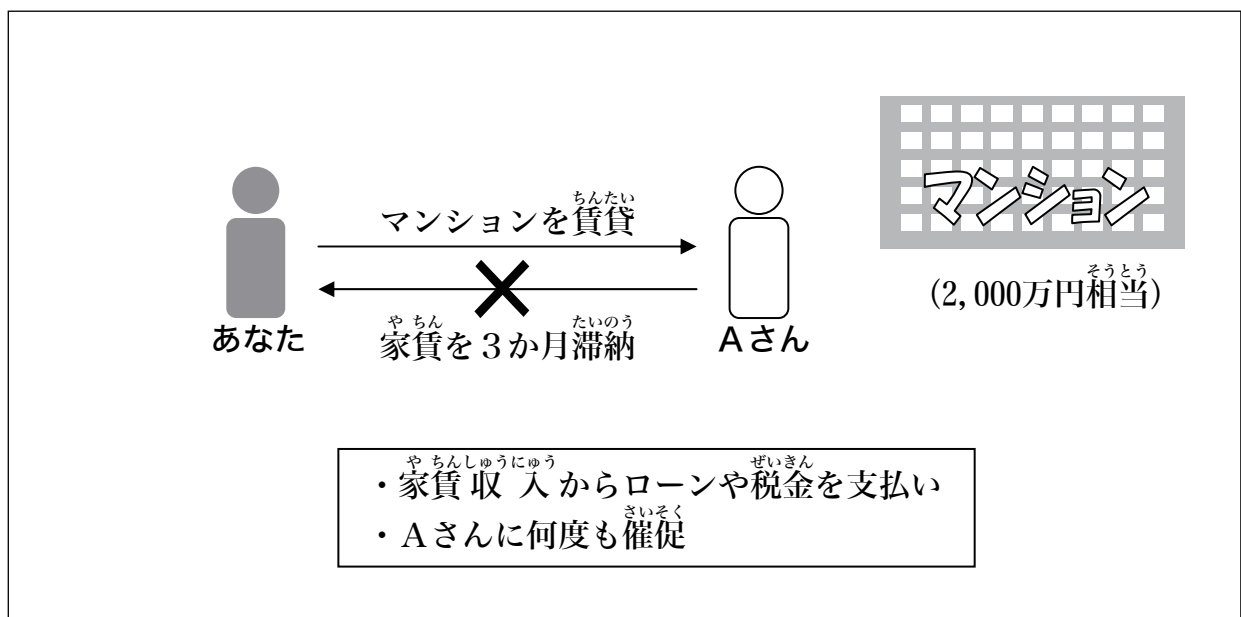
あなた（42才）は5年前にマンションを購入して家族で住んでいましたが、昨年、転職することになり、家族で引っ越しました。マンション（現在の価値2,000万円相当）は月額13万円でAさん（45才）に貸すことにし、この家賃収入13万円の中から住宅ローンや税金などを毎月10万円支払っていました。

ところが、最近、Aさんが家賃を払わなくなり、現在までで3か月分（合計39万円）の家賃を払って来ていません。

あなたはAさんに何度も催促していますが、Aさんは「もうすぐ払う」と言うだけで、払ってくれません。そのため、あなたは住宅ローンや税金を支払い続けるのが苦しくなってきました。

そこで、弁護士に相談したところ、賃料の回収は難しいので、早く裁判を起こしてAさんをマンションから出て行かせ、次の借り手を探した方がよい、と言われました。

Aさんに対する裁判を、この弁護士に依頼するのであれば、まず_____万円を支払う必要があります。またAさんを希望どおり出て行かせることができたときには、さらに_____万円を支払う必要があります。なお、希望どおり出て行かせることができなかった場合でも、最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-6】

- (1) あなたはこの弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	13ページへお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

- (2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家（司法書士、税理士など）に相談しようと思うから
4	その他
[]	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

第5 仮想事例による質問

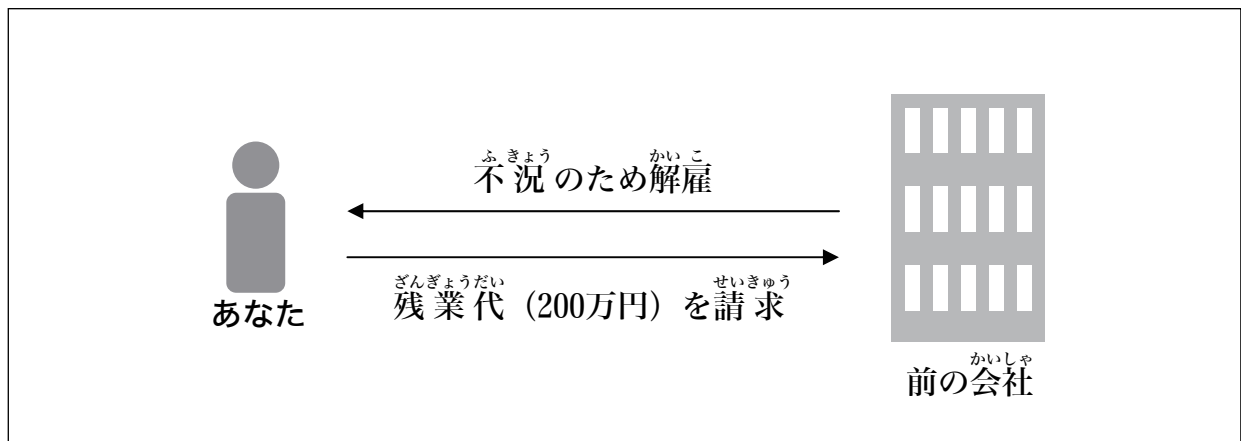
これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。あなた自身が下の文章の中の「あなた」になったつもりで回答してください。

問14 <残業代の請求>

あなた（39才）は、不況のため、長年働いていた会社から解雇されました。何とか他の働き口を見つけることができましたが、新しい職場の同僚から、「前の会社でもらっていない残業代があるならば、今からでももらえるかもしれない」というアドバイスを受けました。あなたは、支払ってもらっていない残業代に心当たりがあったので、前の会社に連絡をしてみましたが、支払いを拒否されました。

納得がいかないので弁護士に相談にいくと、夜中まで働いた分や休日に働いた分を合わせると、200万円程度は取れるのではないかと言われました。

この弁護士に依頼して交渉や裁判をしてもらうためには、最初に_____万円を支払う必要があります。また、希望どおり200万円が取れたら、さらに_____万円を支払う必要があります。得られた金額が200万円より低いときは追加で支払う金額は減額されます。なお、まったく取れなかった場合でも、最初に支払った_____万円は戻ってきません。



【資料2-3-7】

- (1) あなたはこの弁護士にこの案件を依頼したいと思いませんか。あなたの意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	→ 13ページへお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	→ (2)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

- (2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」の答えをした人にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいとは思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自分でやれると思うから
3	他の専門家（司法書士、税理士など）に相談しようと思うから
4	その他
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 0 auto;"></div>	

この仮想事例に記載されている弁護士に対する依頼料は、事件を弁護士に依頼するかどうかを考慮する要素として仮に設定した金額であり、何らかの規則や基準に基づいて設定したものではありません。実際の依頼料は、個々の事案の内容に応じて依頼者と弁護士との間の話し合いによって決められます。

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか					
回答数	増加している	変わらない	減少している	わからない	無回答
1139 (100%)	708 (62.2%)	366 (32.1%)	32 (2.8%)	19 (1.7%)	14 (1.2%)

問2 弁護士と顧問契約を結んでいますか			
回答数	顧問契約を結んでいる	顧問契約を結んでいない	無回答
1139 (100%)	1050 (92.2%)	74 (6.5%)	15 (1.3%)

↓
↓

問5へ
問3, 4へ

問3 弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか(3つまで)				
回答数	顧問料が高いから	顧問料の基準が不透明であるから	費用対効果が計測しづらいから	必要に応じて依頼すれば足りるから
74 (100%)	8 (10.8%)	3 (4.1%)	18 (24.3%)	56 (75.7%)
	弁護士以外の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)を利用しているから	弁護士を必要とする仕事がないから	知り合いなど, 身近に弁護士がないから	その他
	11 (14.9%)	7 (9.5%)	1 (1.4%)	22 (29.7%)

問4 顧問料がいくらまでであれば, 弁護士と顧問契約をしようと思いますか			
回答数	顧問契約をしようと思う	いくらであっても顧問契約をしたくない	無回答
74 (100%)	23 (31.1%)	41 (55.4%)	10 (13.5%)

↓
↓

問4_1へ
問5へ

問4_1 弁護士と顧問契約をしようと思う金額(月額)			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
23	11.13	1.00	50.00

問5(1) 業務・課題の重要度 1. 契約書の作成				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	1031 (90.5%)	49 (4.3%)	51 (4.5%)	8 (0.7%)

↓
↓

問5(2)1へ
問7へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問5(1) 業務・課題の重要度 2. 経営戦略の立案				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	911 (80.0%)	126 (11.1%)	87 (7.6%)	15 (1.3%)

問5(2)2へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 3. CSR(企業の社会的責任)体制の整備・維持				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	813 (71.4%)	224 (19.7%)	92 (8.1%)	10 (0.9%)

問5(2)3へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 4. 環境保護対策				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	613 (53.8%)	313 (27.5%)	198 (17.4%)	15 (1.3%)

問5(2)4

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 5. コンプライアンス体制の整備・維持				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	1031 (90.5%)	75 (6.6%)	24 (2.1%)	9 (0.8%)

問5(2)5へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 6. 公益通報制度への対応				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	708 (62.2%)	265 (23.3%)	147 (12.9%)	19 (1.7%)

問5(2)6へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 7. 消費者保護				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	577 (50.7%)	258 (22.7%)	289 (25.4%)	15 (1.3%)

問5(2)7へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 8. 公正取引に関する法令遵守				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	923 (81.0%)	142 (12.5%)	66 (5.8%)	8 (0.7%)

問5(2)8へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 9. 個人情報保護・情報セキュリティ管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	918 (80.6%)	159 (14.0%)	51 (4.5%)	11 (1.0%)

問5(2)9へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 10. M&A(企業買収, 合併)				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	547 (48.0%)	337 (29.6%)	241 (21.2%)	14 (1.2%)

問5(2)10

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 11. 知的財産のマネジメント				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	688 (60.4%)	271 (23.8%)	166 (14.6%)	14 (1.2%)

問5(2)11

問7へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問5(1) 業務・課題の重要度 12. 契約交渉				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	855 (75.1%)	184 (16.2%)	88 (7.7%)	12 (1.1%)

問5(2)12

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 13. 専門的知識を要する紛争解決のための交渉(訴訟対応を含む)				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	901 (79.1%)	200 (17.6%)	31 (2.7%)	7 (0.6%)

問5(2)13へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 14. 企業ブランドの管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	576 (50.6%)	340 (29.9%)	206 (18.1%)	17 (1.5%)

問5(2)14へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 15. 人事・労務管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	935 (82.1%)	139 (12.2%)	53 (4.7%)	12 (1.1%)

問5(2)15へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 16. セクハラ、パワハラへの対応				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	861 (75.6%)	191 (16.8%)	74 (6.5%)	13 (1.1%)

問5(2)16へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 17. 株主総会対策, 株主代表訴訟対策				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	758 (66.5%)	168 (14.7%)	203 (17.8%)	10 (0.9%)

問5(2) 17へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 18. 金銭債権の回収				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	773 (67.9%)	195 (17.1%)	157 (13.8%)	14 (1.2%)

問5(2) 18へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 19. 海外進出				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	511 (44.9%)	197 (17.3%)	292 (25.6%)	139 (12.2%)

問5(2) 19へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 20. 外国法調査				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
1139 (100%)	431 (37.8%)	245 (21.5%)	297 (26.1%)	166 (14.6%)

問5(2) 20へ

問7へ

問5(1)1で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 1. 契約書の作成				
回答数	現在利用している	現在利用していないが, 将来利用したい	現在利用していないし, 将来も利用を予定していない	無回答
1080 (100%)	800 (74.1%)	119 (11.0%)	152 (14.1%)	9 (0.8%)

問5(3)へ

問6へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問5(1)2で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 2. 経営戦略の立案

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1037 (100%)	102 (9.8%)	254 (24.5%)	667 (64.3%)	14 (1.4%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)3で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 3. CSR(企業の社会的責任)体制の整備・維持

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1037 (100%)	205 (19.8%)	354 (34.1%)	460 (44.4%)	18 (1.7%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)4で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 4. 環境保護対策

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
926 (100%)	64 (6.9%)	267 (28.8%)	580 (62.6%)	15 (1.6%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)5で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 5. コンプライアンス体制の整備・維持

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1106 (100%)	579 (52.4%)	293 (26.5%)	215 (19.4%)	19 (1.7%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)6で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 6. 公益通報制度への対応

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
973 (100%)	478 (49.1%)	272 (28.0%)	202 (20.8%)	21 (2.2%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)7で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 7. 消費者保護

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
835 (100%)	259 (31.0%)	331 (39.6%)	227 (27.2%)	18 (2.2%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)8で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 8. 公正取引に関する法令遵守

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1065 (100%)	531 (49.9%)	321 (30.1%)	194 (18.2%)	19 (1.8%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)9で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 9. 個人情報保護・情報セキュリティ管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1077 (100%)	312 (29.0%)	395 (36.7%)	352 (32.7%)	18 (1.7%)

問5(3)へ

問6へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問5(1)10で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 10. M&A(企業買収, 合併)

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
884 (100%)	466 (52.7%)	349 (39.5%)	56 (6.3%)	13 (1.5%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)11で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 11. 知的財産のマネジメント

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
959 (100%)	379 (39.5%)	343 (35.8%)	218 (22.7%)	19 (2.0%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)12で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 12. 契約交渉

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1039 (100%)	415 (39.9%)	342 (32.9%)	266 (25.6%)	16 (1.5%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)13で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 13. 専門的知識を要する紛争解決のための交渉(訴訟対応を含む)

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1101 (100%)	876 (79.6%)	188 (17.1%)	21 (1.9%)	16 (1.5%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)14で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 14. 企業ブランドの管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
916 (100%)	145 (15.8%)	369 (40.3%)	389 (42.5%)	13 (1.4%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)15で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 15. 人事・労務管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1074 (100%)	611 (56.9%)	241 (22.4%)	209 (19.5%)	13 (1.2%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)16で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 16. セクハラ、パワハラへの対応

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
1052 (100%)	536 (51.0%)	331 (31.5%)	164 (15.6%)	21 (2.0%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)17で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 17. 株主総会対策, 株主代表訴訟対策

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
926 (100%)	649 (70.1%)	174 (18.8%)	88 (9.5%)	15 (1.6%)

問5(3)へ

問6へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問5(1)18で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 18. 金銭債権の回収

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
968 (100%)	592 (61.2%)	240 (24.8%)	121 (12.5%)	15 (1.5%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)19で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 19. 海外進出

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
708 (100%)	363 (51.3%)	283 (40.0%)	48 (6.8%)	14 (2.0%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)20で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 20. 外国法調査

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
676 (100%)	324 (47.9%)	302 (44.7%)	38 (5.6%)	12 (1.8%)

問5(3)へ

問6へ

問5(2)で1つでも「現在利用している」または「現在利用していないが、将来利用したい」と回答した会社

問5(3) どのような弁護士を利用したいか

回答数	社外の弁護士(顧問弁護士を含む)	社内の弁護士	無回答
1116 (100%)	1048 (93.9%)	41 (3.7%)	27 (2.4%)

問5(2)で1つでも「現在利用していないし、将来も利用を予定していない」と回答した会社

問6 業務・課題のために弁護士を利用したいと思わない理由

回答数	費用が高額になりそう	よい弁護士の探し方が分からない	社員で対応しようと思うから	他の専門家(司法書士、税理士、社会保険労務士など)に相談すればたりのから	その他	無回答
854 (100%)	28 (3.3%)	3 (0.4%)	552 (64.6%)	158 (18.5%)	34 (4.0%)	79 (9.3%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

【資料3-1】

問7 社外の弁護士(顧問弁護士を除く)に相談をする場合、弁護士を探す方法(3つまで)					
回答数	既知っている ので探す必要はない	顧問弁護士や社 内の弁護士に聞 いて探す	知り合いに聞い て探す	広告、雑誌等で 探す	弁護士会が提供 している情報をも とに探す
1139 (100%)	478 (42.0%)	793 (69.6%)	345 (30.3%)	28 (2.5%)	116 (10.2%)
	インターネットの 情報をもとに探す	社員が法律相談 に行つて探す	どうやって探した らいいのかわか らない	その他	無回答
	157 (13.8%)	79 (6.9%)	3 (0.3%)	83 (7.3%)	7 (0.6%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 1. 弁護士への話しやすさ						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	426 (37.4%)	510 (44.8%)	114 (10.0%)	67 (5.9%)	12 (1.1%)	10 (0.9%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 2. 弁護士事務所での実務経験						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	702 (61.6%)	348 (30.6%)	64 (5.6%)	13 (1.1%)	2 (0.2%)	10 (0.9%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 3. 弁護士の専門分野						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	917 (80.5%)	202 (17.7%)	13 (1.1%)	1 (0.1%)	-	6 (0.5%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 4. 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	866 (76.0%)	214 (18.8%)	49 (4.3%)	-	1 (0.1%)	9 (0.8%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 5. 貴社の業界や業務に対する理解度						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	523 (45.9%)	463 (40.6%)	116 (10.2%)	27 (2.4%)	2 (0.2%)	8 (0.7%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 6. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	437 (38.4%)	304 (26.7%)	218 (19.1%)	99 (8.7%)	72 (6.3%)	9 (0.8%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 7. 弁護士にかかる費用						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
1139 (100%)	452 (39.7%)	496 (43.5%)	148 (13.0%)	31 (2.7%)	6 (0.5%)	6 (0.5%)

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問9(1) 「法務」に関する業務を担当している部署がありますか						
回答数	法務専門の部(もしくは部レベルの組織)がある	法務専門の課(もしくは課レベルの組織)がある	法務専門の部署はないが、法務専任担当者がいる	法務専門の部署はないが、法務と他の業務を兼務している者がいる	法務専門の部署はなく、法務担当者もいない	無回答
1139 (100%)	300 (26.3%)	233 (20.5%)	78 (6.8%)	339 (29.8%)	169 (14.8%)	20 (1.8%)

問9(2)へ

問10へ

問9(2) 法務担当者の総人数			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
937	5.66	1.00	200.00

問10 法曹有資格者を採用していますか(いくつでも)						
回答数	法曹有資格者を通常の正社員として採用している	法曹有資格者を任期付の社員として採用している	法曹有資格者を役員(社外取締役を除く)として採用している	法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない	法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない	無回答
1139 (100%)	146 (12.8%)	21 (1.8%)	37 (3.2%)	84 (7.4%)	858 (75.3%)	13 (1.1%)

問11へ

問13へ

問13, 18へ

問11 社員及び役員の中に日本の弁護士登録者が含まれていますか			
回答数	含まれている	含まれていない	無回答
184 (100%)	166 (90.2%)	15 (8.2%)	3 (1.6%)

問12(1)へ

問12(2)へ

問12(1) 在籍している日本の弁護士登録者の役職(いくつでも)					
回答数	社員	取締役(社外取締役を除く)	執行役(取締役を除く)	監査役(監査委員を除く)	無回答
166 (100%)	137 (82.5%)	4 (2.4%)	1 (0.6%)	59 (35.5%)	2 (1.2%)

問12(1)アへ

問12(1)イへ

問12(1)ウへ

問12(1)エへ

問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
137	2.77	1.00	17.00

問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
137	1.61	0.00	13.00

問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
137	1.11	0.00	10.00

問12(1)で「取締役」と回答した会社



問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
4	1.00	1.00	1.00

問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
4	1.00	1.00	1.00

問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
4	0.00	0.00	0.00

問12(1)で「執行役」と回答した会社



問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である執行役の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
1	1.00	1.00	1.00

問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である執行役の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
1	0.00	0.00	0.00

問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である執行役の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
1	1.00	1.00	1.00

問12(1)で「監査役」と回答した会社



問12(1) エ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
59	1.08	1.00	2.00

問12(1) エ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
59	0.97	0.00	2.00

問12(1) エ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
59	0.12	0.00	1.00

問12(2) 弁護士登録をしていない司法試験合格者は何人いますか			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
152	0.26	0.00	5.00

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問13 司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者は何人いますか

回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
1030	0.44	0.00	50.00

問10で法曹有資格者を「正社員として採用している」、「任期付の社員として採用している」、「役員として採用している」または「採用しようとしたが、採用できていない」と回答した会社

問14 法曹有資格者を採用しようと考えたのはなぜですか(いくつでも)

回答数	高度の法律知識を有する専門家としての人材を求めていたから	法的な素養があり会社法務の即戦力になることができると期待したから	法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから	その他	無回答
268 (100%)	126 (47.0%)	186 (69.4%)	82 (30.6%)	13 (4.9%)	5 (1.9%)

問10で法曹有資格者を「正社員として採用している」、「任期付の社員として採用している」、「役員として採用している」または「採用しようとしたが、採用できていない」と回答した会社

問15_1 法曹有資格者を採用する場合、弁護士事務所での実務経験を求めますか

回答数	求める	どちらかといえば求める	どちらともいえない	どちらかといえば求めない	求めない	無回答
268 (100%)	47 (17.5%)	76 (28.4%)	90 (33.6%)	20 (7.5%)	32 (11.9%)	3 (1.1%)

問15_2へ

問15_1で「求める」または「どちらかといえば求める」と回答した会社

問15_2 法曹有資格者を採用する場合に求める弁護士事務所での実務経験年数

回答数	1年程度	2～3年程度	4～5年程度	6～10年程度	10年超	経験は求めるが特に年数にこだわらない
123 (100%)	3 (2.4%)	38 (30.9%)	44 (35.8%)	8 (6.5%)	1 (0.8%)	29 (23.6%)

問10で法曹有資格者を「正社員として採用している」、「任期付の社員として採用している」または「役員として採用している」と回答した会社

問16 法曹有資格者の採用経緯を教えてください(いくつでも)

回答数	通常の新卒・中途採用の採用活動に対する応募があった	司法修習終了者や弁護士を対象とした採用活動に対する応募があった	在籍していた社員が資格を取得した	外部の弁護士事務所(顧問事務所を含む)から派遣されている
184 (100%)	62 (33.7%)	66 (35.9%)	22 (12.0%)	18 (9.8%)
	法曹有資格者と直接交渉した	人材紹介会社から紹介された	その他	無回答
	27 (14.7%)	41 (22.3%)	17 (9.2%)	3 (1.6%)

問10で「法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と回答した会社

問17 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない理由(いくつでも)

回答数	給与等の待遇面について折り合いがつかなかった	採用の時期が司法修習終了時期ではなかった	配属予定の部署の雰囲気と調和しない印象を受けた	応募者の能力的な部分で満足がいかなかった	応募者の意欲・熱意の部分で満足がいかなかった
84 (100%)	12 (14.3%)	3 (3.6%)	11 (13.1%)	17 (20.2%)	11 (13.1%)
	採用内定を出したが、辞退された	応募がなかった	その他	無回答	
	16 (19.0%)	26 (31.0%)	14 (16.7%)	1 (1.2%)	

問19_1へ

問10で「法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない」と回答した会社

問18 法曹有資格者を従業員として採用しない理由は何ですか

回答数	給与が高い	法曹有資格者は新卒者比べて平均的に年齢が高く、若いうちに社内教育ができない	法曹有資格者を採用する社内体制が整っていない	顧問弁護士がいるので社内に法曹有資格者を必要としていない	弁護士以外の専門家(司法書士、税理士、社会保険労務士など)を利用しているので社内に法曹有資格者を必要としていない
858 (100%)	30 (3.5%)	3 (0.3%)	119 (13.9%)	528 (61.5%)	25 (2.9%)
	法曹有資格者を必要とする仕事がない	ビジネスへの理解がたりない	その他	無回答	
	74 (8.6%)	18 (2.1%)	33 (3.8%)	28 (3.3%)	

問19_1へ

問19_1 仮に法曹有資格者を採用する場合の給与・待遇

回答数	会社所定の給与基準による	特別の給与基準による	無回答
42 (100%)	30 (71.4%)	8 (19.0%)	4 (9.5%)

問19_2へ

問19_6へ

問19_2 法曹有資格者を採用する場合、会社所定の給与基準について

回答数	新卒採用と同程度	同年齢の他の従業員(総合職)と同程度	その他
30 (100%)	12 (40.0%)	18 (60.0%)	-

問19_3へ

問19_4へ

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問19_2で「新卒採用と同程度」と回答した会社

問19_3 新卒採用と同程度とは、大卒または大学院卒のどちらか

回答数	大卒	大学院卒
12 (100%)	3 (25.0%)	9 (75.0%)

問19_4 資格手当の支給の有無

回答数	支給あり	支給なし	無回答
30 (100%)	13 (43.3%)	14 (46.7%)	3 (10.0%)

問19_5 昇級昇進での優遇の有無

回答数	優遇あり	優遇なし	無回答
30 (100%)	7 (23.3%)	17 (56.7%)	6 (20.0%)

問19_1で「特別の給与基準による」と回答した会社

問19_6 法曹有資格者を採用する場合、特別の給与基準について

回答数	個人ごとに決定する年俸制	法曹有資格者専用の給与基準を設定	その他
8 (100%)	6 (75.0%)	2 (25.0%)	-

問20 法曹有資格者の利用を望む場面は増えると思いますか

回答数	増えると思う	どちらかといえば増えると思う	どちらともいえない	どちらかといえば増えると思わない	増えると思わない	無回答
1139 (100%)	310 (27.2%)	351 (30.8%)	324 (28.4%)	52 (4.6%)	86 (7.6%)	16 (1.4%)

問21, 23へ

問23へ

問22へ

問21 どのような法曹有資格者を利用することを望みますか(いくつでも)

回答数	顧問弁護士	顧問弁護士以外の社外の弁護士	社内の弁護士	弁護士登録をしていない司法試験合格者	無回答
661 (100%)	504 (76.2%)	333 (50.4%)	187 (28.3%)	63 (9.5%)	4 (0.6%)

問22 法曹有資格者の利用を望む場面が増えると思わない理由は何ですか

回答数	法律に関連する仕事は増えないから	法律に関連する仕事が増えたとしても、他の専門家(司法書士、税理士、公証人、行政書士、弁理士、社会保険労務士など)を利用することでありから	法律に関連する仕事が増えたとしても、法曹有資格者でない法務部員等に対応することでありから	その他	無回答
138 (100%)	11 (8.0%)	60 (43.5%)	58 (42.0%)	8 (5.8%)	1 (0.7%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

【資料3-1】

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 1. 弁護士の専門分野がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	776 (68.1%)	312 (27.4%)	29 (2.5%)	6 (0.5%)	2 (0.2%)	14 (1.2%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 2. 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	553 (48.6%)	441 (38.7%)	109 (9.6%)	15 (1.3%)	4 (0.4%)	17 (1.5%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 3. 弁護士にかかる費用が安くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	516 (45.3%)	395 (34.7%)	189 (16.6%)	17 (1.5%)	7 (0.6%)	15 (1.3%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 4. 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	525 (46.1%)	428 (37.6%)	136 (11.9%)	27 (2.4%)	6 (0.5%)	17 (1.5%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 5. 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が普及すること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	135 (11.9%)	256 (22.5%)	517 (45.4%)	115 (10.1%)	98 (8.6%)	18 (1.6%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 6. 弁護士の業務処理や応答が速くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	458 (40.2%)	430 (37.8%)	211 (18.5%)	16 (1.4%)	8 (0.7%)	16 (1.4%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 1. 仕事を丁寧によってくれそう

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
1139 (100%)	99 (8.7%)	292 (25.6%)	605 (53.1%)	88 (7.7%)	46 (4.0%)	9 (0.8%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 2. 社会経験や実務経験がないので頼りない

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
1139 (100%)	186 (16.3%)	497 (43.6%)	345 (30.3%)	71 (6.2%)	31 (2.7%)	9 (0.8%)

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

問24 若い弁護士についてのイメージ 3. 会社の業務に関する知識や最新の情報を積極的に取り入れてくれそう						
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
1139 (100%)	101 (8.9%)	423 (37.1%)	494 (43.4%)	72 (6.3%)	39 (3.4%)	10 (0.9%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 4. 法律知識が足りない						
回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
1139 (100%)	75 (6.6%)	260 (22.8%)	532 (46.7%)	173 (15.2%)	88 (7.7%)	11 (1.0%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 1. 法律に関する専門的な知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	942 (82.7%)	167 (14.7%)	22 (1.9%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	6 (0.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 2. 法律知識に限られない幅広い知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	674 (59.2%)	423 (37.1%)	33 (2.9%)	2 (0.2%)	1 (0.1%)	6 (0.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 3. ビジネスへの理解						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	834 (73.2%)	282 (24.8%)	18 (1.6%)	-	-	5 (0.4%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 4. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	412 (36.2%)	419 (36.8%)	225 (19.8%)	49 (4.3%)	28 (2.5%)	6 (0.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 5. コミュニケーション能力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	804 (70.6%)	287 (25.2%)	41 (3.6%)	-	1 (0.1%)	6 (0.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 6. 交渉力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば 必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば 必要だとは思わ ない	必要だとは思わ ない	無回答
1139 (100%)	754 (66.2%)	311 (27.3%)	63 (5.5%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)	8 (0.7%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

【資料3-1】

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 7. 外国語の能力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
1139 (100%)	311 (27.3%)	430 (37.8%)	302 (26.5%)	46 (4.0%)	43 (3.8%)	7 (0.6%)

属性問1(1) 上場の有無				
回答数	上場(東証, 大証, 一部, 二部)	その他上場	非上場	無回答
1139 (100%)	585 (51.4%)	92 (8.1%)	455 (39.9%)	7 (0.6%)

属性問1(2) 所在地						
回答数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県
1139 (100%)	24 (2.1%)	3 (0.3%)	5 (0.4%)	10 (0.9%)	2 (0.2%)	3 (0.3%)
	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
	8 (0.7%)	5 (0.4%)	6 (0.5%)	10 (0.9%)	16 (1.4%)	16 (1.4%)
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
	459 (40.3%)	64 (5.6%)	14 (1.2%)	6 (0.5%)	8 (0.7%)	6 (0.5%)
	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
	3 (0.3%)	14 (1.2%)	6 (0.5%)	30 (2.6%)	69 (6.1%)	1 (0.1%)
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	7 (0.6%)	16 (1.4%)	148 (13.0%)	41 (3.6%)	1 (0.1%)	2 (0.2%)
	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	2 (0.2%)	-	10 (0.9%)	25 (2.2%)	5 (0.4%)	1 (0.1%)
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
	8 (0.7%)	6 (0.5%)	1 (0.1%)	26 (2.3%)	5 (0.4%)	4 (0.4%)
	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
	1 (0.1%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	8 (0.7%)	4 (0.4%)	23 (2.0%)

属性問1(3) 資本金				
回答数	1,000万円未満	1,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 1億円未満	1億円以上 5億円未満
1139 (100%)	-	2 (0.2%)	10 (0.9%)	218 (19.1%)
	5億円以上 50億円未満	50億円以上 100億円未満	100億円以上	無回答
	438 (38.5%)	153 (13.4%)	309 (27.1%)	9 (0.8%)

【資料3-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(大企業)

属性問1(4) 従業員数					
回答数	25人未満	25人以上 50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 500人未満	500人以上 1,000人未満
1139 (100%)	6 (0.5%)	4 (0.4%)	7 (0.6%)	413 (36.3%)	233 (20.5%)
	1,000人以上 3,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	5,000人以上	無回答	
	260 (22.8%)	80 (7.0%)	126 (11.1%)	10 (0.9%)	

属性問1(5) 主たる事業					
回答数	農林・水産業・鉱業	建設・工事業	食料品業	繊維・パルプ・紙業	化学・石油・石炭製品
1139 (100%)	5 (0.4%)	97 (8.5%)	51 (4.5%)	22 (1.9%)	82 (7.2%)
	ゴム・ガラス・土石業	鉄鋼・非鉄金属・金属製品	機械・電気機器・輸送用機器・精密機器・その他製造業	商業	金融業
	26 (2.3%)	46 (4.0%)	239 (21.0%)	179 (15.7%)	87 (7.6%)
	運輸・通信・倉庫・不動産業	電気・ガス業・サービス業・その他	無回答		
	101 (8.9%)	195 (17.1%)	9 (0.8%)		

属性問2 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)の利用のために予算を計上していますか			
回答数	計上している	計上していない	無回答
1139 (100%)	912 (80.1%)	202 (17.7%)	25 (2.2%)



属性問2_1 社外の弁護士の利用のための計上予算			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
743 (100%)	1429.64	5.00	150000.00

属性問3 回答者の部署						
回答数	法務部	総務部	人事部	経営者	その他	無回答
1139 (100%)	393 (34.5%)	517 (45.4%)	12 (1.1%)	15 (1.3%)	183 (16.1%)	19 (1.7%)

ご担当者の皆様へ

法的ニーズに関する意識調査 アンケートご協力をお願い

平成 26 年 6 月 26 日

内閣官房法曹養成制度改革推進室

このたびは、法的ニーズに関する意識調査にご協力いただき、ありがとうございます。
裁判官、検察官、弁護士（これらの3つの法律専門家をまとめて「法曹」といいます。）は、これまで主に裁判制度を支える役割を担ってきましたが、今後は、社会の様々な法的ニーズに、より一層こたえていくことが期待されています。

そこで、企業における今後の法的ニーズにはどのようなものがあるのかをうかがいたく、法的ニーズに関する意識調査を行うことといたしました。

企業のご担当者様におかれましては、お忙しいことと存じますが、お時間をいただき、ぜひとも、この調査にご協力いただきますようお願いいたします。

このたびいただきます貴重なご意見は、今後、政府が法曹人口のあり方を考える上で役立たせていただきます。また、企業が法曹を活用しやすい仕組みをつくる重要な資料にしたいと考えております。

なお、調査票の質問には、弁護士の活用方法、給与基準など一つの部署（例えば、法務部など）だけでは回答が難しいと思われるものも含まれております。必要に応じて関係部署等と相談の上、回答いただける範囲でご協力くださいますよう、お願いいたします。

【ご記入にあたって】

- * アンケートは、無記名式となっています。
- * 集計にあたり、回答した企業が特定されることはありません。
- * アンケートの集計は、内閣官房より委託を受けている公益社団法人商事法務研究会が行います。なお、本アンケートに関するご質問等は、商事法務研究会宛てにご連絡ください（TEL：03-5614-5633）。

第1 弁護士の利用について

これから、貴社における日本の弁護士の利用についてお聞きします。

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 増加している
- 2 変わらない
- 3 減少している
- 4 わからない

問2 貴社は弁護士と顧問契約を結んでいますか。あてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- | | | | |
|---------------|--------|-----------------|--------|
| 1 顧問契約を結んでいる | -----> | 3ページ問5へお進みください。 | -----> |
| 2 顧問契約を結んでいない | -----> | 問3へお進みください。 | |

問3 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた会社にお聞きします。)

弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 顧問料が高いから
 - 2 顧問料の基準が不透明であるから
 - 3 費用対効果が計測しづらいから
 - 4 必要に応じて依頼すればたりるから
 - 5 弁護士以外の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）を利用しているから
 - 6 弁護士を必要とする仕事がないから
 - 7 知り合いなど、身近に弁護士がいないから
- その他

[]

問4 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた会社にお聞きします。)

貴社は、顧問料がいくらまでであれば、弁護士と顧問契約をしようと思いますか。
月額金額をお書きください。

顧問料にかかわらず顧問契約をしたくない場合には、「2 いくらであっても顧問契約をしたくない」に○をつけてください。

1	月額	<input type="text"/>	万円まで
2	いくらであっても顧問契約をしたくない		

問5 (1) 4ページから5ページの1から20のことは貴社の重要な業務・課題であると思えますか。もっともあてはまるものをA～Cの中からそれぞれ1つ選んでください。

【それぞれに一つだけ○】

なお、「19 海外進出」及び「20 外国法調査」については、対象となる国名及び地域名をご記入ください。

また、1から20のこと以外の事項で、貴社の重要な業務・課題であると思われるものが何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

(2) ((1)で「A 現在重要な業務・課題であると思う」、「B 現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と答えた会社にお聞きします。)

その業務・課題における弁護士の利用について、もっともあてはまるものをD～Fからそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例1：

1	契約書の作成	<input checked="" type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input type="radio"/> C
---	--------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------

<input checked="" type="radio"/> D	<input type="radio"/> E	<input type="radio"/> F
------------------------------------	-------------------------	-------------------------

例2：

1	契約書の作成	<input type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input checked="" type="radio"/> C
---	--------	-------------------------	-------------------------	------------------------------------

<input type="radio"/> D	<input type="radio"/> E	<input type="radio"/> F
-------------------------	-------------------------	-------------------------

【資料3-2】

AまたはBと答えた会社は、もっともあてはまるものをD～Fの中からそれぞれ1つ選んでください。

	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない
1 契約書の作成	A	B	C	D	E	F
2 経営戦略の立案	A	B	C	D	E	F
3 CSR（企業の社会的責任）体制の整備・維持	A	B	C	D	E	F
4 環境保護対策	A	B	C	D	E	F
5 コンプライアンス体制の整備・維持	A	B	C	D	E	F
6 公益通報制度への対応	A	B	C	D	E	F
7 消費者保護	A	B	C	D	E	F
8 公正取引に関する法令遵守	A	B	C	D	E	F
9 個人情報保護・情報セキュリティ管理	A	B	C	D	E	F
10 M&A（企業買収，合併）	A	B	C	D	E	F
11 知的財産のマネジメント	A	B	C	D	E	F
12 契約交渉	A	B	C	D	E	F
13 専門的知識を要する紛争解決のための交渉（訴訟対応を含む。）	A	B	C	D	E	F
14 企業ブランドの管理	A	B	C	D	E	F
15 人事・労務管理	A	B	C	D	E	F

【資料3-2】

AまたはBと答えた会社は、もっともあてはまるものをD～Fの中からそれぞれ1つ選んでください。

	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない
16 セクハラ，パワハラへの対応	A	B	C	D	E	F
17 株主総会対策，株主代表訴訟対策	A	B	C	D	E	F
18 金銭債権の回収	A	B	C	D	E	F
19 海外進出 〔国名及び地域名： 〕	A	B	C	D	E	F
20 外国法調査 〔国名及び地域名： 〕	A	B	C	D	E	F
その他 〔 〕						

(3) (2)で一つでも「D 現在利用している」，「E 現在利用していないが，将来利用したい」と答えた会社にお聞きします。

どのような弁護士を利用したいかについて、もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- | |
|---------------------|
| 1 社外の弁護士（顧問弁護士を含む。） |
| 2 社内の弁護士 |

【資料3-2】

問6 (問5(2)で一つでも「F 現在利用していないし、将来も利用を予定していない」と答えた会社にお聞きします。)

その業務・課題のために弁護士を利用したいと思わない理由は何ですか。もつともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 費用が高額になりそう
2 よい弁護士の探し方が分からない
3 社員で対応しようと思うから
4 他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談すればたりるから
その他 〔 〕

問7 貴社が社外の弁護士(顧問弁護士を除く。)に相談をする場合、どのように弁護士を探そうと思えますか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 既に知っているので探す必要はない
2 顧問弁護士や社内の弁護士に聞いて探す
3 知り合いに聞いて探す
4 広告, 雑誌等で探す
5 弁護士会が提供している情報をもとに探す
6 インターネットの情報をもとに探す
7 社員が法律相談に行って探す
8 どうやって探したらいいのか分からない
その他 〔 〕

問8 仮に、貴社が問5にあげられているような業務・課題を社外の弁護士（顧問弁護士を含む。）に依頼することになったとします。その弁護士を選ぶ際に以下の事項についてどの程度考慮しますか。1から7のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：	5 貴社の業界や業務に対する理解度	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
----	-------------------	---	---	------------------------------------	---	---

	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
1 弁護士への話しやすさ	A	B	C	D	E
2 弁護士事務所での実務経験	A	B	C	D	E
3 弁護士の専門分野	A	B	C	D	E
4 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力	A	B	C	D	E
5 貴社の業界や業務に対する理解度	A	B	C	D	E
6 諸外国の法律や国際的な取引などの知識	A	B	C	D	E
7 弁護士にかかる費用	A	B	C	D	E

第2 社内弁護士等の採用について

ここからは貴社における社内弁護士等の採用についてお聞きします。

問9 (1) 貴社には、「法務」に関する業務を専門に担当している部署がありますか。もつともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 法務専門の部（もしくは部レベルの組織）がある
 - 2 法務専門の課（もしくは課レベルの組織）がある
 - 3 法務専門の部署はないが、法務専任担当者がいる
 - 4 法務専門の部署はないが、法務と他の業務を兼務している者がいる
 - 5 法務専門の部署はなく、法務担当者もいない
- 問10へお進みください。

(2) ((1)で「1 法務専門の部（もしくは部レベルの組織）がある」、「2 法務専門の課（もしくは課レベルの組織）がある」、「3 法務専門の部署はないが、法務専任担当者がいる」、「4 法務専門の部署はないが、法務と他の業務を兼務している者がいる」と答えた会社にお聞きします。）

法務担当者の総人数についてご記入ください。

法務担当者の総人数 名

問10 貴社は法曹有資格者（日本の弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用していますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

- 1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している
 - 2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している
 - 3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している
 - 4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない
 - 5 法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない
- 9ページ問11へお進みください。
- 9ページ問13へお進みください。

9ページ問13, その後は13ページ問18へお進みください。

問11 (問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」, 「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」, 「3 法曹有資格者を役員(社外取締役を除く。)として採用している」と答えた会社にお聞きします。)

社員及び役員の中に日本の弁護士登録者が含まれていますか。あてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 含まれている	▶ 問12(1)へお進みください。
2 含まれていない	▶ 問12(2)へお進みください。

問12(1) 貴社には日本の弁護士登録者が何名在籍していますか。下記のそれぞれについてお答えください。

ア	社員として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)	
イ	取締役(社外取締役を除く。)	として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)
ウ	執行役(取締役を除く。)	として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)
エ	監査役(監査委員を除く。)	として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)

(2) 貴社において, 弁護士登録をしていない司法試験合格者は何人いますか。

<input type="text"/>	人(おおよその数でも結構です。)
----------------------	------------------

問13 貴社において, 司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者は何人いますか。

<input type="text"/>	人(おおよその数でも結構です。)
----------------------	------------------

【資料3-2】

問14（問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」、「3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している」、「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた会社にお聞きします。）

法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用しようと考えたのはなぜですか。あてはまるものの番号を全て選んでください。

【複数回答可】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 高度の法律知識を有する専門家としての人材を求めていたから
- 2 法的な素養があり会社法務の即戦力になることができると期待したから
- 3 法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから

その他

〔 〕

問15（問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」、「3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している」、「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた会社にお聞きします。）

法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用する場合，弁護士事務所での実務経験を求めますか。求める場合にはその経験年数についても，もっともあてはまるものを1つ選んでください。【一つだけ○】

弁護士事務所での実務経験

1 求める
2 どちらかといえば求める
3 どちらともいえない
4 どちらかといえば求めない
5 求めない

1 または 2 と答えた会社は，求める経験年数についても もっともあてはまるものを A～F の中から 1 つ選んでください。

求める経験年数

A 1年程度
B 2～3年程度
C 4～5年程度
D 6～10年程度
E 10年超
F 経験は求めるが特に年数にこだわらない

問10で「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた自治体は12ページ問17へお進みください。

【資料3-2】

問16（問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」、「3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している」と答えた会社にお聞きします。）

法曹有資格者（日本の弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の採用経緯を教えてください。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】
なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 通常の新卒・中途採用の採用活動に対する応募があった
2 司法修習終了者や弁護士を対象とした採用活動に対する応募があった
3 在籍していた社員が資格を取得した
4 外部の弁護士事務所（顧問事務所を含む。）から派遣されている
5 法曹有資格者と直接交渉した
6 人材紹介会社から紹介された
その他 〔 〕

15 ページ問 20 へお進みください。▶

問17（問10で「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた会社にお聞きします。）

法曹有資格者（日本の弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用しようとしたが、採用できていない理由について、あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 給与等の待遇面について折り合いがつかなかった	▶ 14 ページ問19へお進みください。▶
2 採用の時期が司法修習終了時期ではなかった
3 配属予定の部署の雰囲気と調和しない印象を受けた
4 応募者の能力的な部分で満足がいかなかった
5 応募者の意欲・熱意の部分で満足がいかなかった	▶ 15 ページ問20へお進みください。▶
6 採用内定を出したが、辞退された
7 応募がなかった
その他.....
〔 〕

問18 (問10で「5 法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない」と答えた会社にお聞きします。)

法曹有資格者(日本の弁護士, または弁護士登録をしていない司法試験合格者)を採用しない理由は何ですか。 もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。

【一つだけ○】

なお, これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1	給与が高い	-----▶	14ページ問19へお進みください。	-----▶
2	法曹有資格者は新卒者に比べて平均的に年齢が高く, 若いうちに社内教育ができない	-----		-----
3	法曹有資格者を採用する社内体制が整っていない	-----		-----
4	顧問弁護士がいるので社内に法曹有資格者を必要としていない	-----		-----
5	弁護士以外の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)を利用しているので社内に法曹有資格者を必要としていない	-----		-----
6	法曹有資格者を必要とする仕事がない	-----		-----
7	ビジネスへの理解がたりない	-----▶	15ページ問20へお進みください。	-----▶
	その他	-----▶		-----▶
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>〔 〕</p> </div>			

【資料3-2】

問19（問17で「1 給与等の待遇面について折り合いがつかなかった」と答えた会社，問18で「1 給与が高い」と答えた会社にお聞きします。）

仮に，貴社が法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用する場合，どのような給与・待遇であれば採用できますか。各項目についてもっともあてはまるものを1つ選んでください。【各項目について一つだけ○】

1 会社所定の給与基準による	2 特別の給与基準による
↓	↓
<p>「1 会社所定の給与基準による」と答えた場合，以下のそれぞれの項目についてAまたはBから1つ選んでください。 なお，AまたはB以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。</p>	<p>「2 特別の給与基準による」と答えた場合，以下のAまたはBから1つ選んでください。 なお，AまたはB以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。</p>
↓	↓
<p>A 新卒採用と同程度 aまたはbから1つ選んでください。 a 大卒 b 大学院卒 B 同年齢の他の従業員（総合職）と同程度 その他 []</p>	<p>A 個人ごとに決定する年俸制 B 法曹有資格者専用の給与基準を設定 その他 []</p>
<p>A 資格手当支給あり B 資格手当支給なし</p>	
<p>A 昇級昇進で優遇あり B 昇級昇進で優遇なし</p>	

第3 今後の弁護士等の利用について

ここからは貴社における今後の弁護士等の利用についてお聞きします。

問20 今後、貴社において法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面は増えると思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 増えると思う	→	問21へお進みください。	→
2 どちらかといえば増えると思う	→		
3 どちらともいえない	→	17 ページ問 23 へお進みください。	→
4 どちらかといえば増えると思わない	→		
5 増えると思わない	→	16 ページ問 22 へお進みください。	→

問21（問20で「1 増えると思う」，「2 どちらかといえば増えると思う」と答えた会社にお聞きします。）

どのような法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用することを望みますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

1 顧問弁護士	
2 顧問弁護士以外の社外の弁護士	
3 社内の弁護士	
4 弁護士登録をしていない司法試験合格者	

→ 17 ページ問 23 へお進みください。 →

【資料3-2】

問22（問20で「4 どちらかといえば増えると思わない」、「5 増えると思わない」と答えた会社にお聞きします。）

貴社において法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面が増えると思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- | |
|---|
| <p>1 法律に関連する仕事は増えないから</p> <p>2 法律に関連する仕事が増えたとしても，他の専門家（司法書士，税理士，公証人，行政書士，弁理士，社会保険労務士など）を利用することでたりるから</p> <p>3 法律に関連する仕事が増えたとしても，法曹有資格者でない法務部員等で対応することでたりるから</p> <p>その他</p> <p>[]</p> |
|---|

問23 貴社が今後、法律に関わる業務・課題を抱えたときに、現在よりも弁護士に依頼しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。1から6のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 弁護士の専門分野がわかること	A	<input checked="" type="radio"/> B	C	D	E
------------------	---	------------------------------------	---	---	---

	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない
1 弁護士の専門分野がわかること	A	B	C	D	E
2 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること	A	B	C	D	E
3 弁護士にかかる費用が安くなること	A	B	C	D	E
4 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること	A	B	C	D	E
5 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が普及すること	A	B	C	D	E
6 弁護士の業務処理や応答が速くなること	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

第4 弁護士に対する一般的意見について

ここからは弁護士等に対する一般的なご意見をお聞きします。

問24 最近、20代や30代の若い弁護士が増えています。貴社は若い弁護士についてどのようなイメージを抱きますか。1から4のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

4 法律知識が足りない	A	B	C	○ D	E
-------------	---	---	---	--------	---

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1 仕事を丁寧にやってくれそう	A	B	C	D	E	
2 社会経験や実務経験がないので頼りない	A	B	C	D	E	
3 会社の業務に関する知識や最新の情報を積極的に取り入れてくれそう	A	B	C	D	E	
4 法律知識が足りない	A	B	C	D	E	
その他 ()						

問25 貴社が現在直面している状況に限らず、広く弁護士等のことについてお聞きします。今後、貴社が法曹有資格者（日本の弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用する場合，貴社としては，法曹有資格者にどのような能力等が必要になってくると思いますか。1から7のことについて，もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 法律に関する専門的な知識	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
----------------	---	---	------------------------------------	---	---

	必要だと思う	どちらかと思う	どちらともいえない	どちらかといえは必要だとは思わない	必要だとは思わない
1 法律に関する専門的な知識	A	B	C	D	E
2 法律知識に限られない幅広い知識	A	B	C	D	E
3 ビジネスへの理解	A	B	C	D	E
4 諸外国の法律や国際的な取引などの知識	A	B	C	D	E
5 コミュニケーション能力	A	B	C	D	E
6 交渉力	A	B	C	D	E
7 外国語の能力	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

【資料3-2】

最後に、貴社について教えてください。

問1 貴社について、以下の点を教えてください。

(1) 上場の有無【一つだけ○】

- | |
|-------------------|
| 1 上場（東証，大証，一部，二部） |
| 2 その他上場 |
| 3 非上場 |

(2) 所在地（支店がある場合には本店所在地をお書きください。）

都道府県	
市区町村	

(3) 資本金【一つだけ○】

- | |
|----------------------|
| 1 1,000万円未満 |
| 2 1,000万円以上5,000万円未満 |
| 3 5,000万円以上1億円未満 |
| 4 1億円以上5億円未満 |
| 5 5億円以上50億円未満 |
| 6 50億円以上100億円未満 |
| 7 100億円以上 |

(4) 従業員数【一つだけ○】

- | |
|--------------------|
| 1 25人未満 |
| 2 25人以上50人未満 |
| 3 50人以上100人未満 |
| 4 100人以上500人未満 |
| 5 500人以上1,000人未満 |
| 6 1,000人以上3,000人未満 |
| 7 3,000人以上5,000人未満 |
| 8 5,000人以上 |

(5) 主たる事業【一つだけ○】

1	農林・水産業・鉱業
2	建設・工事業
3	食料品業
4	繊維・パルプ・紙業
5	化学・石油・石炭製品
6	ゴム・ガラス・土石業
7	鉄鋼・非鉄金属・金属製品
8	機械・電気機器・輸送用機器・精密機器・その他製造業
9	商業
10	金融業
11	運輸・通信・倉庫・不動産業
12	電気・ガス業・サービス業・その他

問2 貴社では、社外の弁護士（顧問弁護士を含む。）の利用のために予算を計上していますか。【一つだけ○】

1	計上している	-----▶	計上額を記入してください。	-----▶	毎年約	<input type="text"/>	万円
2	計上していない						

問3 主として回答したところの部署と回答者の肩書をお書きください。

部署	あてはまるものの番号を1つ選んでください。 なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。	
	1 法務部	4 経営者
	2 総務部	その他
	3 人事部	[]
肩書		

※ このアンケートについて、他にご意見、コメント等がございましたら、下の枠内にご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか					
回答数	増加している	変わらない	減少している	わからない	無回答
800 (100%)	254 (31.8%)	448 (56.0%)	43 (5.4%)	49 (6.1%)	6 (0.8%)

問2 弁護士と顧問契約を結んでいますか			
回答数	顧問契約を結んでいる	顧問契約を結んでいない	無回答
800 (100%)	505 (63.1%)	288 (36.0%)	7 (0.9%)

↓ ↓

問5へ 問3, 問4へ

問3 弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか(3つまで)				
回答数	顧問料が高いから	顧問料の基準が不透明であるから	費用対効果が計測しづらいから	必要に応じて依頼すれば足りるから
288 (100%)	46 (16.0%)	22 (7.6%)	45 (15.6%)	215 (74.7%)
	弁護士以外の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)を利用しているから	弁護士を必要とする仕事がないから	知り合いなど, 身近に弁護士がないから	その他
	131 (45.5%)	71 (24.7%)	17 (5.9%)	40 (13.9%)

問4 顧問料がいくらまでであれば, 弁護士と顧問契約をしようと思いますか			
回答数	顧問契約をしようと思う	いくらであっても顧問契約をしたくない	無回答
288 (100%)	97 (33.7%)	175 (60.8%)	16 (5.6%)

↓ ↓

問4_1へ 問5へ

問4_1 弁護士と顧問契約をしようと思う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
97	984.40	1.00	50000.00

問5(1) 業務・課題の重要度 1. 契約書の作成				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	485 (60.6%)	153 (19.1%)	114 (14.3%)	48 (6.0%)

↓ ↓

問5(2)1へ 問7へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問5(1) 業務・課題の重要度 2. 経営戦略の立案				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	393 (49.1%)	147 (18.4%)	199 (24.9%)	61 (7.6%)

問5(2)2へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 3. CSR(企業の社会的責任)体制の整備・維持				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	294 (36.8%)	306 (38.3%)	142 (17.8%)	58 (7.3%)

問5(2)3へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 4. 環境保護対策				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	218 (27.3%)	270 (33.8%)	253 (31.6%)	59 (7.4%)

問5(2)4へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 5. コンプライアンス体制の整備・維持				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	425 (53.1%)	233 (29.1%)	85 (10.6%)	57 (7.1%)

問5(2)5へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 6. 公益通報制度への対応				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	141 (17.6%)	269 (33.6%)	316 (39.5%)	74 (9.3%)

問5(2)6へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 7. 消費者保護				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	227 (28.4%)	237 (29.6%)	270 (33.8%)	66 (8.3%)

問5(2)7へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 8. 公正取引に関する法令遵守				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	373 (46.6%)	209 (26.1%)	161 (20.1%)	57 (7.1%)

問5(2)8へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 9. 個人情報保護・情報セキュリティ管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	399 (49.9%)	221 (27.6%)	123 (15.4%)	57 (7.1%)

問5(2)9へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 10. M&A(企業買収, 合併)				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	117 (14.6%)	279 (34.9%)	347 (43.4%)	57 (7.1%)

問5(2)10へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 11. 知的財産のマネジメント				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	190 (23.8%)	248 (31.0%)	303 (37.9%)	59 (7.4%)

問5(2)11へ

問7へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問5(1) 業務・課題の重要度 12. 契約交渉				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	330 (41.3%)	225 (28.1%)	189 (23.6%)	56 (7.0%)

問5(2)12へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 13. 専門的知識を要する紛争解決のための交渉(訴訟対応を含む)				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	397 (49.6%)	245 (30.6%)	114 (14.3%)	44 (5.5%)

問5(2)13へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 14. 企業ブランドの管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	192 (24.0%)	252 (31.5%)	298 (37.3%)	58 (7.3%)

問5(2)14へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 15. 人事・労務管理				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	406 (50.8%)	219 (27.4%)	129 (16.1%)	46 (5.8%)

問5(2)15へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 16. セクハラ、パワハラへの対応				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	306 (38.3%)	293 (36.6%)	150 (18.8%)	51 (6.4%)

問5(2)16へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 17. 株主総会対策, 株主代表訴訟対策				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	118 (14.8%)	207 (25.9%)	417 (52.1%)	58 (7.3%)

問5(2)17へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 18. 金銭債権の回収				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	387 (48.4%)	201 (25.1%)	160 (20.0%)	52 (6.5%)

問5(2)18へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 19. 海外進出				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	130 (16.3%)	126 (15.8%)	374 (46.8%)	170 (21.3%)

問5(2)19へ

問7へ

問5(1) 業務・課題の重要度 20. 外国法調査				
回答数	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	無回答
800 (100%)	90 (11.3%)	142 (17.8%)	385 (48.1%)	183 (22.9%)

問5(2)20へ

問7へ

問5(1)1で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが, 将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 1. 契約書の作成				
回答数	現在利用している	現在利用していないが, 将来利用したい	現在利用していないし, 将来も利用を予定していない	無回答
638 (100%)	276 (43.3%)	209 (32.8%)	135 (21.2%)	18 (2.8%)

問5(3)へ

問6へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問5(1)2で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 2. 経営戦略の立案

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
540 (100%)	31 (5.7%)	149 (27.6%)	341 (63.1%)	19 (3.5%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)3で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 3. CSR(企業の社会的責任)体制の整備・維持

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
600 (100%)	38 (6.3%)	307 (51.2%)	236 (39.3%)	19 (3.2%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)4で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 4. 環境保護対策

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
488 (100%)	21 (4.3%)	201 (41.2%)	248 (50.8%)	18 (3.7%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)5で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 5. コンプライアンス体制の整備・維持

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
658 (100%)	102 (15.5%)	339 (51.5%)	193 (29.3%)	24 (3.6%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)6で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 6. 公益通報制度への対応

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
410 (100%)	14 (3.4%)	234 (57.1%)	145 (35.4%)	17 (4.1%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)7で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 7. 消費者保護

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
464 (100%)	31 (6.7%)	267 (57.5%)	148 (31.9%)	18 (3.9%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)8で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 8. 公正取引に関する法令遵守

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
582 (100%)	83 (14.3%)	304 (52.2%)	171 (29.4%)	24 (4.1%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)9で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 9. 個人情報保護・情報セキュリティ管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
620 (100%)	65 (10.5%)	332 (53.5%)	200 (32.3%)	23 (3.7%)

問5(3)へ

問6へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問5(1)10で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 10. M&A(企業買収, 合併)

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
396 (100%)	37 (9.3%)	286 (72.2%)	58 (14.6%)	15 (3.8%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)11で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 11. 知的財産のマネジメント

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
438 (100%)	67 (15.3%)	251 (57.3%)	103 (23.5%)	17 (3.9%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)12で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 12. 契約交渉

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
555 (100%)	103 (18.6%)	266 (47.9%)	167 (30.1%)	19 (3.4%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)13で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 13. 専門的知識を要する紛争解決のための交渉(訴訟対応を含む)

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
642 (100%)	271 (42.2%)	298 (46.4%)	50 (7.8%)	23 (3.6%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)14で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 14. 企業ブランドの管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
444 (100%)	51 (11.5%)	232 (52.3%)	143 (32.2%)	18 (4.1%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)15で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 15. 人事・労務管理

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
625 (100%)	163 (26.1%)	242 (38.7%)	201 (32.2%)	19 (3.0%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)16で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 16. セクハラ、パワハラへの対応

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
599 (100%)	82 (13.7%)	345 (57.6%)	148 (24.7%)	24 (4.0%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)17で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 17. 株主総会对策, 株主代表訴訟対策

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
325 (100%)	44 (13.5%)	186 (57.2%)	80 (24.6%)	15 (4.6%)

問5(3)へ

問6へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問5(1)18で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 18. 金銭債権の回収

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
588 (100%)	206 (35.0%)	243 (41.3%)	122 (20.7%)	17 (2.9%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)19で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 19. 海外進出

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
256 (100%)	45 (17.6%)	148 (57.8%)	51 (19.9%)	12 (4.7%)

問5(3)へ

問6へ

問5(1)20で「現在重要な業務・課題であると思う」または「現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と回答した会社

問5(2) 業務・課題における弁護士の利用状況 20. 外国法調査

回答数	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない	無回答
232 (100%)	31 (13.4%)	158 (68.1%)	34 (14.7%)	9 (3.9%)

問5(3)へ

問6へ

問5(2)で1つでも「現在利用している」または「現在利用していないが、将来利用したい」と回答した会社

問5(3) どのような弁護士を利用したいか

回答数	社外の弁護士(顧問弁護士を含む)	社内の弁護士	無回答
674 (100%)	634 (94.1%)	14 (2.1%)	26 (3.9%)

問5(2)で1つでも「現在利用していないし、将来も利用を予定していない」と回答した会社

問6 業務・課題のために弁護士を利用したいと思わない理由

回答数	費用が高額になりそう	よい弁護士の探し方が分からない	社員で対応しようと思うから	他の専門家(司法書士、税理士、社会保険労務士など)に相談すればたりるから	その他	無回答
470 (100%)	35 (7.4%)	6 (1.3%)	115 (24.5%)	228 (48.5%)	33 (7.0%)	53 (11.3%)

問7 社外の弁護士(顧問弁護士を除く)に相談をする場合、弁護士を探す方法(3つまで)					
回答数	既知っている ので探す必要はない	顧問弁護士や社 内の弁護士に聞 いて探す	知り合いに聞い て探す	広告、雑誌等で 探す	弁護士会が提供 している情報をも とに探す
800 (100%)	365 (45.6%)	313 (39.1%)	292 (36.5%)	5 (0.6%)	73 (9.1%)
	インターネットの 情報をもとに探 す	社員が法律相談 に行つて探す	どうやって探した らいいのか分か らない	その他	無回答
	72 (9.0%)	41 (5.1%)	15 (1.9%)	40 (5.0%)	38 (4.8%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 1. 弁護士への話しやすさ						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	339 (42.4%)	309 (38.6%)	81 (10.1%)	24 (3.0%)	8 (1.0%)	39 (4.9%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 2. 弁護士事務所での実務経験						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	377 (47.1%)	278 (34.8%)	74 (9.3%)	23 (2.9%)	7 (0.9%)	41 (5.1%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 3. 弁護士の専門分野						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	474 (59.3%)	255 (31.9%)	26 (3.3%)	7 (0.9%)	3 (0.4%)	35 (4.4%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 4. 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	476 (59.5%)	224 (28.0%)	54 (6.8%)	10 (1.3%)	2 (0.3%)	34 (4.3%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 5. 貴社の業界や業務に対する理解度						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	285 (35.6%)	322 (40.3%)	123 (15.4%)	31 (3.9%)	3 (0.4%)	36 (4.5%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 6. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	148 (18.5%)	196 (24.5%)	202 (25.3%)	106 (13.3%)	108 (13.5%)	40 (5.0%)

問8 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 7. 弁護士にかかる費用						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
800 (100%)	293 (36.6%)	329 (41.1%)	115 (14.4%)	20 (2.5%)	7 (0.9%)	36 (4.5%)

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問9(1) 「法務」に関する業務を担当している社員がいますか			
回答数	いる	いない	無回答
800 (100%)	132 (16.5%)	648 (81.0%)	20 (2.5%)



問9(2) 担当者の総人数			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
132	1.48	1.00	6.00

問10 法曹有資格者を採用していますか(いくつでも)						
回答数	法曹有資格者を通常 の正社員として採用 している	法曹有資格者を任期付 の社員として採用して いる	法曹有資格者を役員(社 外取締役を除く)として 採用している	法曹有資格者を採用し ようとしたが、採用でき ていない	法曹有資格者を採用し ていないし、今後も採用 する予定はない	無回答
800 (100%)	- -	- -	4 (0.5%)	11 (1.4%)	765 (95.6%)	20 (2.5%)



問11 社員及び役員の中に日本の弁護士登録者が含まれていますか		
回答数	含まれている	含まれていない
4 (100%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)



問12(1) 在籍している日本の弁護士登録者の役職(いくつでも)			
回答数	社員	取締役(社外取 締役を除く)	監査役(監査委 員を除く)
3 (100%)	- -	- -	3 (100%)



問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1) ア. 日本の弁護士登録者である社員の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1) イ. 日本の弁護士登録者である取締役の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
-	-	-	-

問12(1)で「監査役」と回答した会社



問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 男女計			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
3	1.00	1.00	1.00

問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 男性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
3	1.00	1.00	1.00

問12(1) ウ. 日本の弁護士登録者である監査役の数 女性			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
3	0.00	0.00	0.00

問12(2) 弁護士登録をしていない司法試験合格者は何人いますか			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
1	0.00	0.00	0.00

問13 司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者は何人いますか			
回答数	平均(人)	最小値(人)	最大値(人)
647	0.17	0.00	60.00

問10で法曹有資格者を「正社員として採用している」、「任期付の社員として採用している」、「役員として採用している」または「採用しようとしたが、採用できていない」と回答した会社



問14 法曹有資格者を採用しようと考えたのはなぜですか(いくつでも)					
回答数	高度の法律知識を有する専門家としての人材を求めていたから	法的な素養があり会社法務の即戦力になることができると期待したから	法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから	その他	無回答
15 (100%)	4 (26.7%)	4 (26.7%)	6 (40.0%)	-	4 (26.7%)

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問10で「法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない」と回答した会社

問18 法曹有資格者を従業員として採用しない理由は何ですか

回答数	給与が高い	法曹有資格者は新卒者に比べて平均的に年齢が高く、若いうちに社内教育ができない	法曹有資格者を採用する社内体制が整っていない	顧問弁護士がいるので社内に法曹有資格者を必要としていない	弁護士以外の専門家(司法書士、税理士、社会保険労務士など)を利用しているので社内に法曹有資格者を必要としていない
765 (100%)	35 (4.6%)	2 (0.3%)	66 (8.6%)	326 (42.6%)	132 (17.3%)
	法曹有資格者を必要とする仕事がない	ビジネスへの理解が足りない	その他	無回答	
	145 (19.0%)	-	19 (2.5%)	40 (5.2%)	

問20 法曹有資格者の利用を望む場面は増えると思いますか

回答数	増えると思う	どちらかといえば増えると思う	どちらともいえない	どちらかといえば増えると思わない	増えると思わない	無回答
800 (100%)	84 (10.5%)	183 (22.9%)	308 (38.5%)	64 (8.0%)	142 (17.8%)	19 (2.4%)

問21, 23へ

問23へ

問22へ

問21 どのような法曹有資格者を利用することを望みますか(いくつでも)

回答数	顧問弁護士	顧問弁護士以外の社外の弁護士	社内の弁護士	弁護士登録をしていない司法試験合格者	無回答
267 (100%)	208 (77.9%)	84 (31.5%)	9 (3.4%)	5 (1.9%)	6 (2.2%)

問22 法曹有資格者の利用を望む場面が増えると思わない理由は何ですか

回答数	法律に関連する仕事は増えないから	法律に関連する仕事が増えたとしても、他の専門家(司法書士、税理士、公証人、行政書士、弁理士、社会保険労務士など)を利用することでたりるから	法律に関連する仕事が増えたとしても、法曹有資格者でない法務部員等に対応することでたりるから	その他	無回答
206 (100%)	57 (27.7%)	134 (65.0%)	5 (2.4%)	7 (3.4%)	3 (1.5%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 1. 弁護士の専門分野がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	429 (53.6%)	270 (33.8%)	59 (7.4%)	7 (0.9%)	4 (0.5%)	31 (3.9%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 2. 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	258 (32.3%)	354 (44.3%)	126 (15.8%)	14 (1.8%)	14 (1.8%)	34 (4.3%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

【資料4-1】

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 3. 弁護士にかかる費用が安くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	344 (43.0%)	258 (32.3%)	151 (18.9%)	8 (1.0%)	5 (0.6%)	34 (4.3%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 4. 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	402 (50.3%)	267 (33.4%)	83 (10.4%)	9 (1.1%)	6 (0.8%)	33 (4.1%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 5. 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が普及すること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	189 (23.6%)	227 (28.4%)	283 (35.4%)	30 (3.8%)	33 (4.1%)	38 (4.8%)

問23 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 6. 弁護士の業務処理や応答が速くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	295 (36.9%)	288 (36.0%)	164 (20.5%)	11 (1.4%)	5 (0.6%)	37 (4.6%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 1. 仕事を丁寧にやってくれそう

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
800 (100%)	56 (7.0%)	177 (22.1%)	451 (56.4%)	65 (8.1%)	30 (3.8%)	21 (2.6%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 2. 社会経験や実務経験がないので頼りない

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
800 (100%)	109 (13.6%)	337 (42.1%)	269 (33.6%)	47 (5.9%)	18 (2.3%)	20 (2.5%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 3. 会社の業務に関する知識や最新の情報を積極的に取り入れてくれそう

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
800 (100%)	60 (7.5%)	287 (35.9%)	360 (45.0%)	46 (5.8%)	25 (3.1%)	22 (2.8%)

問24 若い弁護士についてのイメージ 4. 法律知識が足りない

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
800 (100%)	48 (6.0%)	169 (21.1%)	430 (53.8%)	90 (11.3%)	41 (5.1%)	22 (2.8%)

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 1. 法律に関する専門的な知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	568 (71.0%)	180 (22.5%)	27 (3.4%)	3 (0.4%)	2 (0.3%)	20 (2.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 2. 法律知識に限られない幅広い知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	393 (49.1%)	322 (40.3%)	58 (7.3%)	6 (0.8%)	2 (0.3%)	19 (2.4%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 3. ビジネスへの理解						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	414 (51.8%)	315 (39.4%)	48 (6.0%)	4 (0.5%)	1 (0.1%)	18 (2.3%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 4. 諸外国の法律や国際的な取引などの知識						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	190 (23.8%)	262 (32.8%)	233 (29.1%)	43 (5.4%)	48 (6.0%)	24 (3.0%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 5. コミュニケーション能力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	447 (55.9%)	277 (34.6%)	50 (6.3%)	4 (0.5%)	2 (0.3%)	20 (2.5%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 6. 交渉力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	513 (64.1%)	230 (28.8%)	34 (4.3%)	2 (0.3%)	2 (0.3%)	19 (2.4%)

問25 今後、法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 7. 外国語の能力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
800 (100%)	136 (17.0%)	232 (29.0%)	305 (38.1%)	52 (6.5%)	55 (6.9%)	20 (2.5%)

問26(1) A <契約書作成>この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか ① 弁護士に支払う金額5万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思います	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思います	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したとは思わない	この弁護士に依頼したとは思わない	無回答
64 (100%)	16 (25.0%)	16 (25.0%)	22 (34.4%)	4 (6.3%)	5 (7.8%)	1 (1.6%)

↓
問27Aへ

↓
問26(2)A①, (3)A①へ

問26(1) A <契約書作成>この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか ②弁護士に支払う金額10万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
91 (100%)	17 (18.7%)	17 (18.7%)	33 (36.3%)	12 (13.2%)	8 (8.8%)	4 (4.4%)

問27Aへ

問26(2)A②, (3)A②へ

問26(1) A <契約書作成>この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
93 (100%)	6 (6.5%)	21 (22.6%)	41 (44.1%)	8 (8.6%)	16 (17.2%)	1 (1.1%)

問27Aへ

問26A(2)③, (3)A③へ

問26(1) A <契約書作成>この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
91 (100%)	10 (11.0%)	17 (18.7%)	37 (40.7%)	13 (14.3%)	10 (11.0%)	4 (4.4%)

問27Aへ

問26(2)A④, (3)A④へ

問26(1) A <契約書作成>この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか ⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない
65 (100%)	6 (9.2%)	12 (18.5%)	25 (38.5%)	13 (20.0%)	9 (13.8%)

問27Aへ

問26(2)A⑤, (3)A⑤へ

問26(1)A①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社

問26(2) A <契約書作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①弁護士に支払う金額5万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他
9 (100%)	1 (11.1%)	6 (66.7%)	2 (22.2%)	-

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問26(1)A②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) A <契約書作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
②弁護士に支払う金額10万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他
20 (100%)	8 (40.0%)	8 (40.0%)	2 (10.0%)	2 (10.0%)

問26(1)A③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) A <契約書作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ③弁護士に支払う金額15万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
24 (100%)	10 (41.7%)	10 (41.7%)	1 (4.2%)	2 (8.3%)	1 (4.2%)

問26(1)A④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) A <契約書作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ④弁護士に支払う金額20万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
23 (100%)	6 (26.1%)	8 (34.8%)	8 (34.8%)	-	1 (4.3%)

問26(1)A⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) A <契約書作成>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
⑤弁護士に支払う金額30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他
22 (100%)	11 (50.0%)	6 (27.3%)	4 (18.2%)	1 (4.5%)

問26(1)A①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) A <契約書作成> 弁護士に支払う金額 ① 弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
6	1.33	0.00	3.00

問26(1)A②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) A <契約書作成> 弁護士に支払う金額 ② 弁護士に支払う金額10万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
17	3.76	1.00	10.00

問26(1)A③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) A <契約書作成> 弁護士に支払う金額 ③ 弁護士に支払う金額15万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
19	6.11	0.00	20.00

問26(1)A④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) A <契約書作成> 弁護士に支払う金額 ④ 弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
20	5.40	0.00	10.00

問26(1)A⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) A <契約書作成> 弁護士に支払う金額 ⑤ 弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
21	8.86	0.00	20.00

問27 A <残業代請求> 最初に支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
365	10.65	0.00	50.00

問27 A <残業代請求> 最初に支払う金額 ① 問26<契約書作成> 弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
56	10.86	0.00	30.00

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問27 A <残業代請求>最初に支払う金額 ②問26<契約書作成>弁護士に支払う金額10万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
81	9.73	0.00	40.00

問27 A <残業代請求>最初に支払う金額 ③問26<契約書作成>弁護士に支払う金額15万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
83	11.35	0.00	30.00

問27 A <残業代請求>最初に支払う金額 ④問26<契約書作成>弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
82	10.10	0.00	25.00

問27 A <残業代請求>最初に支払う金額 ⑤問26<契約書作成>弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	11.46	0.00	50.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
366	22.64	0.00	100.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①問26<契約書作成>弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
56	25.45	5.00	100.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②問26<契約書作成>弁護士に支払う金額10万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
81	21.88	0.00	50.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③問26<契約書作成>弁護士に支払う金額15万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
84	22.82	5.00	80.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④問26<契約書作成>弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
82	22.44	0.00	100.00

問27 A <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤問26<契約書作成>弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	21.16	5.00	50.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
367	33.17	0.00	130.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金 ①問26<契約書作成>弁護士に支払う金額5万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
56	36.30	10.00	130.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金 ②問26<契約書作成>弁護士に支払う金額10万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
81	31.60	0.00	80.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金 ③問26<契約書作成>弁護士に支払う金額15万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
84	34.04	8.00	90.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金 ④問26<契約書作成>弁護士に支払う金額20万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
83	32.14	0.00	120.00

問27 A <残業代請求>着手金+報酬金 ⑤問26<契約書作成>弁護士に支払う金額30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
63	32.62	10.00	100.00

問26(1) B <残業代請求>この弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いますか ①着手金5万円, 報酬金25万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
82 (100%)	5 (6.1%)	24 (29.3%)	31 (37.8%)	14 (17.1%)	6 (7.3%)	2 (2.4%)

↓
問27Bへ

↓
問26(2)B①, (3)B①へ

問26(1) B <残業代請求>この弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いますか ②着手金10万円, 報酬金25万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
75 (100%)	2 (2.7%)	20 (26.7%)	29 (38.7%)	15 (20.0%)	6 (8.0%)	3 (4.0%)

↓
問27Bへ

↓
問26(2)B②, (3)B②へ

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問26(1) B <残業代請求>この弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いますか ③着手数料10万円, 報酬金30万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
76 (100%)	6 (7.9%)	19 (25.0%)	28 (36.8%)	11 (14.5%)	10 (13.2%)	2 (2.6%)

問27Bへ

問26(2)B③, (3)B③へ

問26(1) B <残業代請求>この弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いますか ④着手数料15万円, 報酬金30万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
87 (100%)	7 (8.0%)	23 (26.4%)	36 (41.4%)	13 (14.9%)	5 (5.7%)	3 (3.4%)

問27Bへ

問26(2)B④, (3)B④へ

問26(1) B <残業代請求>この弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いますか ⑤着手数料15万円, 報酬金35万円						
回答数	この弁護士に依頼したいと思う	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	どちらともいえない	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	この弁護士に依頼したいとは思わない	無回答
76 (100%)	5 (6.6%)	13 (17.1%)	30 (39.5%)	16 (21.1%)	8 (10.5%)	4 (5.3%)

問27Bへ

問26(2)B⑤, (3)B⑤へ

問26(1)B①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社

問26(2) B <残業代請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ①着手数料5万円, 報酬金25万円				
回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他
20 (100%)	1 (5.0%)	5 (25.0%)	10 (50.0%)	4 (20.0%)

問26(1)B②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社

問26(2) B <残業代請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか ②着手数料10万円, 報酬金25万円					
回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談しようと思うから	その他	無回答
21 (100%)	6 (28.6%)	2 (9.5%)	10 (47.6%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)

問26(1)B③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) B <残業代請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士などに相談しようと思うから	その他
21 (100%)	7 (33.3%)	4 (19.0%)	8 (38.1%)	2 (9.5%)

問26(1)B④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) B <残業代請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士などに相談しようと思うから	その他
18 (100%)	2 (11.1%)	4 (22.2%)	10 (55.6%)	2 (11.1%)

問26(1)B⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(2) B <残業代請求>この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか
⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	弁護士に支払う金額が高いから	自社で対応できると思うから	他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士などに相談しようと思うから	その他
24 (100%)	8 (33.3%)	8 (33.3%)	6 (25.0%)	2 (8.3%)

問26(1)B①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>最初に支払う金額 ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
13	3.31	0.00	10.00

問26(1)B②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>最初に支払う金額 ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
16	5.50	0.00	10.00

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問26(1)B③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>最初に支払う金額 ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
13	8.38	0.00	30.00

問26(1)B④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>最初に支払う金額 ④着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
14	9.86	3.00	20.00

問26(1)B⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>最初に支払う金額 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
18	7.61	1.00	15.00

問26(1)B①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ①着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
12	12.08	0.00	20.00

問26(1)B②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ②着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
16	12.81	5.00	25.00

問26(1)B③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ③着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
16	18.13	10.00	50.00

問26(1)B④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ④着手金15万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
13	16.54	10.00	30.00

問26(1)B⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>希望通りの結果が得られたときに支払う金額 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
18	15.83	0.00	35.00

問26(1)B①で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>着手金+報酬金 ①着手金5万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
13	14.46	0.00	25.00

問26(1)B②で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>着手金+報酬金 ②着手金10万円, 報酬金25万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
16	18.31	10.00	30.00

問26(1)B③で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>着手金+報酬金 ③着手金10万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
16	24.94	10.00	70.00

問26(1)B④で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>着手金+報酬金 ④着手金15万円, 報酬金30万円			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
14	25.21	15.00	40.00

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

問26(1)B⑤で「どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」または「この弁護士に依頼したいとは思わない」と回答した会社



問26(3) B <残業代請求>着手金+報酬金 ⑤着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
19	22.21	1.00	50.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
355	16.15	0.00	300.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額 ①問28<残業代請求>着手金5万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
69	11.20	0.00	80.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額 ②問28<残業代請求>着手金10万円, 報酬金25万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
67	14.99	0.00	100.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額 ③問28<残業代請求>着手金10万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
67	16.76	0.00	300.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額 ④問28<残業代請求>着手金15万円, 報酬金30万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
81	17.05	0.00	120.00

問27 B <契約書作成>弁護士に支払う金額 ⑤問28<残業代請求>着手金15万円, 報酬金35万円

回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
71	20.44	1.00	120.00

属性問1(1) 上場の有無

回答数	上場(東証, 大証, 一部, 二部)	その他上場	非上場	無回答
800 (100%)	3 (0.4%)	2 (0.3%)	791 (98.9%)	4 (0.5%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

【資料4-1】

属性問1(2) 所在地						
回答数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県
800 (100%)	-	1 (0.1%)	-	-	-	-
	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
	-	2 (0.3%)	4 (0.5%)	1 (0.1%)	11 (1.4%)	3 (0.4%)
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
	663 (82.9%)	13 (1.6%)	2 (0.3%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	-
	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
	1 (0.1%)	3 (0.4%)	-	3 (0.4%)	9 (1.1%)	-
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
	-	5 (0.6%)	39 (4.9%)	4 (0.5%)	-	-
	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
	-	-	2 (0.3%)	-	-	-
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県
	1 (0.1%)	-	-	1 (0.1%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)
	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
	-	-	-	-	-	28 (3.5%)

属性問1(3) 資本金						
回答数	1,000万円未満	1,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 1億円未満	1億円以上 5億円未満	その他	無回答
800 (100%)	21 (2.6%)	441 (55.1%)	324 (40.5%)	5 (0.6%)	1 (0.1%)	8 (1.0%)

属性問1(4) 従業員数					
回答数	25人未満	25人以上 50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 500人未満	500人以上 1,000人未満
800 (100%)	33 (4.1%)	183 (22.9%)	306 (38.3%)	268 (33.5%)	3 (0.4%)
	1,000人以上 3,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	5,000人以上	無回答	
	-	-	-	7 (0.9%)	

【資料4-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(中小企業)

属性問1(5) 主たる事業					
回答数	農林・水産業・鉱業	建設・工事業	食料品業	繊維・パルプ・紙業	化学・石油・石炭製品
800 (100%)	1 (0.1%)	115 (14.4%)	70 (8.8%)	17 (2.1%)	14 (1.8%)
	ゴム・ガラス・土石業	鉄鋼・非鉄金属・金属製品	機械・電気機器・輸送用機器・精密機器・その他製造業	商業	金融業
	4 (0.5%)	23 (2.9%)	151 (18.9%)	205 (25.6%)	9 (1.1%)
	運輸・通信・倉庫・不動産業	電気・ガス業・サービス業・その他	無回答		
	85 (10.6%)	95 (11.9%)	11 (1.4%)		

属性問2 社外の弁護士(顧問弁護士を含む)の利用のために予算を計上していますか			
回答数	計上している	計上していない	無回答
800 (100%)	372 (46.5%)	415 (51.9%)	13 (1.6%)



属性問2_1 社外の弁護士の利用のための計上予算			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
349	97.12	1.00	1000.00

属性問3 回答者の部署						
回答数	法務部	総務部	人事部	経営者	その他	無回答
800 (100%)	8 (1.0%)	402 (50.3%)	6 (0.8%)	288 (36.0%)	70 (8.8%)	26 (3.3%)

ご担当者の皆様へ

法的ニーズに関する意識調査 アンケートご協力をお願い

平成 26 年 6 月 26 日

内閣官房法曹養成制度改革推進室

このたびは、法的ニーズに関する意識調査にご協力いただき、ありがとうございます。
裁判官、検察官、弁護士（これらの3つの法律専門家をまとめて「法曹」といいます。）は、これまで主に裁判制度を支える役割を担ってきましたが、今後は、社会の様々な法的ニーズに、より一層こたえていくことが期待されています。

そこで、企業における今後の法的ニーズにはどのようなものがあるのかをうかがいたく、法的ニーズに関する意識調査を行うことといたしました。

企業のご担当者様におかれましては、お忙しいことと存じますが、お時間をいただき、ぜひとも、この調査にご協力いただきますようお願いいたします。

このたびいただきます貴重なご意見は、今後、政府が法曹人口のあり方を考える上で役立たせていただきます。また、企業が法曹を活用しやすい仕組みをつくる重要な資料にしたいと考えております。

なお、調査票の質問には、弁護士の活用方法、給与基準など一つの部署（例えば、法務部など）だけでは回答が難しいと思われるものも含まれております。必要に応じて関係部署等と相談の上、回答いただける範囲でご協力くださいますよう、お願いいたします。

【ご記入にあたって】

- * アンケートは、無記名式となっています。
- * 集計にあたり、回答した企業が特定されることはありません。
- * アンケートの集計は、内閣官房より委託を受けている公益社団法人商事法務研究会が行います。なお、本アンケートに関するご質問等は、商事法務研究会宛てにご連絡ください（TEL：03-5614-5633）。

第1 弁護士の利用について

これから、貴社における日本の弁護士の利用についてお聞きします。

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 増加している
- 2 変わらない
- 3 減少している
- 4 わからない

問2 貴社は弁護士と顧問契約を結んでいますか。あてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- | | | | |
|---------------|---|-----------------|---|
| 1 顧問契約を結んでいる | → | 3ページ問5へお進みください。 | → |
| 2 顧問契約を結んでいない | → | 問3へお進みください。 | |

問3 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた会社にお聞きします。)

弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 顧問料が高いから
 - 2 顧問料の基準が不透明であるから
 - 3 費用対効果が計測しづらいから
 - 4 必要に応じて依頼すればたりるから
 - 5 弁護士以外の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）を利用しているから
 - 6 弁護士を必要とする仕事がないから
 - 7 知り合いなど、身近に弁護士がいないから
- その他

[]

問4 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた会社にお聞きします。)

貴社は、顧問料がいくらまでであれば、弁護士と顧問契約をしようと思いますか。
月額金額をお書きください。

顧問料にかかわらず顧問契約をしたくない場合には、「2 いくらであっても顧問契約をしたくない」に○をつけてください。

1	月額	<input type="text"/>	万円まで
2	いくらであっても顧問契約をしたくない		

問5 (1) 4ページから5ページの1から20のことは貴社の重要な業務・課題であると思いますか。もっともあてはまるものをA～Cの中からそれぞれ1つ選んでください。

【それぞれに一つだけ○】

なお、「19 海外進出」及び「20 外国法調査」については、対象となる国名及び地域名をご記入ください。

また、1から20のこと以外の事項で、貴社の重要な業務・課題であると思われるものが何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

(2) ((1)で「A 現在重要な業務・課題であると思う」、「B 現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う」と答えた会社にお聞きします。)

その業務・課題における弁護士の利用について、もっともあてはまるものをD～Fからそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例1 :

1	契約書の作成	<input checked="" type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input type="radio"/> C
---	--------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------

<input checked="" type="radio"/> D	<input type="radio"/> E	<input type="radio"/> F
------------------------------------	-------------------------	-------------------------

例2 :

1	契約書の作成	<input type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input checked="" type="radio"/> C
---	--------	-------------------------	-------------------------	------------------------------------

<input type="radio"/> D	<input type="radio"/> E	<input type="radio"/> F
-------------------------	-------------------------	-------------------------

【資料4-2】

AまたはBと答えた会社は、もっともあてはまるものをD～Fの中からそれぞれ1つ選んでください。

	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない
1 契約書の作成	A	B	C	D	E	F
2 経営戦略の立案	A	B	C	D	E	F
3 CSR（企業の社会的責任）体制の整備・維持	A	B	C	D	E	F
4 環境保護対策	A	B	C	D	E	F
5 コンプライアンス体制の整備・維持	A	B	C	D	E	F
6 公益通報制度への対応	A	B	C	D	E	F
7 消費者保護	A	B	C	D	E	F
8 公正取引に関する法令遵守	A	B	C	D	E	F
9 個人情報保護・情報セキュリティ管理	A	B	C	D	E	F
10 M&A（企業買収，合併）	A	B	C	D	E	F
11 知的財産のマネジメント	A	B	C	D	E	F
12 契約交渉	A	B	C	D	E	F
13 専門的知識を要する紛争解決のための交渉（訴訟対応を含む。）	A	B	C	D	E	F
14 企業ブランドの管理	A	B	C	D	E	F
15 人事・労務管理	A	B	C	D	E	F

AまたはBと答えた会社は、もっともあてはまるものをD～Fの中からそれぞれ1つ選んでください。

	現在重要な業務・課題であると思う	現在重要な業務・課題であると思わないが、将来重要な業務・課題になると思う	重要な業務・課題であるとは思わない	現在利用している	現在利用していないが、将来利用したい	現在利用していないし、将来も利用を予定していない
16 セクハラ，パワハラへの対応	A	B	C	D	E	F
17 株主総会対策，株主代表訴訟対策	A	B	C	D	E	F
18 金銭債権の回収	A	B	C	D	E	F
19 海外進出 〔国名及び地域名： 〕	A	B	C	D	E	F
20 外国法調査 〔国名及び地域名： 〕	A	B	C	D	E	F
その他 〔 〕						

(3) (2)で一つでも「D 現在利用している」，「E 現在利用していないが，将来利用したい」と答えた会社にお聞きします。

どのような弁護士を利用したいかについて、もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- | |
|---------------------|
| 1 社外の弁護士（顧問弁護士を含む。） |
| 2 社内の弁護士 |

【資料4-2】

問6 (問5(2)で一つでも「F 現在利用していないし、将来も利用を予定していない」と答えた会社にお聞きします。)

その業務・課題のために弁護士を利用したいと思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 費用が高額になりそう
2 よい弁護士の探し方が分からない
3 社員で対応しようと思うから
4 他の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)に相談すればたりるから
その他 〔 〕

問7 貴社が社外の弁護士(顧問弁護士を除く。)に相談をする場合、どのように弁護士を探そうと思いませんか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

1 既に知っているので探す必要はない
2 顧問弁護士や社内の弁護士に聞いて探す
3 知り合いに聞いて探す
4 広告, 雑誌等で探す
5 弁護士会が提供している情報をもとに探す
6 インターネットの情報をもとに探す
7 社員が法律相談に行つて探す
8 どうやって探したらいいのか分からない
その他 〔 〕

問8 仮に、貴社が問5にあげられているような業務・課題を社外の弁護士（顧問弁護士を含む。）に依頼することになったとします。その弁護士を選ぶ際に以下の事項についてどの程度考慮しますか。1から7のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：	5 貴社の業界や業務に対する理解度	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
----	-------------------	---	---	------------------------------------	---	---

	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
1 弁護士への話しやすさ	A	B	C	D	E
2 弁護士事務所での実務経験	A	B	C	D	E
3 弁護士の専門分野	A	B	C	D	E
4 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力	A	B	C	D	E
5 貴社の業界や業務に対する理解度	A	B	C	D	E
6 諸外国の法律や国際的な取引などの知識	A	B	C	D	E
7 弁護士にかかる費用	A	B	C	D	E

第2 社内弁護士等の採用について

ここからは貴社における社内弁護士等の採用についてお聞きします。

問9 貴社には、「法務」に関する業務を担当している社員がいますか。いる場合、担当者の総人数をご記入ください。いない場合、「2 いない」に○をつけてください。

1 担当者の総人数 名

2 いない

問10 貴社は法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用していますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している

2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している

3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している

4 法曹有資格者を採用しようとしたが，採用できていない

5 法曹有資格者を採用していないし，今後も採用する予定はない

9 ページ問11へ
お進みください。

9 ページ問13へお進みください。

9 ページ問13, その後は11ページ
問18へお進みください。

問11 (問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」、「3 法曹有資格者を役員(社外取締役を除く。)として採用している」と答えた会社にお聞きします。)

社員及び役員の中に日本の弁護士登録者が含まれていますか。あてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 含まれている	▶	問12(1)へお進みください。
2 含まれていない	▶	問12(2)へお進みください。

問12(1) 貴社には日本の弁護士登録者が何名在籍していますか。下記のそれぞれについてお答えください。

ア	社員として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)	
イ	取締役(社外取締役を除く。)	として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)
ウ	監査役(監査委員を除く。)	として	<input type="text"/>	名(内訳:男性	<input type="text"/>	名,女性	<input type="text"/>	名)

(2) 貴社において、弁護士登録をしていない司法試験合格者は何人いますか。

<input type="text"/>	人(おおよその数でも結構です。)
----------------------	------------------

問13 貴社において、司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者は何人いますか。

<input type="text"/>	人(おおよその数でも結構です。)
----------------------	------------------

【資料4-2】

問14（問10で「1 法曹有資格者を通常の正社員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付の社員として採用している」、「3 法曹有資格者を役員（社外取締役を除く。）として採用している」、「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた会社にお聞きします。）

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用しようと考えたのはなぜですか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 高度の法律知識を有する専門家としての人材を求めていたから
- 2 法的な素養があり会社法務の即戦力になることができると期待したから
- 3 法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから

その他

[]

12 ページ問 20 へお進みください
(問 15~17, 問 19 は欠番。)

問 15~17 は欠番

問18 (問10で「5 法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない」と答えた会社にお聞きします。)

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を従業員として採用しない理由は何ですか。 もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 給与が高い
- 2 法曹有資格者は新卒者に比べて平均的に年齢が高く，若いうちに社内教育ができない
- 3 法曹有資格者を採用する社内体制が整っていない
- 4 顧問弁護士がいるので社内に法曹有資格者を必要としていない
- 5 弁護士以外の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）を利用しているので社内に法曹有資格者を必要としていない
- 6 法曹有資格者を必要とする仕事がない
- 7 ビジネスへの理解が足りない

その他

[]

12 ページ問 20 へお進みください
(問 19 は欠番。)

問 19 は欠番

第3 今後の弁護士等の利用について

ここからは貴社における今後の弁護士等の利用についてお聞きします。

問20 今後、貴社において法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面は増えると思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 増えると思う	→	問21へお進みください。	→
2 どちらかといえば増えると思う	→		
3 どちらともいえない	→	14 ページ問 23 へお進みください。	→
4 どちらかといえば増えると思わない	→		
5 増えると思わない	→	13 ページ問 22 へお進みください。	→

問21 (問20で「1 増えると思う」，「2 どちらかといえば増えると思う」と答えた会社にお聞きします。)

どのような法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用することを望みますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

1 顧問弁護士	
2 顧問弁護士以外の社外の弁護士	
3 社内の弁護士	
4 弁護士登録をしていない司法試験合格者	

→ 14 ページ問 23 へお進みください。 →

問22 (問20で「4 どちらかといえば増えると思わない」, 「5 増えると思わない」と答えた会社にお聞きします。)

貴社において法曹有資格者（弁護士, または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面が増えると思わない理由は何ですか。 もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお, これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 法律に関連する仕事は増えないから
 - 2 法律に関連する仕事が増えたとしても, 他の専門家（司法書士, 税理士, 公証人, 行政書士, 弁理士, 社会保険労務士など）を利用することでたりるから
 - 3 法律に関連する仕事が増えたとしても, 法曹有資格者でない法務部員等で対応することでたりるから
- その他

--

【資料4-2】

問23 貴社が今後、法律に関わる業務・課題を抱えたときに、現在よりも弁護士に依頼しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。1から6のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 弁護士の専門分野がわかること	A	<input checked="" type="radio"/> B	C	D	E
------------------	---	------------------------------------	---	---	---

	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない
1 弁護士の専門分野がわかること	A	B	C	D	E
2 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること	A	B	C	D	E
3 弁護士にかかる費用が安くなること	A	B	C	D	E
4 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること	A	B	C	D	E
5 弁護士にかかる費用を補う民間の保険が普及すること	A	B	C	D	E
6 弁護士の業務処理や応答が速くなること	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

第4 弁護士に対する一般的意見について

ここからは弁護士等に対する一般的なご意見をお聞きします。

問24 最近、20代や30代の若い弁護士が増えています。貴社は若い弁護士についてどのようなイメージを抱きますか。1から4のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

4	法律知識が足りない	A	B	C	○ D	E
---	-----------	---	---	---	--------	---

	A	B	C	D	E
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1 仕事を丁寧にやってくれそう	A	B	C	D	E
2 社会経験や実務経験がないので頼りない	A	B	C	D	E
3 会社の業務に関する知識や最新の情報を積極的に取り入れてくれそう	A	B	C	D	E
4 法律知識が足りない	A	B	C	D	E
その他 ()					

【資料4-2】

問25 貴社が現在直面している状況に限らず、広く弁護士等のことについてお聞きします。今後、貴社が法曹有資格者（弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用する場合、貴社としては、法曹有資格者にどのような能力等が必要になってくると思いますか。1から7のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 法律に関する専門的な知識	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
----------------	---	---	------------------------------------	---	---

	必要だと思う	どちらかと思う	どちらともいえない	どちらかといえは必要だとは思わない	必要だとは思わない
1 法律に関する専門的な知識	A	B	C	D	E
2 法律知識に限られない幅広い知識	A	B	C	D	E
3 ビジネスへの理解	A	B	C	D	E
4 諸外国の法律や国際的な取引などの知識	A	B	C	D	E
5 コミュニケーション能力	A	B	C	D	E
6 交渉力	A	B	C	D	E
7 外国語の能力	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

仮想事例による質問
(17～19ページ)

【資料4-2】

最後に、貴社について教えてください。

問1 貴社について、以下の点を教えてください。

(1) 上場の有無【一つだけ○】

- | |
|-------------------|
| 1 上場（東証，大証，一部，二部） |
| 2 その他上場 |
| 3 非上場 |

(2) 所在地（支店がある場合には本店所在地をお書きください。）

都道府県	
市区町村	

(3) 資本金【一つだけ○】

- | |
|----------------------|
| 1 1,000万円未満 |
| 2 1,000万円以上5,000万円未満 |
| 3 5,000万円以上1億円未満 |
| 4 1億円以上5億円未満 |
| その他（) |

(4) 従業員数【一つだけ○】

- | |
|--------------------|
| 1 25人未満 |
| 2 25人以上50人未満 |
| 3 50人以上100人未満 |
| 4 100人以上500人未満 |
| 5 500人以上1,000人未満 |
| 6 1,000人以上3,000人未満 |
| 7 3,000人以上5,000人未満 |
| 8 5,000人以上 |

(5) 主たる事業【一つだけ○】

1	農林・水産業・鉱業
2	建設・工事業
3	食料品業
4	繊維・パルプ・紙業
5	化学・石油・石炭製品
6	ゴム・ガラス・土石業
7	鉄鋼・非鉄金属・金属製品
8	機械・電気機器・輸送用機器・精密機器・その他製造業
9	商業
10	金融業
11	運輸・通信・倉庫・不動産業
12	電気・ガス業・サービス業・その他

問2 貴社では、社外の弁護士（顧問弁護士を含む。）の利用のために予算を計上していますか。【一つだけ○】

1	計上している	-----▶	計上額を記入してください。	-----▶	毎年約	<input type="text"/>	万円
2	計上していない						

問3 主として回答したところの部署と回答者の肩書をお書きください。

部署	あてはまるものの番号を1つ選んでください。 なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。	
	1 法務部	4 経営者
	2 総務部	その他
	3 人事部	()
肩書		

※ このアンケートについて、他にご意見、コメント等がございましたら、下の枠内にご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

第5 仮想事例による質問

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。貴社が下の文章の中の相談者になったと仮定して回答してください。

問26 <契約書作成>

貴社が、今度別の会社と3年間にわたって継続的に商品を売買する基本契約を締結することになりました。この契約により、年間800万円の純利益が見込まれます。

貴社は、この契約を結ぶにあたって、後々に紛争が生じないように、しっかりとした契約書を作成したいと考えています。そこで、弁護士に相談したところ、契約書をこの弁護士に依頼して作成してもらおうのであれば、_____万円支払う必要があるということです。

(1) 貴社は、この弁護士に契約書の作成を依頼したいと思いますか。貴社の意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	19ページ問27へお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)及び(3)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

【資料4-3-1】

(2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」と答えた会社にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 弁護士に支払う金額が高いから
2 自社で対応できると思うから
3 他の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）に相談しようと思うから
4 その他
[]

(3) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」と答えた会社にお聞きします。)

仮に、弁護士に依頼するとすれば、弁護士に支払う金額がいくらまでであれば依頼しますか。

弁護士に支払う金額	[]	万円まで
-----------	-----	------

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。貴社が下の文章の中の相談者になったと仮定して回答してください。

問27 <残業代請求>

貴社が経営する店舗の売上げが悪くなったため、長年働いてもらっていたパートの店員(42才)に辞めてもらいました。すると、しばらくしてその店員から、もらっていない残業代が300万円あるはずだから支払ってほしいという連絡を受けました。

そこで弁護士事務所に相談にいくと、タイムカードを見た弁護士から、交渉次第では、100万円まで減額できるのではないか、と言われました。

弁護士に支払うお金がいくらまでであれば、元店員との交渉をこの弁護士に依頼しようと思いますか。最初に支払う金額(元店員の言うとおりの300万円を支払うこととなったときにも戻ってきません。)、希望どおりに100万円で済ませられたときに支払う金額、それぞれについて教えてください。

なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです(弁護士に対するアンケート結果より)。

※参考

最初に支払う金額：15万円

希望通りの結果が得られたときに支払う金額：25万円

最初に支払う金額	<input type="text"/>	万円
希望通りの結果が得られたときに支払う金額	<input type="text"/>	万円

第5 仮想事例による質問

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。貴社が下の文章の中の相談者になったと仮定して回答してください。

問26 <残業代請求>

貴社が経営する店舗の売上げが悪くなったため、長年働いてもらっていたパートの店員（42才）に辞めてもらいました。すると、しばらくしてその店員から、もらっていない残業代が300万円あるはずだから支払ってほしいという連絡を受けました。

そこで弁護士事務所に相談にいくと、タイムカードを見た弁護士から、交渉次第では、100万円まで減額できるのではないか、と言われました。

この弁護士に交渉を頼んだ場合、最初に_____万円を支払う必要があります。さらに、希望どおり100万円まで減額できたときは、弁護士に追加で_____万円を支払う必要があります。残業代を100万円以上支払うこととなった場合には、金額に応じて、弁護士に追加で支払う金額は減額されます。なお、残業代を300万円支払わなければならなくなった場合にも、最初に支払った_____万円は戻ってきません。

- (1) 貴社はこの弁護士に店員との交渉を依頼したいと思いませんか。貴社の意見にもっとも近いものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	この弁護士に依頼したいと思う	19ページ問27へお進みください。
2	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいと思う	
3	どちらともいえない	(2)及び(3)へお進みください。
4	どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない	
5	この弁護士に依頼したいとは思わない	

【資料4-3-2】

(2) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」と答えた会社にお聞きします。)

この弁護士に依頼したいと思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1	弁護士に支払う金額が高いから
2	自社で対応できると思うから
3	他の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）に相談しようと思うから
4	その他
	[]

(3) ((1)で「4 どちらかといえば、この弁護士に依頼したいとは思わない」、「5 この弁護士に依頼したいとは思わない」と答えた会社にお聞きします。)

仮に、弁護士に依頼するとすれば、弁護士に支払う金額がいくらまでであれば依頼しますか。

最初に支払う金額	<input type="text"/>	万円
希望通りの結果が得られたときに支払う金額	<input type="text"/>	万円

これから、弁護士と法律相談している場面について読んでもらいます。貴社が下の文章の中の相談者になったと仮定して回答してください。

問27 <契約書作成>

貴社が、今度別の会社と3年間にわたって継続的に商品を売買する基本契約を締結することになりました。この契約により、1年間に800万円の純利益が見込まれます。

貴社は、この契約を結ぶにあたって、後々に紛争が生じないように、しっかりとした契約書を作成したいと考えています。

弁護士に支払う金額がいくらまでであれば、契約書の作成を弁護士に依頼したいと思いますか。

なお、同様の事案で多くの弁護士は以下の金額を受け取っているようです（弁護士に対するアンケート結果より）。

※参考

弁護士に支払う金額：10万円

弁護士に支払う金額

万円

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

【資料5-1】

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか					
回答数	増加している	変わらない	減少している	わからない	無回答
762 (100%)	438 (57.5%)	259 (34.0%)	25 (3.3%)	32 (4.2%)	8 (1.0%)

問2 貴自治体は弁護士と顧問契約を結んでいますか			
回答数	顧問契約を結んでいる	顧問契約を結んでいない	無回答
762 (100%)	651 (85.4%)	107 (14.0%)	4 (0.5%)

↓
↓

問5へ
問3, 4へ

問3 弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか(3つまで)					
回答数	顧問料が高いから	顧問料の基準が不透明であるから	費用対効果が計測しづらいから	必要に応じて依頼すればたりるから	弁護士を利用する職場が整っていないから
107 (100%)	11 (10.3%)	7 (6.5%)	34 (31.8%)	82 (76.6%)	1 (0.9%)
	弁護士以外の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)を利用しているから	弁護士を必要とする仕事がないから	身近に弁護士がいないから	その他	無回答
	1 (0.9%)	4 (3.7%)	2 (1.9%)	30 (28.0%)	1 (0.9%)

問4 顧問料がいくらまでであれば、弁護士と顧問契約をしようと思いますか			
回答数	顧問契約をしようと思う	いくらであっても顧問契約をしたくない	無回答
107 (100%)	34 (31.8%)	49 (45.8%)	24 (22.4%)

↓
↓

問4_1へ
問5へ

問4_1 弁護士と顧問契約をしようと思う金額(月額)			
回答数	平均(万円)	最小値(万円)	最大値(万円)
30	7.07	1.00	30.00

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつでも) 1. 行政訴訟事件(国家賠償請求訴訟, 住民訴訟を含む)						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	653 (85.7%)	144 (18.9%)	40 (5.2%)	134 (17.6%)	3 (0.4%)	5 (0.7%)

↓
↓

問6へ
問7へ

【資料5-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 2. 民事訴訟事件(国家賠償請求訴訟を除く)						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	651 (85.4%)	147 (19.3%)	39 (5.1%)	146 (19.2%)	5 (0.7%)	5 (0.7%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 3. 民事調停事件(国家賠償請求に関する調停も含む)						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	625 (82.0%)	118 (15.5%)	41 (5.4%)	177 (23.2%)	18 (2.4%)	4 (0.5%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 4. 支払督促申立事件						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	476 (62.5%)	81 (10.6%)	29 (3.8%)	296 (38.8%)	65 (8.5%)	6 (0.8%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 5. 家事審判申立事件(相続財産管理人選任, 成年後見・保佐・補助等)						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	421 (55.2%)	87 (11.4%)	22 (2.9%)	277 (36.4%)	113 (14.8%)	9 (1.2%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 6. 住民監査請求						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	387 (50.8%)	57 (7.5%)	20 (2.6%)	434 (57.0%)	45 (5.9%)	7 (0.9%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつかでも) 7. 異議申立て						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	346 (45.4%)	54 (7.1%)	30 (3.9%)	499 (65.5%)	28 (3.7%)	3 (0.4%)

↓
問6へ

↓
問7へ

問5 法的な紛争が生じた場合の対応方法(いくつでも) 8. 上級庁への審査請求						
回答数	顧問弁護士に相談する	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない	無回答
762 (100%)	315 (41.3%)	49 (6.4%)	24 (3.1%)	466 (61.2%)	71 (9.3%)	6 (0.8%)



問5で1つでも「顧問弁護士に相談する」、「顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する」または「職員である法曹有資格者が対応する」と回答した自治体

問6 法曹有資格者の利用は役立っていますか 1. 顧問弁護士						
回答数	非常に役に立っている	役に立っている	どちらかといえば役立っている	役立っていない	使っていない	無回答
752 (100%)	545 (72.5%)	106 (14.1%)	3 (0.4%)	-	53 (7.0%)	45 (6.0%)

問6 法曹有資格者の利用は役立っていますか 2. 顧問弁護士以外の自治体外の弁護士						
回答数	非常に役に立っている	役に立っている	どちらかといえば役立っている	役立っていない	使っていない	無回答
752 (100%)	125 (16.6%)	89 (11.8%)	9 (1.2%)	-	306 (40.7%)	223 (29.7%)

問6 法曹有資格者の利用は役立っていますか 3. 職員である法曹有資格者						
回答数	非常に役に立っている	役に立っている	どちらかといえば役立っている	役立っていない	使っていない	無回答
752 (100%)	48 (6.4%)	7 (0.9%)	1 (0.1%)	-	416 (55.3%)	280 (37.2%)

問7 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)への相談の回数を今後増やすことを望みますか						
回答数	現状の相談回数よりも増やすことが望まれる	現状の相談回数で不都合を感じないので、相談回数を増やすことを望んでいない	現状の相談回数よりも減らすことが望まれる	弁護士に相談していないのでわからない	無回答	
762 (100%)	174 (22.8%)	532 (69.8%)	23 (3.0%)	22 (2.9%)	11 (1.4%)	

問8 自治体外の弁護士(顧問弁護士を除く)に相談をする場合、どのように弁護士を探そうと思いますか(3つまで)						
回答数	既に知っているので探す必要はない	顧問弁護士や職員である弁護士に聞いて探す	職員の知り合いに聞いて探す	広告、雑誌等で探す	弁護士会に相談する	弁護士会が提供している情報をもとに探す
762 (100%)	148 (19.4%)	482 (63.3%)	66 (8.7%)	3 (0.4%)	352 (46.2%)	206 (27.0%)
	インターネットの情報をもとに探す	職員が法律相談に行き探す	どうやって探したらいいのか分からない	その他	無回答	
	82 (10.8%)	25 (3.3%)	12 (1.6%)	56 (7.3%)	12 (1.6%)	

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 1. 弁護士への話しやすさ						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	257 (33.7%)	335 (44.0%)	132 (17.3%)	25 (3.3%)	9 (1.2%)	4 (0.5%)

【資料5-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 2. 弁護士事務所での実務経験						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	436 (57.2%)	254 (33.3%)	58 (7.6%)	6 (0.8%)	4 (0.5%)	4 (0.5%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 3. 弁護士の専門分野						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	482 (63.3%)	227 (29.8%)	47 (6.2%)	-	2 (0.3%)	4 (0.5%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 4. 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	514 (67.5%)	188 (24.7%)	51 (6.7%)	3 (0.4%)	2 (0.3%)	4 (0.5%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 5. 自治体組織の業務に対する理解度						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	383 (50.3%)	288 (37.8%)	75 (9.8%)	11 (1.4%)	1 (0.1%)	4 (0.5%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 6. 諸外国の法律などの知識						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	33 (4.3%)	70 (9.2%)	382 (50.1%)	181 (23.8%)	91 (11.9%)	5 (0.7%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 7. 弁護士の行政訴訟や行政法規に関する知識						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	544 (71.4%)	185 (24.3%)	28 (3.7%)	-	1 (0.1%)	4 (0.5%)

問9 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む)を選ぶ際の考慮の度合 8. 弁護士にかかる費用						
回答数	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない	無回答
762 (100%)	312 (40.9%)	325 (42.7%)	109 (14.3%)	8 (1.0%)	3 (0.4%)	5 (0.7%)

問10 法曹有資格者を採用していますか(いくつでも)						
回答数	法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している	法曹有資格者を任期付職員として採用している	法曹有資格者を非常勤の嘱託職員として採用している	法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない	法曹有資格者を採用していないし、今後も採用する予定はない	無回答
762 (100%)	10 (1.3%)	41 (5.4%)	28 (3.7%)	19 (2.5%)	640 (84.0%)	29 (3.8%)



問10で法曹有資格者を「通常の正規の社員として採用している」または「任期付職員として採用している」と回答した自治体

問11_1 通常の正規の職員として現在採用している法曹有資格者の給与・待遇

回答数	新卒採用と同程度	同年齢の他の職員(行政(事務)の公務員)と同程度	その他
8 (100%)	4 (50.0%)	4 (50.0%)	-

問11_2へ

問11_3へ

問11_2 新卒採用と同程度とは、大卒または大学院卒のどちらか

回答数	大卒	大学院卒
4 (100%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)

問11_3 資格手当の支給の有無

回答数	支給あり	支給なし
8 (100%)	-	8 (100%)

問11_4 昇給昇進での優遇の有無

回答数	優遇あり	優遇なし
8 (100%)	-	8 (100%)

問11_5 任期付職員として現在採用している法曹有資格者の給与・待遇

回答数	個人ごとに決定する年俸制	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例に基づく給与体系	2以外の法曹有資格者専用の給与体系を設定	その他
42 (100%)	-	37 (88.1%)	1 (2.4%)	4 (9.5%)

問10で法曹有資格者を「通常の正規の社員として採用している」、「任期付職員として採用している」または「非常勤の嘱託職員として採用している」と回答した自治体

問12 法曹有資格者を採用しようと考えた理由(いくつか)

回答数	法律知識を有する人材を求めていたから	法的な素養があり自治体法務の即戦力になることができると期待したから	法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから	その他
74 (100%)	55 (74.3%)	38 (51.4%)	13 (17.6%)	16 (21.6%)

【資料5-1】 法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問10で法曹有資格者を「通常の正規の社員として採用している」、「任期付職員として採用している」、「非常勤の嘱託職員として採用している」または「採用しようとしたが、採用できていない」と回答した自治体

問13_1 法曹有資格者を採用する場合、弁護士事務所での実務経験を求めますか

回答数	求める	どちらかといえば求める	どちらともいえない	どちらかといえば求めない	求めない
93 (100%)	56 (60.2%)	20 (21.5%)	9 (9.7%)	-	8 (8.6%)

問13_2へ

問13_2 法曹有資格者を採用する場合に求める弁護士事務所での実務経験年数

回答数	1年程度	2～3年程度	4～5年程度	6～10年程度	10年超	経験は求めるが特に年数にこだわらない
76 (100%)	3 (3.9%)	30 (39.5%)	10 (13.2%)	4 (5.3%)	1 (1.3%)	28 (36.8%)

問10で法曹有資格者を「通常の正規の社員として採用している」、「任期付職員として採用している」または「非常勤の嘱託職員として採用している」と回答した自治体

問14 法曹有資格者の採用経緯を教えてください(いくつでも)

回答数	通常の新卒・中途採用の採用活動に対する応募があった	司法修習終了者や弁護士を対象とした採用活動に対する応募があった	職員として在籍していた者が資格を取得した	外部の弁護士事務所(顧問事務所を含む)から派遣されている	法曹有資格者と直接交渉した	その他
74 (100%)	5 (6.8%)	38 (51.4%)	4 (5.4%)	3 (4.1%)	15 (20.3%)	15 (20.3%)

問10で「法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と回答した自治体

問15 法曹有資格者を職員として採用しようとしたが、採用できていない理由(いくつでも)

回答数	給与等の待遇面について折り合いがつかなかった	採用の時期が司法修習終了時期ではなかった	配属予定の部署の雰囲気と調和しない印象を受けた	応募者の能力的な部分で満足がいかなかった
19 (100%)	2 (10.5%)	-	-	-
	応募者の意欲・熱意の部分で満足がいかなかった	採用内定を出したが、辞退された	応募がなかった	その他
	-	2 (10.5%)	9 (47.4%)	6 (31.6%)

問17へ

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 1. 法曹有資格者が組織内に入ってくることで自体に違和感ないし不安がある

回答数	そう思う	どちらかといえばそう思う	何ともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	3 (0.4%)	19 (2.5%)	235 (30.8%)	145 (19.0%)	350 (45.9%)	10 (1.3%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

【資料5-1】

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 2. 既存の職員を育成すればたりる

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	18 (2.4%)	88 (11.5%)	300 (39.4%)	136 (17.8%)	209 (27.4%)	11 (1.4%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 3. 必要に応じて外部の顧問弁護士等を活用すればたりる

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	342 (44.9%)	278 (36.5%)	93 (12.2%)	22 (2.9%)	19 (2.5%)	8 (1.0%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 4. 法曹有資格者を採用することの必要性・有用性(期待できる成果・効果)がわかりにくい

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	70 (9.2%)	179 (23.5%)	274 (36.0%)	122 (16.0%)	107 (14.0%)	10 (1.3%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 5. 厳しい財政状況の中で、任用コスト・正職員の定数管理の面から、消極にならざるを得ない

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	220 (28.9%)	271 (35.6%)	185 (24.3%)	39 (5.1%)	39 (5.1%)	8 (1.0%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 6. 募集したとしても、どれだけの応募があるのか不安がある

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	131 (17.2%)	207 (27.2%)	309 (40.6%)	49 (6.4%)	56 (7.3%)	10 (1.3%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 7. 法曹有資格者は高い給与でないと採用できない

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	84 (11.0%)	130 (17.1%)	474 (62.2%)	24 (3.1%)	40 (5.2%)	10 (1.3%)

↓
問17へ

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される消極的な意見 8. 法曹有資格者は新卒者(大卒)に比べて平均的に年齢が高く、若いうちに職場教育ができない

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	11 (1.4%)	84 (11.0%)	388 (50.9%)	127 (16.7%)	132 (17.3%)	20 (2.6%)

問16 法曹有資格者を職員として採用する際に想定される意見 9. 弁護士以外の専門家(司法書士, 税理士, 社会保険労務士など)を利用しているので組織内に法曹有資格者を必要としていない

回答数	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない	無回答
762 (100%)	5 (0.7%)	22 (2.9%)	274 (36.0%)	121 (15.9%)	317 (41.6%)	23 (3.0%)

【資料5-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問15で「給与等の待遇面について折り合いがつかなかった」、問16の「7. 高い給与でないと採用できない」で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した自治体

問17_1 仮に法曹有資格者を通常の正規の職員として採用する場合の給与・待遇

回答数	新卒採用と同程度	同年齢の他の職員(行政(事務)の公務員)と同程度	その他	無回答
208 (100%)	70 (33.7%)	101 (48.6%)	26 (12.5%)	11 (5.3%)

問17_2へ

問17_3へ

問17_2 新卒採用と同程度とは、大卒または大学院卒のどちらか

回答数	大卒	大学院卒	無回答
70 (100%)	41 (58.6%)	27 (38.6%)	2 (2.9%)

問17_3 資格手当の支給の有無

回答数	支給あり	支給なし	無回答
208 (100%)	42 (20.2%)	141 (67.8%)	25 (12.0%)

問17_4 昇級昇進での優遇の有無

回答数	優遇あり	優遇なし	無回答
208 (100%)	27 (13.0%)	153 (73.6%)	28 (13.5%)

問17_5 仮に法曹有資格者を任期付職員として採用する場合の給与・待遇

回答数	個人ごとに決定する年俸制	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例に基づく給与体系	2以外の法曹有資格者専用の給与体系を設定	その他	無回答
209 (100%)	14 (6.7%)	137 (65.6%)	27 (12.9%)	20 (9.6%)	11 (5.3%)

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 1. 自治体を当事者とする訴訟・調停等の代理人

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	145 (19.0%)	51 (6.7%)	38 (5.0%)	1 (0.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	2 (0.3%)	514 (67.5%)	11 (1.4%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 2. 行政不服申立における裁決書等に関する法律相談及び文書チェック

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	111 (14.6%)	176 (23.1%)	150 (19.7%)	18 (2.4%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	29 (3.8%)	266 (34.9%)	12 (1.6%)	

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

【資料5-1】

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 3. 自治体債権の管理回収に関する法律相談及び納付交渉代理人

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	90 (11.8%)	170 (22.3%)	208 (27.3%)	27 (3.5%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	23 (3.0%)	232 (30.4%)	12 (1.6%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 4. 苦情処理対応の代理人

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	64 (8.4%)	138 (18.1%)	342 (44.9%)	62 (8.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	69 (9.1%)	74 (9.7%)	13 (1.7%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 5. 契約書に関する法律相談及び文書チェック

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	58 (7.6%)	143 (18.8%)	216 (28.3%)	54 (7.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	51 (6.7%)	228 (29.9%)	12 (1.6%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 6. 政策形成・推進における法律相談

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	45 (5.9%)	129 (16.9%)	305 (40.0%)	54 (7.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	63 (8.3%)	153 (20.1%)	13 (1.7%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 7. 条例等の立案過程における法律相談及び法令審査

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	47 (6.2%)	135 (17.7%)	293 (38.5%)	77 (10.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	81 (10.6%)	118 (15.5%)	11 (1.4%)	

【資料5-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 8. 福祉分野(子ども, 高齢者, 障がい者, 生活困窮者)における法律相談や支援

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	68 (8.9%)	181 (23.8%)	220 (28.9%)	24 (3.1%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	22 (2.9%)	236 (31.0%)	11 (1.4%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 9. 教育分野(いじめ, 体罰等)における法律相談や支援

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	84 (11.0%)	193 (25.3%)	207 (27.2%)	20 (2.6%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	17 (2.2%)	229 (30.1%)	12 (1.6%)	

問18 弁護士を利用していない業務・分野での利用意向 10. 犯罪被害者等(DV・ストーカー被害者, 消費者被害などを含む)への対応

回答数	希望する	どちらかといえば希望する	どちらともいえない	どちらかといえば希望しない
762 (100%)	72 (9.4%)	193 (25.3%)	297 (39.0%)	23 (3.0%)
	希望しない	既に利用している	無回答	
	30 (3.9%)	134 (17.6%)	13 (1.7%)	

問19 法律に関わる業務・課題を抱えたときに, 弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 1. 弁護士の専門分野がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	448 (58.8%)	258 (33.9%)	45 (5.9%)	4 (0.5%)	1 (0.1%)	6 (0.8%)

問19 法律に関わる業務・課題を抱えたときに, 弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 2. 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	404 (53.0%)	291 (38.2%)	56 (7.3%)	3 (0.4%)	1 (0.1%)	7 (0.9%)

問19 法律に関わる業務・課題を抱えたときに, 弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 3. 弁護士にかかる費用が安くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	352 (46.2%)	252 (33.1%)	144 (18.9%)	4 (0.5%)	3 (0.4%)	7 (0.9%)

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

【資料5-1】

問19 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 4. 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	401 (52.6%)	256 (33.6%)	91 (11.9%)	4 (0.5%)	3 (0.4%)	7 (0.9%)

問19 法律に関わる業務・課題を抱えたときに、弁護士に依頼しやすくなるために必要なこと 5. 弁護士の業務処理や応答が速くなること

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	285 (37.4%)	297 (39.0%)	156 (20.5%)	12 (1.6%)	5 (0.7%)	7 (0.9%)

問20 今後、貴自治体において法曹有資格者の利用を望む場面は増えると思いますか

回答数	増えると思う	どちらかといえば増えると思う	どちらともいえない	どちらかといえば増えると思わない	増えると思わない	無回答
762 (100%)	260 (34.1%)	274 (36.0%)	204 (26.8%)	6 (0.8%)	4 (0.5%)	14 (1.8%)

問21, 23へ

問23へ

問22へ

問21 どのような法曹有資格者を利用することを望みますか(いくつでも)

回答数	顧問弁護士	顧問弁護士以外の自治体外の弁護士	職員(任期付職員及び非常勤の嘱託職員を含む)としての弁護士	弁護士登録をしていない司法試験合格者	無回答
534 (100%)	435 (81.5%)	162 (30.3%)	120 (22.5%)	19 (3.6%)	3 (0.6%)

問22 貴自治体において法曹有資格者の利用を望む場面が増えると思わない理由

回答数	法律に関連する仕事は増えないから	法律に関連する仕事が増えたとしても、他の専門家(司法書士、税理士、公証人、行政書士、社会保険労務士など)を利用することでたりるから	法律に関連する仕事が増えたとしても、法曹有資格者でない職員で対応することでたりるから	その他
10 (100%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	3 (30.0%)

問23 今後、貴自治体で法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 1. 法律に関する専門的な知識

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	706 (92.7%)	46 (6.0%)	2 (0.3%)	-	-	8 (1.0%)

問23 今後、貴自治体で法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 2. 法律知識に限られない幅広い知識

回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	421 (55.2%)	300 (39.4%)	33 (4.3%)	-	1 (0.1%)	7 (0.9%)

【資料5-1】

法的ニーズに関する意識調査 単純集計表(地方自治体)

問23 今後、貴自治体で法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 3. コミュニケーション能力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	454 (59.6%)	271 (35.6%)	27 (3.5%)	2 (0.3%)	-	8 (1.0%)

問23 今後、貴自治体で法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 4. 交渉力						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	510 (66.9%)	207 (27.2%)	36 (4.7%)	-	-	9 (1.2%)

問23 今後、貴自治体で法曹有資格者を利用する場合、どのような能力等が必要か 5. 自治体組織の業務に対する理解						
回答数	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない	無回答
762 (100%)	542 (71.1%)	198 (26.0%)	15 (2.0%)	-	1 (0.1%)	6 (0.8%)

問24 貴自治体では、弁護士による市民向けの法律相談を実施していますか					
回答数	法律相談を実施している	実施したいと思うが、未だに実施していない	実施したいとは思わない	わからない	無回答
762 (100%)	575 (75.5%)	41 (5.4%)	75 (9.8%)	59 (7.7%)	12 (1.6%)



問25へ



属性問1へ

問25 今後、弁護士による法律相談の回数を増やしたいと思いますか					
回答数	回数を増やしたい	現状維持でよいと思う	回数を減らしたい	わからない	無回答
575 (100%)	62 (10.8%)	449 (78.1%)	5 (0.9%)	56 (9.7%)	3 (0.5%)

属性問1 自治体区分				
回答数	都道府県	都道府県庁所在地(東京都を除く)	2以外の政令指定都市	2, 3以外の中核市または特例市
762 (100%)	38 (5.0%)	28 (3.7%)	4 (0.5%)	51 (6.7%)
	特別区(東京23区)	2, 3, 4, 5以外の自治体	無回答	
	13 (1.7%)	623 (81.8%)		5 (0.7%)

属性問2(1) 部署						
回答数	総務部門	人事部門	法務部門	福祉(民生)部門	その他	無回答
762 (100%)	489 (64.2%)	11 (1.4%)	243 (31.9%)	-	-	6 (0.8%)
						13 (1.7%)

地方自治体のご担当者の皆様へ

法的ニーズに関する意識調査 アンケートご協力をお願い

平成 26 年 6 月 26 日

内閣官房法曹養成制度改革推進室

このたびは、法的ニーズに関する意識調査にご協力いただき、ありがとうございます。
裁判官、検察官、弁護士（これらの3つの法律専門家をまとめて「法曹」といいます。）は、これまで主に裁判制度を支える役割を担ってきましたが、今後は、社会の様々な法的ニーズに、より一層こたえていくことが期待されています。

そこで、地方自治体における今後の法的ニーズにはどのようなものがあるのかをうかがいたく、法的ニーズに関する意識調査を行うことといたしました。

地方自治体のご担当者様におかれましては、お忙しいことと存じますが、お時間をいただき、ぜひとも、この調査にご協力いただきますようお願いいたします。

このたびいただきます貴重なご意見は、今後、政府が法曹人口のあり方を考える上で役立たせていただきます。

なお、調査票の質問には、弁護士の活用方法、給与体系など一つの部署だけでは回答が難しいと思われるものも含まれております。必要に応じて関係部署と相談の上、回答くださいますよう、お願いいたします。

【ご記入にあたって】

- * アンケートは、無記名式となっています。
- * 集計にあたり、回答した地方自治体が特定されることはありません。
- * アンケートの集計は、内閣官房より委託を受けている公益社団法人商事法務研究会が行います。なお、本アンケートに関するご質問等は、商事法務研究会宛てにご連絡ください（TEL：03-5614-5633）。

第1 弁護士の利用について

これから、貴自治体における弁護士の利用についてお聞きします。

問1 弁護士の利用機会は5年前に比べて変化していますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 増加している
- 2 変わらない
- 3 減少している
- NA わからない

問2 貴自治体は弁護士と顧問契約を結んでいますか。あてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

- 1 顧問契約を結んでいる -----> 3ページ問5へお進みください。----->
- 2 顧問契約を結んでいない

問3 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた自治体にお聞きします。)

弁護士と顧問契約を結んでいない理由は何ですか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 顧問料が高いから
- 2 顧問料の基準が不透明であるから
- 3 費用対効果が計測しづらいから
- 4 必要に応じて依頼すればたりるから
- 5 弁護士を利用する職場が整っていないから
- 6 弁護士以外の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）を利用しているから
- 7 弁護士を必要とする仕事がないから
- 8 身近に弁護士がいないから
- その他
[]

問4 (問2で「2 顧問契約を結んでいない」と答えた自治体にお聞きします。)

貴自治体は、顧問料がいくらまでであれば、弁護士と顧問契約をしようと思いませんか。月額金額をお書きください。

顧問料にかかわらず顧問契約をしたくない場合には、「2 いくらであっても顧問契約をしたくない」に○をつけてください。

1	月額 <input type="text"/> 万円まで
2	いくらであっても顧問契約をしたくない

問5 貴自治体は、以下の法的な紛争が生じた場合、どのように対応しますか。1から8のことについて、あてはまるものをA～Eの中から選んでください。【複数回答可】

なお、以下の法的な紛争以外に貴自治体に生じ得る法的な紛争が何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

(ここでいう「法曹有資格者」とは、弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者をいいます。)

例：

6 住民監査請求	A	B	Ⓒ	D	E
----------	---	---	---	---	---

	顧問弁護士に相談する	外顧問弁護士以外の自治体に相談する	職員である法曹有資格者が対応する	法曹有資格者ではない職員で対応する	分からない
1 行政訴訟事件 (国家賠償請求訴訟, 住民訴訟を含む。)	A	B	C	D	E
2 民事訴訟事件 (国家賠償請求訴訟を除く。)	A	B	C	D	E
3 民事調停事件 (国家賠償請求に関する調停も含む。)	A	B	C	D	E
4 支払督促申立事件	A	B	C	D	E
5 家事審判申立事件 (相続財産管理人選任, 成年後見・保佐・補助等)	A	B	C	D	E
6 住民監査請求	A	B	C	D	E
7 異議申立て	A	B	C	D	E
8 上級庁への審査請求	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

【資料5-2】

問6 (問5で一つでも「A 顧問弁護士に相談する」, 「B 顧問弁護士以外の自治体外の弁護士に相談する」, 「C 職員である法曹有資格者が対応する」と答えた自治体にお聞きします。)

法曹有資格者(弁護士, または弁護士登録をしていない司法試験合格者)を利用していることは, 貴自治体にとって役立っていますか。1から3の者について, もっともあてはまるものをA~Eの中からそれぞれ一つ選んでください。1から3の者について複数名を利用している場合には, それぞれの者についての全体的な評価をお答えください。【それぞれ一つだけ○】

例：

1 顧問弁護士	A	B	C	<input checked="" type="radio"/> D	E
---------	---	---	---	------------------------------------	---

	非常に役に立っている	役に立っている	どちらかといえば役立っている	役立っていない	使っていない
1 顧問弁護士	A	B	C	D	E
2 顧問弁護士以外の自治体外の弁護士	A	B	C	D	E
3 職員である法曹有資格者	A	B	C	D	E

問7 貴自治体は, 自治体外の弁護士(顧問弁護士を含む。)への相談の回数について, 今後増やすことを望みますか。 もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。

【一つだけ○】

1 現状の相談回数よりも増やすことが望まれる
2 現状の相談回数で不都合を感じていないので, 相談回数を増やすことを望んでいない
3 現状の相談回数よりも減らすことが望まれる
4 弁護士に相談していないのでわからない

問8 貴自治体が自治体外の弁護士（顧問弁護士を除く。）に相談をする場合、どのように弁護士を探そうと思いますか。あてはまるものの番号を3つまで選んでください。【3つまで○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 既に知っているので探す必要はない
- 2 顧問弁護士や職員である弁護士に聞いて探す
- 3 職員の知り合いに聞いて探す
- 4 広告、雑誌等で探す
- 5 弁護士会に相談する
- 6 弁護士会が提供している情報をもとに探す
- 7 インターネットの情報をもとに探す
- 8 職員が法律相談に行って探す
- 9 どうやって探したらいいのか分からない

その他

--

【資料5-2】

問9 仮に、貴自治体が問5にあげられているような法的な紛争（行政訴訟事件，民事訴訟事件など）の解決を自治体外の弁護士（顧問弁護士を含む。）に依頼することになったとします。その弁護士を選ぶ際に以下の事項についてどの程度考慮しますか。1から8のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：

5 貴自治体組織の業務に対する理解度	A	B	<input checked="" type="radio"/> C	D	E
--------------------	---	---	------------------------------------	---	---

	考慮する	ある程度考慮する	どちらともいえない	あまり考慮しない	考慮しない
1 弁護士への話しやすさ	A	B	C	D	E
2 弁護士事務所での実務経験	A	B	C	D	E
3 弁護士の専門分野	A	B	C	D	E
4 法律問題について紛争解決策や行動指針を示せる能力	A	B	C	D	E
5 貴自治体組織の業務に対する理解度	A	B	C	D	E
6 諸外国の法律などの知識	A	B	C	D	E
7 弁護士の行政訴訟や行政法規に関する知識	A	B	C	D	E
8 弁護士にかかる費用	A	B	C	D	E

第2 職員としての弁護士等の採用について

ここからは貴自治体における職員としての弁護士等の採用についてお聞きします。

問10 貴自治体は法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用していますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

1	法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している	8 ページ問11へ お進みください。
2	法曹有資格者を任期付職員として採用している	
3	法曹有資格者を非常勤の嘱託職員として採用している	9 ページ問12へお進みください。
4	法曹有資格者を採用しようとしたが，採用できていない	10 ページ問13へお進みください。
5	法曹有資格者を採用していないし，今後も採用する予定はない	12 ページ問16へお進みください。

【資料5-2】

問11（問10で「1 法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付職員として採用している」と答えた自治体にお聞きします。）

通常の正規の職員または任期付職員として現在採用している法曹有資格者（弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）について、どのような給与・待遇で採用していますか。各項目についてもっともあてはまるものを1つ選んでください。

【各項目について一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

通常の正規の職員として採用している場合

<p>1 新卒採用と同程度</p> <p>AまたはBから1つ選んでください。</p> <p>A 大卒</p> <p>B 大学院卒</p> <p>2 同年齢の他の職員（行政（事務）の公務員）と同程度</p> <p>その他</p> <p>[]</p>
<p>1 資格手当支給あり</p> <p>2 資格手当支給なし</p>
<p>1 昇級昇進で優遇あり</p> <p>2 昇級昇進で優遇なし</p>

任期付職員として採用している場合

<p>1 個人ごとに決定する年俸制</p> <p>2 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例に基づく給与体系</p> <p>3 2以外の法曹有資格者専用の給与体系を設定</p> <p>その他</p> <p>[]</p>
--

問12（問10で「1 法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付職員として採用している」、「3 法曹有資格者を非常勤の嘱託職員として採用している」と答えた自治体にお聞きします。）

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用しようと考えたのはなぜですか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 法律知識を有する人材を求めていたから
- 2 法的な素養があり自治体法務の即戦力になることができると期待したから
- 3 法律知識に限らず優秀な能力を発揮してくれると期待したから

その他

〔		〕
---	--	---

【資料5-2】

問13（問10で「1 法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付職員として採用している」、「3 法曹有資格者を非常勤の嘱託職員として採用している」、「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた自治体にお聞きします。）

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を採用する場合，弁護士事務所での実務経験を求めますか。求める場合には，その経験年数についても，もっともあてはまるものを1つ選んでください。【一つだけ○】

弁護士事務所での実務経験

- 1 求める
- 2 どちらかといえば求める
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば求めない
- 5 求めない

1または2と答えた方は，求める経験年数についてももっともあてはまるものをA～Fの中から一つ選んでください。

求める経験年数

- A 1年程度
- B 2～3年程度
- C 4～5年程度
- D 6～10年程度
- E 10年超
- F 経験は求めるが特に年数にこだわらない

問10で「4 法曹有資格者を採用しようとしたが、採用できていない」と答えた自治体は11ページ問15へお進みください。

問14 (問10で「1 法曹有資格者を通常の正規の職員として採用している」、「2 法曹有資格者を任期付職員として採用している」、「3 法曹有資格者を非常勤の嘱託職員として採用している」と答えた自治体にお聞きします。)

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の採用経緯を教えてください。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

<p>1 通常の新卒・中途採用の採用活動に対する応募があった</p> <p>2 司法修習終了者や弁護士を対象とした採用活動に対する応募があった</p> <p>3 職員として在籍していた者が資格を取得した</p> <p>4 外部の弁護士事務所（顧問事務所を含む。）から派遣されている</p> <p>5 法曹有資格者と直接交渉した</p> <p>その他</p> <p>[]</p>

→ 12ページ問16へお進みください。 →

問15 (問10で「4 法曹有資格者を採用しようとしたが，採用できていない」と答えた自治体にお聞きします。)

法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を職員として採用しようとしたが，採用できていない理由について，あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

<p>1 給与等の待遇面について折り合いがつかなかった</p> <p>2 採用の時期が司法修習終了時期ではなかった</p> <p>3 配属予定の部署の雰囲気と調和しない印象を受けた</p> <p>4 応募者の能力的な部分で満足がいかなかった</p> <p>5 応募者の意欲・熱意の部分で満足がいかなかった</p> <p>6 採用内定を出したが，辞退された</p> <p>7 応募がなかった</p> <p>その他</p> <p>[]</p>
--

12ページ問16へ、その後は13ページ問17へお進みください。 201

【資料5-2】

問16 (全ての自治体にお聞きします。)

今後、貴自治体において法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の職員としての採用を検討するとした場合，採用に消極的な意見として想定されるものは，どのような意見ですか。1から9のことについてもっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：

2 既存の職員を育成すればたりる	A	<input checked="" type="radio"/> B	C	D	E
------------------	---	------------------------------------	---	---	---

	そう思う	どちらかといえば そう思う	何ともいえない	どちらかといえば そうは思わない	そうは思わない
1 法曹有資格者が組織内に入ってくることで自体に違和感ないし不安がある	A	B	C	D	E
2 既存の職員を育成すればたりる	A	B	C	D	E
3 必要に応じて外部の顧問弁護士等を活用すればたりる	A	B	C	D	E
4 法曹有資格者を採用することの必要性・有用性（期待できる成果・効果）がわかりにくい	A	B	C	D	E
5 厳しい財政状況の中で，任用コスト・正職員の定数管理の面から，消極にならざるを得ない	A	B	C	D	E
6 募集したとしても，どれだけの応募があるのか不安がある	A	B	C	D	E
7 法曹有資格者は高い給与でないと採用できない	A	B	C	D	E
8 法曹有資格者は新卒者（大卒）に比べて平均的に年齢が高く，若いうちに職場教育ができない	A	B	C	D	E
9 弁護士以外の専門家（司法書士，税理士，社会保険労務士など）を利用しているので組織内に法曹有資格者を必要としていない	A	B	C	D	E

13ページ問17へお進みください。

問17（問15で「1 給与等の待遇面について折り合いがつかなかった」の答えを選択した自治体、あるいは問16の「7 法曹有資格者は高い給与でないと採用できない」で「A そう思う」、「B どちらかといえばそう思う」と答えた自治体にお聞きします。）

仮に、貴自治体が法曹有資格者（弁護士、または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を通常の正規の職員または任期付職員として採用する場合、どのような給与・待遇であれば採用できますか。各項目についてもっともあてはまるものを1つ選んでください。【各項目について一つだけ○】

なお、これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

通常の正規の職員として採用する場合

1 新卒採用と同程度 AまたはBから1つ選んでください。 A 大卒 B 大学院卒 2 同年齢の他の職員（行政（事務）の公務員）と同程度 その他 []
1 資格手当支給あり 2 資格手当支給なし
1 昇級昇進で優遇あり 2 昇級昇進で優遇なし

任期付職員として採用する場合

1 個人ごとに決定する年俸制 2 一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例に基づく給与体系 3 2以外の法曹有資格者専用の給与体系を設定 その他 []

問19 貴自治体が今後、法律に関わる業務・課題を抱えたときに、現在よりも弁護士に依頼しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。1から5のことについて、もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

例：

3 弁護士にかかる費用が安くなること	A	B	○ C	D	E
--------------------	---	---	-----	---	---

	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえば必要だとは思わない	必要だとは思わない
1 弁護士の専門分野がわかること	A	B	C	D	E
2 弁護士がそれまで取り扱った事件とそれに関する実績と評価がわかること	A	B	C	D	E
3 弁護士にかかる費用が安くなること	A	B	C	D	E
4 弁護士にかかる費用の基準が明らかになること	A	B	C	D	E
5 弁護士の業務処理や応答が速くなること	A	B	C	D	E

問20 今後、貴自治体において法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面は増えると思いますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 増えると思う	→ 16 ページ問 21 へお進みください。
2 どちらかといえば増えると思う	
3 どちらともいえない	→ 17 ページ問 23 へお進みください。
4 どちらかといえば増えると思わない	
5 増えると思わない	→ 16 ページ問 22 へお進みください。

【資料5-2】

問21（問20で「1 増えると思う」、「2 どちらかといえば増えると思う」と答えた自治体にお聞きします。）

どのような法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用することを望みますか。あてはまるものの番号を全て選んでください。【複数回答可】

- 1 顧問弁護士
- 2 顧問弁護士以外の自治体外の弁護士
- 3 職員（任期付職員及び非常勤の嘱託職員を含む。）としての弁護士
- 4 弁護士登録をしていない司法試験合格者

17 ページ問 23 へお進みください。

問22（問20で「4 どちらかといえば増えると思わない」、「5 増えると思わない」と答えた自治体にお聞きします。）

貴自治体において法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）の利用を望む場面が増えると思わない理由は何ですか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 法律に関連する仕事は増えないから
- 2 法律に関連する仕事が増えたとしても，他の専門家（司法書士，税理士，公証人，行政書士，社会保険労務士など）を利用することでたりるから
- 3 法律に関連する仕事が増えたとしても，法曹有資格者でない職員で対応することでたりるから

その他

[]

第4 弁護士に対する一般的意見について

ここからは弁護士等に対する一般的なご意見をお聞きします。

問23 今後、貴自治体において法曹有資格者（弁護士，または弁護士登録をしていない司法試験合格者）を利用する場合，貴自治体としては法曹有資格者にどのような能力等が必要になってくると思いますか。1から5のことについて，もっともあてはまるものをA～Eの中からそれぞれ1つ選んでください。【それぞれに一つだけ○】

なお，これ以外に何かある場合にはその他の欄にご記入ください。

例：

1 法律に関する専門的な知識	A	<input checked="" type="radio"/> B	C	D	E
----------------	---	------------------------------------	---	---	---

	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらともいえない	どちらかといえど必要だと思わない	必要だとは思わない
1 法律に関する専門的な知識	A	B	C	D	E
2 法律知識に限られない幅広い知識	A	B	C	D	E
3 コミュニケーション能力	A	B	C	D	E
4 交渉力	A	B	C	D	E
5 自治体組織の業務に対する理解	A	B	C	D	E
その他 〔 〕					

【資料5-2】

問24 貴自治体では、弁護士による市民向けの法律相談を実施していますか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 法律相談を実施している	----->	問25へお進みください。	▶
2 実施したいと思うが、未だに実施していない	----->	19ページへお進みください。	▶
3 実施したいとは思わない	----->		
4 わからない	----->		

問25 (問24で「1 法律相談を実施している」と答えた自治体にお聞きします。)

今後、弁護士による法律相談の回数を増やしたいと思いませんか。もっともあてはまるものの番号を1つ選んでください。【一つだけ○】

1 回数を増やしたい
2 現状維持でよいと思う
3 回数を減らしたい
4 わからない

最後に、貴自治体について教えてください。

問1 貴自治体が該当するものを以下から選んでください。【一つだけ○】

- 1 都道府県
- 2 都道府県庁所在地（東京都を除く。）
- 3 2以外の政令指定都市
- 4 2，3以外の中核市または特例市
- 5 特別区（東京23区）
- 6 2，3，4，5以外の自治体

問2 (1) このアンケートに主としてご回答いただいている部門を以下から選んでください。【一つだけ○】

なお、1～4以外の部門である場合にはその他の欄にご記入ください。

- 1 総務部門
 - 2 人事部門
 - 3 法務部門
 - 4 福祉（民生）部門
- その他

[]

(2) このアンケートに主としてご回答いただいている部門の貴自治体における組織規定上の名称をご記入ください。

※ このアンケートについて、他にご意見、コメント等がございましたら、下の枠内にご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)【資料6】

問1(1) 弁護士の内職人数(合計)(平成26年8月1日現在)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
335	0	2	0	1	1	1
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	4	0	0	0	1
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	4	0	18	0	32	22
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	4	1	0	7	0	8
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	202	1	1
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	13	2	1	2
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	4	1	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	1	0	1		

問1(1) 弁護士の内職人数(常勤)(平成26年8月1日現在)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
124	0	2	0	1	1	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	0	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	3	0	18	0	32	22
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	4	1	0	7	0	7
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	0	1	1
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	13	2	1	2
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	4	1	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	1	0	0		

【資料6】法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)

問1(1) 弁護士の有職人数(非常勤)(平成26年8月1日現在)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
211	0	0	0	0	0	1
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	4	0	0	0	1
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	1	0	0	0	0	0
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	0	0	1
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	202	0	0
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	0	0	0	0
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	0	1		

問1(2) 弁護士登録をしていない司法試験合格者(新司法試験合格者を対象とした採用試験で採用された者に限る)の有職人数(平成26年8月1日現在)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
24	0	0	0	0	0	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	0	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	3	0	5	4
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	2	0	0	0	0	0
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	1	4	0	1	1	0
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	3	不明	不明	把握していない	0
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	0	0		

法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)【資料6】

問1(3) 総合職試験の院卒者試験受験者で採用された者のうち、日本の法科大学院修了者の在職人数(合計)(平成26年8月1日現在)

合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
44	0	2	0	0	0	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	0	0	0	1	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	5	0	6	4
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	5	0	1
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	1	9	0	5	0	1
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	2	不明	不明	0	0
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	1	1		

問1(3) 総合職試験の院卒者試験受験者で採用された者のうち、日本の法科大学院修了者の在職人数(うち新司法試験合格者)(平成26年8月1日現在)

合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
21	0	2	0	0	0	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	0	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	5	0	2	2
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	0	0	0
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	6	0	1	0	未確認
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	2	不明	不明	0	0
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	1	0		

【資料6】法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)

問1(4) 総合職試験(事務系区分)で採用された者のうち、司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者の在職人数(平成26年8月1日現在)		
合計(在職者のいる機関)	在職者数(最大)	在職者数(最小)
32(13)	6	1

問1(5) 一般職試験(大卒程度試験)(行政区分)で採用された者のうち、司法試験に合格していない日本の法科大学院修了者の在職人数(平成26年8月1日現在)		
合計(在職者のいる機関)	在職者数(最大)	在職者数(最小)
17(9)	4	1

問2 弁護士(在職人数(合計)(平成18年1月1日時点)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
47	0	0	0	0	1	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	不明	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	6	0	25	0
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	6	0	8
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	0	0	0
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	不明	不明	把握していない	1
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	0	0		

問2 弁護士(在職人数(常勤)(平成18年1月1日時点)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
47	0	0	0	0	1	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	不明	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	6	0	25	0
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	6	0	8
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	0	0	0
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	不明	不明	把握していない	1
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	0	0		

法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)【資料6】

問2 弁護士の有職人数(非常勤)(平成18年1月1日時点)						
合計	衆議院事務局	衆議院法制局	参議院事務局	参議院法制局	裁判官弾劾裁判所	裁判官訴追委員会
0	0	0	0	0	0	0
	国立国会図書館	内閣官房	内閣法制局	国家安全保障会議	人事院	復興庁
	0	不明	0	0	0	0
	内閣府	宮内庁	公正取引委員会	警察庁	金融庁	消費者庁
	0	0	0	0	0	0
	総務省	公害等調整委員会	消防庁	法務省	公安調査庁	外務省
	0	0	0	0	0	不明
	財務省	国税庁	国税不服審判所	文部科学省	文化庁	厚生労働省
	0	0	0	0	0	0
	中央労働委員会	農林水産省, 林野庁, 水産庁	経済産業省	資源エネルギー庁	中小企業庁	特許庁
	0	0	不明	不明	把握していない	0
	国土交通省	観光庁	気象庁	運輸安全委員会	海上保安庁	海難審判所
	0	0	0	0	0	0
	環境省	原子力規制委員会	防衛省	会計検査院		
	0	0	0	0		

問3(1) 弁護士が在職している勤務形態別機関数			
回答数	常勤が在職している機関数	非常勤が在職している機関数	両方が在職している機関数
25	20	7	2

問3(2) 弁護士登録をしていない司法試験合格者(新司法試験合格者を対象とした採用試験で採用された者に限る)が在職している機関数	
回答数	機関数
9	9

問4(1) 採用年度別の弁護士の人数				
合計	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
335	1	0	2	3
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	30	75	167	57

問4(1) 採用時の弁護士経験年数					
合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	不明
335	178	102	33	9	13

問4(2) 採用年度別の弁護士登録をしていない司法試験合格者(新司法試験合格者を対象とした採用試験で採用された者に限る)の人数				
合計	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
24	1	0	2	2
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	3	5	3	8

【資料6】法曹有資格者の採用の現状に関する調査 単純集計表(国の行政機関等)

問5 弁護士を採用する場合、経験年数を求めるか(常勤)					
回答数	特に求めない	求める	採用予定はない	実績なし	無回答
48	13	11	1	1	22

問5_1へ

問5_1 どの程度の経験年数を求めるか(常勤)						
回答数	2年	2年から3年	3年	3年から4年	3年以上	募集業務による
11	1	1	1	1	1	3

問5 弁護士を採用する場合、経験年数を求めるか(非常勤)				
回答数	特に求めない	求める	採用予定はない	無回答
48	10	2	1	35

問5_2へ

問5_2 どの程度の経験年数を求めるか(非常勤)		
回答数	3年から4年	20年
2	1	1

問6(1) 弁護士を採用しようとして採用できなかったことがあるか(常勤公募)				
回答数	採用できなかったことはない	採用できなかったことがある	実績なし	無回答
48	18	4	1	25

問6(1)_1

問6(1)_1 弁護士を採用しようとして採用できなかった理由(常勤公募)			
回答数	採用候補・内定者に辞退されたため	理由は不明だが、任期付職員を募集した際、応募がなかったことがあり、採用にいたらなかったケースがあった。	法曹有資格者を公募したが、応募がなかった等の理由
4	2	1	1

問6(1) 弁護士を採用しようとして採用できなかったことがあるか(非常勤公募)				
回答数	採用できなかったことはない	採用できなかったことがある	実績なし	無回答
48	7	0	1	40

問6(2) 弁護士登録をしていない司法試験合格者(新司法試験合格者を対象とした採用試験で採用された者に限る)を採用しようとして採用できなかったことがあるか			
回答数	採用できなかったことはない	採用できなかったことがある	無回答
48	8	7	33

問6(2)_1

問6(2)_1 弁護士登録をしていない司法試験合格者(新司法試験合格者を対象とした採用試験で採用された者に限る)を採用しようとして採用できなかった理由			
回答数	採用候補・内定者に辞退されたため	面接の結果、採用に至らなかった	応募はあったが、適任者がいなかったため
7	2	1	4

問7 今後、新たに法曹有資格者の採用を計画している部署はあるか				
回答数	ある	ない	現段階では、はっきりといえない	無回答
48	5	17	24	2